

1510迄 (1720件)

- 1491年-07:00|タイ| |||<死去>アユタヤ王朝第10代国王「インタラーチャー2世(ホーローチャーティラート3世)」
- 1491年-07:00|タイ| |||<即位>アユタヤ王朝第11代国王「ラーマティボデー2世」(~1529年死去)
- 1491年-05:30|インド| |||<即位>ウイジャナガル王国(サルヴァ朝)国王「インマティナシンハラヤ」(~1505年)
- 1491年-05:00|モルデイグ| |||<即位>ヒルリ朝スルタン「Hassan6世 Raadha Fanaveeru」(~1492年)
- 1491年-04:00|ロシア| |||<即位>カシモフ・ハン国ハン「サティガン」ヌル・ダウラトの子(~1506年死去)
- 1491年-04:00|ロシア| |||<即位>モスコフスキー・ナメストニク「ウァシーリー・フォート・ウイチ」(~1496年)
- 1491年-04:00|ジョージア| |||<即位>グルジア王国は三国(イメルティア、カトリ、カヘティ)に分割された
- 1491年-03:30|イラン| |||<即位>ハダスハニド朝(Kojur)君主「Ashraf ibn Taj al-Dawla」(~1507年)
- 1491年-02:00|キプロス/イタリア| |||<就任>ウエネツィアのキプロス副官「シローモ・テイルカ・ペーザロ」(~1493年)
- 1491年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン朝とマムルーク朝で講和が成立
- 1491年-01:00|ドイツ| |||<就任>カシム侯「エーリヒ1世」(~15400730死去)
- 1491年-01:00|フランス| |||<就任>キーズ伯「ルイ2世」(~15030428死去)
- 1491年-01:00|ドイツ| |||<就任>ブラウンシュヴァイク・ウァルフエンビュッテル侯「ハインリヒ1世」ウァイルヘルム2世の息子(~15140623戦死)
- 1491年-01:00|スペイン/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領セウタ提督「Fernaõ de Meneses」(~1509年)
- 1491年-01:00|フランス| |||<即位>ブルターニュ王「シャルル2世温厚公」フランス王ルイ11世とシャルロット・ド・サヴォワの1人息子。アンヌと共同統治(~14980407死去27歳)
- 1491年 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド支配者「アンブ・ロウス・イリクワット」(~1493年)
- 1491年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地ケラン・カリヤ島知事「Francisco de Maldonado」(~1494年)
- 1491年1月4日-09:00|日本|京都府|延徳2年11月24日|京都で彗星出現
- 1491年1月10日-01:00|イタリア| |||<就任>ウエネツィアで世界初と思われる著作権が承認された/ヘルデ・イヌス・デ・コリスの著書に対して
- 1491年1月21日-09:00|日本|大阪府|延徳2年12月12日|<死去>河内国守護「畠山義就」
- 1491年1月21日-09:00|日本|京都府京都市|延徳2年12月12日|<死去>山城国守護「畠山義就」
- 1491年1月21日-09:00|日本|富山県|延徳2年12月12日|<死去>越中国守護「畠山義就」
- 1491年1月21日-09:00|日本|和歌山県|延徳2年12月12日|<死去>紀伊国守護「畠山義就」
- 1491年1月25日-09:00|日本|三重県伊勢市|延徳2年12月16日|<死去>伊勢山田延徳2年の大火>子の刻(0時ごろ)八日市場町字為田世古(狭処→小路)より出火し同町の表通りから一志久保、宮後に延焼、田中中世古まで1000余戸を焼失
- 1491年1月31日-09:00|日本| ||延徳2年12月22日|<死去>飛鳥井雅親(74歳)権大納言、歌人
- 1491年2月9日-09:00|日本|静岡県島田市|延徳3年|千葉山智満寺5世巖存芸和尚、満家山三光寺(川根町家山)を再興
- 1491年2月9日-09:00|日本|静岡県榛原郡川根本町|延徳3年|回天慶文、千葉山智満寺開山
- 1491年2月9日-09:00|日本|鳥取県|延徳3年|<任命>因幡国守護「山名豊時」(~文亀1(1501)年)
- 1491年2月15日-09:00|日本|京都府京都市右京区|延徳3年1月7日|<死去>大御所「足利義視」通玄寺で
- 1491年2月19日-01:00|ドイツ| |||<死去>東フリースラ伯「Enno1世」
- 1491年2月19日-01:00|ドイツ| |||<就任>東フリースラ伯「Edzard1世the Great」(~15280214死去)
- 1491年3月30日-02:00|ラトヴィア/エストニア| |||<任命>リガは再びリガニア騎士団への降伏を余儀なくされた
- 1491年4月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「アントニオ・デ・イ・ビアンコ」「マリノ・デ・イ・シモネ・ムッチョーリ」
- 1491年5月5日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|延徳3年3月27日|村田経安、一之宮神社を再興
- 1491年5月9日-09:00|日本|愛知県豊田市|延徳3年4月|河手員吉・賀藤延家、三河国小馬寺の不動明王・毘沙門天像を造立
- 1491年5月11日-09:00|日本|静岡県伊豆の国市|延徳3年4月3日|<死去>堀越公方「足利政知」57歳⇒子の「足利茶々丸」が継ぐ(~明応2(1493)年10月)
- 1491年7月7日-09:00|日本|三重県|延徳3年6月|<交替>伊勢北半国・志摩国守護「一色義直」⇒「一色義秀」(~明応7年5月29日(14980618)死去)
- 1491年7月8日-09:00|日本|山梨県南都留郡富士河口湖町|延徳3年6月2日|大雨で河口湖が満水となり作毛を損し、湖岸の西海・長浜・大石・河口集落の人家が流される
- 1491年7月13日 00:00|ポルトガル| |||<死去>ポルトガル公(王位継承者)「アフォンソ」
- 1491年7月13日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル公(王位継承者)「ヌニル」(~14951025、ヌニル1世として即位)
- 1491年7月16日 00:00|イギリス| |||<死去>ハンティントン伯「William Herbert」
- 1491年8月6日-09:00|日本|京都府京都市北区|延徳3年7月|大徳寺真珠庵できる
- 1491年8月6日-09:00|日本|静岡県伊豆の国市|延徳3年7月1日|足利茶々丸が虐待を受けた継母の円満院と堀越公方後継ぎの潤童子を殺害、堀越公方の座に就く
- 1491年9月4日-09:00|日本| ||延徳3年8月|穴山伊豆入道梅雪の弟梅庵日建、本応山妙泉寺(静岡市清水区江尻東)開創
- 1491年9月4日-09:00|日本|静岡県|延徳3年8月|<再任>遠江国守護「斯波義寛」(~文亀元(1501)年)
- 1491年9月25日-01:00|フランス| |||<死去>ウァール伯・ルテル伯・ウー伯「ジャン2世」
- 1491年9月25日-01:00|フランス| |||<就任>ウァール伯「Engelbert」(~15061121死去)
- 1491年9月25日-01:00|フランス| |||<就任>ルテル伯「シャルロット」(~15000823)、「ジャン・ダブル」オルヴァル領主、女伯シャルロットと結婚(~15000823)
- 1491年9月30日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|延徳3年8月27日|足利義材(義植)、近江六角高瀬討つため出陣

1510迄 (1720件)

- 1491年9月30日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|延徳3年8月27日|足利義材(義種)、近江六角高瀬討つため出陣/六角高瀬は観音寺城を捨て、甲賀に逃げる
- 1491年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「メット・デ・イ・メット・ホネリ」(「マッテオ・トウラ」)
- 1491年10月21日-01:00|ハンガリー| |||<死去>ハンガリー王国パライン「エグリ司教オルバン・ド・ツチ・ナギルセイ」
- 1491年10月21日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パライン代行「イシュトヴァーン・バートリ・エクセーイ」(3回目~14920329)
- 1491年11月2日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|延徳3年10月1日|足利義材(義種)は近江の金剛寺まで達し、対する六角行高は甲賀に退去しゲリラ戦を展開したが、赤松重臣の浦上則宗と斯波重臣の織田敏定の活躍により、六角一族の山内政綱が降伏、義材はこれを許さず誅伐
- 1491年11月7日-01:00|オーストリア/チエコ/ハンガリー| |||オーストリア大公マクシミリアンが、ホヘンシュタイン王が「イワフ2世」のハンガリー王即位を承認する(「プレスブルクの和約」)
- 1491年11月7日-09:00|日本|静岡県伊豆の国市|延徳3年10月6日|<堀越御所の戦い>興国寺城で堀越公方の混乱を見ていた武将伊勢宗瑞は駿河の今川氏親から兵を借り堀越御所を急襲、御所を追われた足利茶々丸は関戸播磨守吉信を頼って深根城に逃げ込む
- 1491年11月12日-09:00|日本|静岡県下田市|延徳3年10月11日|<深根城の戦い>伊勢宗瑞は深根城の足利茶々丸を攻め、茶々丸は敗れ、近くの願成就院に逃れ自刃
- 1491年11月16日-09:00|日本|愛知県春日井市|延徳3年10月15日|僧良慶、母追善のため、尾張国円福寺に仏涅槃図を寄進
- 1491年11月25日-01:00|スペイン| |||スペインの攻撃で「カタラ」が降伏し降伏協定が成立
- 1491年12月6日-01:00|フランス| |||フランス王シャルル8世、ロワール河畔の「ラングエ城」で「フルタニユ女公」アンヌ・ド・フルタニユと結婚
- 1491年12月19日-09:00|日本|滋賀県大津市|延徳3年11月18日|<浜道場の戦い>織田敏定、浦上則宗とともに近江国大津で六角政綱を討ち取る
- 1491年12月31日-09:00|日本|滋賀県|延徳3年12月|<交替>近江国守護「細川政元」⇒「六角虎千代」(~明応2(1493)年10月)
- 1491年12月31日-09:00|日本|福井県越前市|延徳3年12月|南条郡帆山寺の殿堂が大雪のため倒壊
- 1492年-06:30|ミャンマー| |||<死去>バグー王「タンマセーデー」
- 1492年-06:30|ミャンマー| |||<即位>バグー王「ヒンヤー・ラン2世」(~1526年没)
- 1492年-05:00|モルデイガ| |||<即位>ヒルリ朝スルタン「Ibrahim2世」(~同年)⇒「Kalu Mohamed」(~同年)⇒「Yoosuf3世」(~1493年)
- 1492年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンテア公「ロレンツォ・ウエニエ」(~1494年)
- 1492年-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワラキア総督・領主「ラドゥ4世偉大侯」共同統治(~15080423没)
- 1492年-01:00|スペイン| |||<死去>2代「メナシトニア公」エンリケ・ペレス・デ・グスマン・イ・フォンセカ
- 1492年-01:00|スペイン| |||<就任>3代「メナシトニア公」フアン・アロンソ・ペレス・デ・グスマン・イ・アファン・デ・リベラ(~1507年死去)先代の子
- 1492年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのデューラツォ執達吏・長官「パオロ・ゼーネ」(~1495年)
- 1492年-01:00|ポーランド| |||<就任>ピトム公「コンラト10世」(~同年)
- 1492年-01:00|セルビア| |||<即位>亡命セルビア専制公「ヨヴァン・ブラコヴィッチ」ステファン・ブラコヴィッチの息子(~15021210)「ラツコヴィッチ王朝」
- 1492年-01:00|オランダ| |||<即位>ゲルデルン公「カレル」(~15380630死去)
- 1492年-01:00|フランス| |||<退任>モンペリアル伯「エーバールト5世」グユルテンベルク伯領と統合(~14960225死去)
- 1492年 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド総督「ウォルター・フィッツジモン」(~同年)
- 1492年 06:00|中米| |||Tupac Yupanquiの息子Huayna Capac, Ingapircaで即位、グアヤキル一帯を制圧/その後、キト北方パスト族のカランキ・カヤンパ同盟軍と激戦の末、Cara王国を制圧/エクトル全土がインカ帝国の版図に入る
- 1492年1月2日-01:00|スペイン| |||スペイン(アラゴン・カステリア連合王国)が「カタラ」を征服し、イベリア半島におけるレコンキスタ(国土回復運動)が終わった
- 1492年1月30日-09:00|日本|愛知県小牧市|延徳4年|間々観音創建<お乳を祀る>
- 1492年1月30日-09:00|日本|岡山県瀬戸内市|延徳4年|本蓮寺本堂再建
- 1492年1月30日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|延徳4年|天倫通明、妙心寺派幽香山梅蔭寺(南岡)開山
- 1492年1月30日-09:00|日本|長崎県対馬市|延徳4年|<交替>対馬国守護「宗貞国」隠居⇒第3子「宗材盛」(~永正5(1508)年)
- 1492年1月30日-09:00|日本|福井県小浜市|延徳4年|小浜極楽寺が、真盛を開基として創建
- 1492年1月30日-09:00|日本|山梨県|延徳4年|<交替>甲斐国守護「武田信昌」隠居⇒嫡男の「武田信繩」(~永正4年2月14日(15070327)死去)
- 1492年2月-06:30|ミャンマー| |||<即位>ムラウケウ国王「バ・ソウ・ニョ」(~1494年1月)
- 1492年2月14日 00:00|イギリス| |||<死去>バークレー侯・ノッティンガム伯「ウィリアム・バークレー」
- 1492年3月19日-01:00|ドイツ| |||<就任>ナッサウ・ヴァイルブルク伯「Louis1世」(~15230528死去)
- 1492年3月24日-01:00|ドイツ| |||<死去>シャウエンブルク伯・ホルシュタイン・ピンネブルク伯「エーリク1世」
- 1492年3月24日-01:00|ドイツ| |||<就任>シャウエンブルク伯・ホルシュタイン・ピンネブルク伯「オットー3世」(~1510年死去)
- 1492年3月28日-09:00|日本|滋賀県東近江市|延徳4年3月|<長享・延徳の乱(近江国)>安富元家が六角軍に奇襲されて金剛寺から敗走
- 1492年3月29日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パライン「イシュトヴァーン・クル・サール・リアイ・セペシ」(~14991225没)
- 1492年3月31日-01:00|スペイン| |||スペインのフェルナド・イ・イサベラ女王が、全てのユダヤ人に対して4ヵ月以内にスペインを退去するよう通告する/この通告が解除されるのは1986年12月16日

1510迄 (1720件)

- 1492年4月1日-01:00|サンマリノ | ||<就任>サンマリノ共和国執政「リッチオ・デ・イ・アントレ」 「ファブ・リツイオ・デ・イ・ビエール・レオネ・コルベッ
」
- 1492年4月8日-01:00|イタリア | ||<死去>フィリツェのシヨール「ロルツォ・デ・マ・イチ(イル・マニフィコ)」/43歳(誕生14490101)/フィリツ
ェの全盛期を築いた
- 1492年4月9日-01:00|イタリア | ||<就任>フィリツェのシヨール「ピエロ・デ・マ・イチ(イル・ファウオ)」(~14941109市民により追放、
共和制に復帰)
- 1492年4月24日-09:00|日本|岡山県|延徳4年3月28日|香西五郎左衛門尉、荘元資とともに備中守護細川勝久と戦
うが敗れ切腹。この戦で、讃岐の軍兵の大半が討死
- 1492年4月25日-09:00|日本|滋賀県|延徳4年3月29日|<梁瀬河原の戦い>足利義材は赤松政則、武田元信、斯波義寛
に出撃を命じ、浦上則宗、逸見弾正、織田敏定が送り込まれ、安富元家と合流して築瀬河原で六角勢4000人を打
ち破った
- 1492年4月27日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|延徳4年4月|犬居城主第七代天野安芸守入道景顕、飯田山崇信
寺(森町飯田)四世賢窓常俊を開山に秋葉山瑞雲院(春野町堀之内)を開基
- 1492年5月14日 00:00|イギリス | ||<死去>サフォーク公「ジョン・ド・ラ・ポール」
- 1492年5月14日 00:00|イギリス | ||<就任>サフォーク公「エドムント・ド・ラ・ポール」(~15130430処刑される)
- 1492年5月20日 00:00|アイルランド/イギリス | ||<就任>アイルランド 副王代行「ダブリン大司教ウオルター・フィッツサイモン」(~149309
6)
- 1492年5月24日-09:00|日本 | ||延徳4年4月28日|土佐光信が「後円融院像」を描く
- 1492年6月7日-02:00|リトアニア | ||<即位>リトアニア大公「国家評議会:ミカロス・ラドウイビチウス(首相)/ヘトラス・モンティガ・ダウ
イチウス(大元帥)/スタニスラフ・ヨナウイチウス・ケサガイ/ヨナス・ユルカ イチイス・サベリンスキス/アレクサン
ダス・ユルガ イチウス・コルサスキ」(~7.30
)
- 1492年6月7日-01:00|ポーランド/リトアニア | ||<死去>ポーランド・リトアニア連合王国ポーランド王・リトアニア大公「カジミェシュ4世ヤギェ
ロンチク」64歳
- 1492年6月7日-01:00|ポーランド | ||<即位>ポーランド・リトアニア連合王国ポーランド王「ヤン1世オルブラト」が「カジミェシュ4世」の息子(
~15010617)
- 1492年6月8日-09:00|日本|静岡県裾野市|延徳4年5月14日|仙年寺(葛山)開山文蓮社隆誉上人光岡和尚寂
- 1492年6月25日-09:00|日本|静岡県焼津市|延徳4年6月|池田彦右衛門尉宗家(法名蓮宗)(小川湊の間丸父国弘(法
名妙宗)は、入江荘別府郷村松住み、村松海長寺再建の大檀那)法華山上行寺(小川)を建立
- 1492年7月7日-09:00|日本|山梨県|延徳4年6月13日|武田信縄と油川信恵両軍の戦闘が始まり国中大乱。兄弟によ
る相続争いというより、足利茶々丸の存在をめぐる武田信縄と武田信昌父子の抗争
- 1492年7月25日-01:00|バチカン | ||<死去>第213代ローマ教皇「インノケンティウス8世」[1432年生~]享年60
- 1492年7月30日-02:00|リトアニア | ||<即位>リトアニア大公「アレクサンダス・ジョガイリチス」が「ミラス1世」の子(⇒15011212、兼ポ
ーランド王~15060819没)
- 1492年8月11日-01:00|バチカン | ||<就任>第214代ローマ教皇「アレクサンデル6世」(~15030818死去)
- 1492年8月12日-09:00|日本 | ||明応1年7月19日|「明應」に改元
- 1492年8月15日-09:00|日本|千葉県|明応1年7月22日|<市河合戦>大津安芸守・大津弥七郎・山宮右近助・山宮聡六・
山宮七郎・山宮新九郎・巨勢村式部丞・巨勢村源三郎・極楽寺聡三郎・井上治部丞・河崎大炊左衛門・河崎神左衛門
ら討死
- 1492年8月23日-09:00|日本/韓国 | ||明応1年8月|幕府僧元菊を朝鮮に遣わす
- 1492年9月1日-09:00|日本|静岡県焼津市|明応1年8月10日|則心寺二世玉翁周琳、曹洞宗観音山正泉寺(高新田)開
創
- 1492年9月6日-09:00|日本|静岡県富士市|明応1年8月15日|吉野日向守、日悟を開山に、福泉寺(天間)開基
- 1492年9月20日 00:00|イギリス | ||<死去>ウォリック女伯「アン・ビーチャム」
- 1492年9月23日-01:00|ポーランド | ||<即位>ポーランド・リトアニア連合王国ポーランド王「ヤン1世オルブラト」が「カジミェシュ4世」の息子
(~15010616~15010617死去41歳)
- 1492年9月25日-09:00|日本|滋賀県草津市|明応1年9月4日|六角討伐のため草津に在陣の若狭武田軍の逸見氏と
粟屋氏が紛擾で双方に死者、17人が死亡
- 1492年9月30日-09:00|日本|山梨県|明応1年9月9日|今川氏親、甲斐に進攻
- 1492年10月1日-01:00|サンマリノ | ||<就任>サンマリノ共和国執政「クリストフォロ・デ・チェッコ・デ・ウイタ」 「ホニファツィオ・デ・イ・アントレ
」
- 1492年10月7日-09:00|日本|滋賀県|明応1年9月16日|幕府、六角高頼の兵を攻め、高頼の敗兵ら近江国甲賀へ走る
- 1492年10月12日 05:00|タークス・カイコス諸島/スペイン | ||コロンブスによってタークス・カイコス諸島が発見され、スペイン領宣言
- 1492年10月12日 06:00|エルサルバドル/スペイン | ||コロンブスがバハマ諸島のウオトリング島に上陸しサンサルバドルと命名、事実上
のアメリカ大陸の発見となる/出会った先住民を「インディア」と呼ぶ
- 1492年10月21日-01:00|ポーランド | ||<死去>オレシツァ公「コンラト10世」
- 1492年10月21日-08:00|中国 | ||明・弘治5年10月|明が開中法を廃して銀のみの納入による塩専売を許可
- 1492年10月27日 05:00|キューバ/スペイン | ||クリストファー・コロンブスによって発見され、スペイン領「ヤヌ・オブ・キューバ」宣言(⇒1
515年、フェルナデ・イタ⇒最後にキューバと命名)
- 1492年11月3日-01:00|フランス/イギリス | ||フランス王シャルル8世が、ヘンリー7世と和約し、イングランド王位僭称者ハークンウォーペック
支援の中止を約す(エタブルの和約)
- 1492年11月6日-01:00|フランス | ||<エンツハイム隕石>フランスに隕石が落下、欧州最古の記録
- 1492年11月6日 00:00|マリノヰエール | ||<即位>ソングイ帝国皇帝「ソニバル」(~1493年)

1510迄 (1720件)

- 1492年11月24日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ウインチェスター伯「ルイ・ド・ゲルトフーズ」
- 1492年11月24日 00:00|イギリス| |||<就任>2代ウインチェスター伯「ジャン・ド・ブルック」(~1499年放棄)
- 1492年12月4日-09:00|日本|滋賀県甲賀市|明応1年11月15日|甲賀山中に籠る六角高頼軍はついに瓦解、高頼は伊勢国へ逃亡
- 1492年12月6日 05:00|ハイチ/ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>イスパニョラ総督「クリスティーナ・コロンブス」(1回目~1496年)
- 1492年12月6日 05:00|ハイチ/ドミニカ共和国/スペイン| |||コロンブスがイスパニョラ島を発見、スペイン植民地宣言
- 1492年12月20日-09:00|日本|福島県|明応1年12月|相馬盛胤は権現堂城を攻撃し、標葉清隆・隆成父子を自害させ標葉郡を完全に支配下に置いた
- 1493年-05:30|インド| |||<即位>カシミール・スルタン朝スルタン「Muhammad Shah」(~1505年)
- 1493年-05:00|モルティガ| |||<即位>ヒルリ朝スルタン「Ali 2世」(~1495年)
- 1493年-02:00|キプロス/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「シヨヴァン・ド・イルージュ・ド・ナート」(~1495年)
- 1493年-02:00|トルコ/イラン| |||<即位>白羊朝スルタン「ムスタム」(~1497年)
- 1493年-01:00|イタリア| |||<就任>カラリア公(ホルリ王の推定相続人の称号)「アントニオ」ルネ2世の長男、ロレーヌ公アントワヌ(~1544年)
- 1493年-01:00|クアチア| |||<就任>クアチアとスラヴォニアとダルマチアのハン「エメリク・デ・レンチン(=イムレ・デ・レンツェニ)」「イワン・ロット」(~同年)⇒「ラティスラウス・カザイ」(~1495年)
- 1493年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Antonio Gatto d' Esguanez」(~1500年)
- 1493年-01:00|ドイツ| |||<就任>ニーダーヘッセン方伯「ウイヘルム2世真中伯」ルートヴィヒ2世の下の息子(⇒15000217ヘッセン方伯~15090711死去)
- 1493年-01:00|ポズナニ/ポーランド/トルコ| |||<就任>ポズナニ総督「ヤシヤ・ハシヤ」(2回目~1496年)
- 1493年-01:00|ポーランド| |||<就任>ラチブシュ公「ニコラス6世」(~1506年)、「ジョン4世」(~1506年)、「ウァレンティン」(~1521年)
- 1493年-01:00|イタリア| |||<即位>アルフィ公「アルフォンソ1世Piccolomini」(~1498年)
- 1493年-01:00|オーストリア| |||<即位>オーストリア大公「マクシミリアン1世」(~15190112死去59歳)
- 1493年-01:00|イタリア| |||<即位>トレント司教公「ウルリヒ4世」(~1505年)
- 1493年-01:00|ドイツ| |||<退位>ニーダーヘッセン方伯「ウイヘルム1世年長伯」
- 1493年-01:00|フランス/グアテマラ| |||グアテマラにコロンブス上陸
- 1493年 00:00|セネガル| |||<建国>サラム国
- 1493年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地司令官「Alvaro de Caminha Souto-Maior」(~1499年)
- 1493年 04:00|グアテマラ/スペイン| |||サン・バルテルミー島がクリスティーナ・コロンブスによってスペインのために発見されサン・バルトロオ島という名前で領有宣言
- 1493年 05:00|ペルー| |||<死去>インカ帝国皇帝「トゥパック・インカ・ユパンキ」
- 1493年 05:00|ペルー| |||<即位>インカ帝国皇帝「ワイナ・カック・トゥパック・インカ・ユパンキの息子」(~1527年死去)
- 1493年1月-02:00|ルーマニア/ハンガリー| |||<就任>トランシルヴァニア総督「ラズロ・ロソツィ」(~1495年)、「バルタザール・ラグフィ」(~1499年)
- 1493年1月2日-09:00|日本|滋賀県|明応1年12月14日|<交替>近江国守護「細川政元」解任⇒「六角虎千代(六角政義の養子)」任命(~翌年)
- 1493年1月2日-09:00|日本|滋賀県|明応1年12月14日|將軍義材が近江を平定
- 1493年1月9日-01:00|フランス/スペイン| |||フランス王シャルル8世、スペインの「カスティリヤ女王」イザベル1世・アラゴン王フェルナンド2世(2人は夫婦)と「バルセロナ条約」を結ぶ/「ルシヨン伯領」と「ヌワヨール伯領」を譲る代わりに「ホルリ」については中立を守らせることを約束させる
- 1493年1月9日 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド大法官「アンガス・ド・グレイ」(~14970922)
- 1493年1月18日-09:00|日本| ||明応2年|康珍が東寺講堂の大日像を造る
- 1493年1月18日-09:00|日本|愛知県豊橋市|明応2年|戸田宗光、田原城を子戸田憲光に譲り、二連木城(豊橋市二連木町)築城し移る
- 1493年1月21日-09:00|日本|長野県|明応2年1月4日|<死去>信濃守護「小笠原政秀」父子が同族の小笠原貞基に暗殺される⇒養子の「小笠原長朝」が継ぐ(~文亀元年8月12日(15010924)死去)
- 1493年3月3日 00:00|マリ/ジエール| |||<即位>ソングアイ帝国皇帝「アスキア・ムハンマド1世」最盛期を迎える(1回目~15280826)
- 1493年3月3日-09:00|日本|大阪府|明応2年2月15日|足利義材、河内国へ出陣/足利幕府10代將軍足利義材(義植)は、畠山政長からの援軍要請に応え、義材は幕府軍を自ら率いて、畠山基家の遠征に向かう
- 1493年3月4日-01:00|スペイン| |||コロンブス艦隊がリスボンに帰還(14920803、サンタ・マリア号でリスボンから第1回探検に出発)
- 1493年3月18日-09:00|日本/中国|大阪府堺市|明応2年3月|明応度遣明船、和泉国堺から出港
- 1493年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「伝道師シローラ・ベッツイ」「バルテ・ディ・パオロ」
- 1493年4月1日-01:00|スペイン| |||コロンブスが第1回航海報告書を発行
- 1493年4月12日-09:00|日本|大阪府羽曳野市|明応2年3月26日|高屋城西方で幕府方と義豊方が交戦。激戦になる
- 1493年4月14日-09:00|日本|京都府京都市|明応2年3月28日|<就任>関白「近衛尚通」(~明応6年6月7日)
- 1493年4月22日-01:00|バチカン/イタリア| |||ベネチア、教皇及びミラノと同盟
- 1493年4月23日-09:00|日本|山梨県甲州市|明応2年4月8日|<塩後原合戦>油川信恵が武田信縄に大勝
- 1493年5月3日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||スペイン王国がラ・パルマ島の征服完了
- 1493年5月4日-01:00|バチカン/スペイン| |||教皇アレクサンデル6世が新大陸の領有権等をスペインに付与
- 1493年5月7日-09:00|日本|京都府京都市|明応2年4月22日|<明応の政変>細川政元は、足利義材に不満を抱き始め

1510迄 (1720件)

た日野富子や赤松政則、伊勢貞宗を抱き込み、夜に清晃を還俗させて11代将軍(足利義澄)に擁立してクーデターを
決行、更に富子が先代(義政)御台所の立場から直接指揮を執って、政元に京都を制圧させ、その兵に義材の弟慈
照院周嘉らが殺害された

- 1493年5月10日 00:00|イギリス| |||<死去>初代アーガイル伯「コリン・キャンベル」
- 1493年5月10日 00:00|イギリス| |||<就任>第2代アーガイル伯「アーチルド・キャンベル」(~15130909死去)
- 1493年5月22日-09:00|日本|大阪府|明応2年閏4月7日|細川政元、畠山政長追討のため河内に上原元秀、安富元家を派遣
- 1493年5月23日-01:00|フランス/オーストリア| |||フランス王シャルル8世、マクシミリアン1世・フォン・ハプスブルク(8月に「神聖ローマ皇帝」となる)と、パリ北方のサリスで「サリスの和約」(サリス条約)を結ぶ/マリト・ブルゴニユの娘マルグリットのフランスからネーデルラントへの帰国を決定/「ブルゴニユ公」の遺領分割が決定(「アルト伯領」、「シャロレー伯領」、「ブルゴニユ伯領」を返還)/「ブルゴニユ公国」が解体
- 1493年6月5日-09:00|日本|大阪府堺市|明応2年閏4月21日|紀伊、河内から来援した畠山政長方の軍勢が堺を攻撃するが、赤松政則らに撃退される
- 1493年6月9日-09:00|日本|大阪府|明応2年閏4月25日|<死去>河内国守護「畠山政長」細川政元のクーデターにあい正覚寺で自害/52歳⇒「畠山義豊」就任(~明応8年1月30日(14990320)死去)
- 1493年6月9日-09:00|日本|大阪府|明応2年閏4月25日|足利義材は足利家伝来の「御小袖」(甲冑)と「御剣」を携えて上原元秀の陣に投降
- 1493年6月9日-09:00|日本|京都府京都市|明応2年閏4月25日|<死去>山城国守護「畠山政長」細川政元のクーデターにあい正覚寺で自害/52歳
- 1493年6月9日-09:00|日本|富山県|明応2年閏4月25日|<死去>越中国守護「畠山政長」細川政元のクーデターにあい正覚寺で自害/52歳⇒「畠山基家(義国)」就任(~明応8年1月30日(14990320)死去)
- 1493年6月9日-09:00|日本|和歌山県|明応2年閏4月25日|<死去>紀伊国守護「畠山政長」細川政元のクーデターにあい正覚寺で自害/52歳⇒「畠山基家(義国)」就任(~明応8年1月30日(14990320)死去)
- 1493年6月14日-09:00|日本|石川県|明応2年5月|<任命>加賀半国守護「赤松政則」(~不詳)
- 1493年6月15日-09:00|日本|京都府京都市右京区|明応2年5月2日|細川政元、足利義材を京都龍安寺に幽閉/細川政元の政変は成功を収める
- 1493年6月29日-09:00|日本|静岡県富士市|明応2年5月16日|檀那富士大宮司親時・願主尾張海西郡津島吉左衛門友久、鉄造十一面観音・銅造聖観音を富士山頂上東齋の河原に奉納
- 1493年7月22日-01:00|ドイツ| |||ドイツの医者ハルトマン・シェーデルがラテン語で「ニュルンベルク年代記」出版(12月23日ドイツ語訳も)
- 1493年8月11日-09:00|日本|富山県射水市|明応2年6月29日|<就任>越中公方「足利義材」側近らの手引きで京都を脱出して畠山政長の領国である越中国放生津に下向し政長の家臣「神保長誠」を頼った(~明応7(1498)年9月義尹と改名し越前国の朝倉貞景のもとへ移った)
- 1493年8月19日-01:00|ドイツ/オーストリア/スロベニア/イタリア/チェコ| |||<死去>神聖ローマ皇帝「フリードリヒ3世」ドイツ王・イタリア王「フリードリヒ4世」・オーストリア大公・シュタイアーマルク公・ケルテン公・カルニオラ公「フリードリヒ5世」
- 1493年8月19日-01:00|ドイツ/オーストリア/スロベニア/イタリア/チェコ| |||<即位>神聖ローマ皇帝・ケルテン公・カルニオラ公・オーストリア・シュタイアーマルク大公「マクシミリアン1世」フリードリヒ3世の子(~15190112死去)ローマへ行かずに皇帝になった最初の例
- 1493年8月24日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|明応2年7月13日|山名俊豊は鹽冶氏・村上氏等、備後國人衆と父・政豊の居所である九日市城に討入るが敗れ、俊豊は逃れたものの腹心の鹽冶周防守・同息彦次郎・村上左京亮ら討死
- 1493年9月6日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副王代行「コマンストン子爵バート・ブレトン」(~14941013)
- 1493年9月25日-01:00|スペイン| |||コロンブスが2回目の航海に出航
- 1493年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「メット・ディ・メット・ボネリ」「フランチェスコ・ディ・アントニオ・ディ・アナタシオ」
- 1493年10月2日-09:00|日本|京都府京都市|明応2年8月22日|山城国土一揆、勃発/下京に押し入る
- 1493年10月2日-09:00|日本|三重県伊勢市|明応2年8月22日|宇治側と組んで勢力拡大を目指した伊勢国司北畠軍が山田に放火し山田側では戦闘や火災避難中に川に落ちて死亡する者などが1000人余りとなった
- 1493年10月11日-09:00|日本|京都府京都市|明応2年9月|<任命>山城国守護「伊勢貞陸」(~明応3(1494)年10月)
- 1493年10月17日-09:00|日本|富山県|明応2年9月7日|畠山義豊、義材在国の越中国に出兵し敗北
- 1493年10月21日-09:00|日本|京都府相楽郡精華町|明応2年9月11日|大和の国人古市澄胤の軍勢が山城に入り、相楽・綴喜郡に乱入し、山城国衆が拠る稲八妻城を攻略/8年にわたる山城国一揆が崩壊
- 1493年10月22日 00:00|イギリス| |||<死去>初代モント伯「ジェームズ・ダグラス」
- 1493年10月22日 00:00|イギリス| |||<就任>2代モント伯「ジョン・ダグラス」(~15130909死去)
- 1493年11月2日-09:00|日本|滋賀県|明応2年9月23日|京極高澄が近江国に入り、京極政経は八尾城へ退く
- 1493年11月3日 04:00|トミニカ国/スペイン| |||クリストファー・コロンブスによって発見され、スペイン領トミニカ島と名付けられた
- 1493年11月3日 04:00|グアドループ/スペイン| |||マリ・ガランテがクリストファー・コロンブスによって発見され、スペイン領宣言、サン・マリア・ア・ガラタと命名
- 1493年11月3日 04:00|モントセラト/スペイン| |||モントセラトがコロンブスにより発見され、スペイン領宣言、サン・マリア・デ・モントセラトと命名
- 1493年11月9日-09:00|日本|滋賀県|明応2年10月|<交替>近江国守護「六角虎千代」⇒「山内就綱」(~明応3(1494)年)
- 1493年11月10日 04:00|アンティグア・バブーバ/スペイン| |||コロンブスがアンティグアを発見し、スペイン領宣言サン・マリア・デ・ラ・アンティグア島と名付けた

1510迄 (1720件)

- 1493年11月11日 04:00|シント・マルテン/サン・マルタン/スペイン| |||コロンブスがセント・マティン島を発見しスペイン領宣言、サン・マルティン島と命名
- 1493年11月11日 04:00|アンティグア・バブータ/スペイン| |||コロンブスがバブータを発見/レオンダが発見され、サンタ・マリア・ラ・レオンダ(「聖マリア・ザ・ラウンド」)と名付けられた
- 1493年11月12日 04:00|セントクリストファー・ネビス/スペイン| |||セントクリストファー島がコロンブスによって発見されスペイン領宣言、セントキッツ島と命名/ネビス島がコロンブスによって発見されスペイン領宣言(後にメストラ・セニョーラ・デ・ラス・ニエブス島と改名)
- 1493年11月12日-09:00|日本|和歌山県|明応2年10月4日|畠山義豊、和泉上守護・細川元有と和泉下守護・細川基経、高野勢が紀伊に出兵
- 1493年11月13日 04:00|BES諸島/スペイン| |||サバ島がコロンブスによって発見されスペイン領宣言、サンクリストバル島と命名; セント・ユスタティウス島がコロンブスによって発見されスペインのために(後にサンタアナシア島と名付けられた)
- 1493年11月14日 04:00|グアドループ/スペイン| |||グアドループがコロンブスによって発見されスペイン領宣言、エストレマトゥーラにあるサンタ・マリア・デ・グアタルペ島と命名
- 1493年11月14日 04:00|米領ヴァージン諸島/スペイン| |||セントクロア島がコロンブスによって発見され、スペイン領宣言、サンタクルス島と命名
- 1493年11月14日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||ピエクス島がコロンブスによって発見されスペイン領宣言、ラ・グランドサ島と命名
- 1493年11月16日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||クレラ島がコロンブスに発見されスペイン領宣言、パサージュ島と命名
- 1493年11月19日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||プエルトリコがクリストファー・コロンブスによって発見されスペイン領宣言、サンファンバウティスタ島と命名
- 1493年11月19日-09:00|日本|静岡県伊豆の国市|明応2年10月11日|<堀越御所の戦い>足利茶々丸、親扇谷上杉派の讒言により、親山内上杉派家老外山豊前守・秋山藏人誅殺/家臣の声望を失い伊豆国中騒然となる/伊勢盛時2千、扇谷上杉定正と謀り足利茶々丸攻める。援軍葛山播磨守氏堯(長嘉)・葛山備中守惟貞・今川蒲原小五郎左衛門尉満氏1千、黄瀬川渡り、南下堀越御所攻める/伊豆国守護代宇佐美能登守定興入道道盛、足利茶々丸を大森山へ逃がし、主従7,8騎と迎え撃ち討死
- 1493年11月21日-09:00|日本|愛知県岡崎市|明応2年10月13日|松平親忠、三河上野城主阿部満五郎・寺部城主鈴木日向守・拳母城主中条出羽守・伊保城主三宅加賀守・八草城主那須惣左衛門三千余人との井田野合戦に勝利
- 1493年11月21日-09:00|日本|静岡県伊豆の国市|明応2年10月13日|伊勢盛時、宇佐美城を落城させる/在京中の宇佐美祐晴、伊豆の本領宇佐美が伊勢盛時に奪われる事態を知り自害⇒伊勢盛時、宇佐美庄内戸侯(留田)山に迎撃して敗退し北条まで退却。追撃した佐美孝忠、伊勢盛時と激戦中、背後に居た伊豆の国侍松下三郎左衛門・田子の山本太郎左衛門尉・土肥の富永三郎左衛門・梅原・上村・雲見の高橋将監・妻浦の村田市之丞の伊勢盛時側への寝返りで、関戸播磨守勢が崩れたのをきっかけに大敗
- 1493年11月29日-09:00|日本|福井県坂井市|明応2年10月21日|甲斐勢は大野郡や豊原寺へ侵攻し、朝倉勢と激戦のすえ加賀に退却
- 1493年12月-01:00|スペイン| |||バルセロナでヨーロッパで最初の梅毒感染症が確認
- 1493年12月7日-09:00|日本|熊本県|明応2年10月29日|<死去>肥後国守護「菊池重朝」⇒子の「菊池能運」が継ぐ(〜文亀元(1501)年)
- 1493年12月14日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「李克培」(〜14950414)
- 1493年12月22日-09:00|日本|大分県|明応2年11月14日|<死去>大友親繁(83歳)前豊後・筑後守護
- 1493年12月23日-09:00|日本|滋賀県大津市|明応2年11月15日|<近江徳政一揆>日吉社の社頭に土一揆が籠る/延暦寺が土一揆勢を攻撃し、大宮・八王子を残し社殿が焼失
- 1494年-07:00|ベトナム| |||<即位>パントゥラン王「Po Kabih(Ba Cap)」(〜1530年)
- 1494年-05:30|インド| |||<即位>ベンガル・スルタン朝スルタン「アラウッディーン・フサイン・シャー」(〜1519年死去)
- 1494年-05:00|ウズベキスタン/イラン| |||<死去>ティムール朝(サマルカンド)政権)アミール「スルタン・アフマド」
- 1494年-05:00|ウズベキスタン/イラン| |||<即位>ティムール朝(サマルカンド)政権)アミール「スルタン・マフムド」アブー・サイドの次男(〜1495.1死去)
- 1494年-04:00|ロシア| |||ノボゴロドのハンザ同盟商館がイヴァン3世によって閉鎖される
- 1494年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「ドメニコ・ボッサーニ」(〜1496年)
- 1494年-02:00|トルコ| |||オスマン朝領でユダヤ人がモーセ5書を印刷
- 1494年-01:00|フランス| |||<就任>オーベルニュ伯「John3世」(〜1501年)
- 1494年-01:00|イタリア| |||<就任>モンフェラーテ侯「ケリエル9世」ボニファチオ3世の長男(〜15181004死去)
- 1494年-01:00|チュニジア/アルジェリア| |||<即位>ハフス朝アミール「ムハンマド5世アル・ムタワキル」(〜1526年)
- 1494年-01:00|ドイツ| |||フッカーらがフッカー-商事会社を設立
- 1494年 00:00|イギリス| |||<死去>14代マー伯(デ・ジューリ)「トマス・アースキン」
- 1494年 00:00|イギリス| |||<就任>15代マー伯(デ・ジューリ)「アレクサンダー・アースキン」(〜1510年)
- 1494年 00:00|イギリス| |||<就任>初代ヨーク公「ヘンリー・テューター」(〜15090624ヘンリー8世として即位)
- 1494年 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド支配者「ペトル・トルエル・ストマソン」(〜1496年)
- 1494年 00:00|アイルランド/イギリス| |||ボニングス法でアイルランド議会の独立を否定
- 1494年 00:00|サントメ・プリンシパ/ポルトガル| |||ポルトガルがアノボム島を領有宣言
- 1494年1月-06:30|ミャンマー| |||<即位>ムラウケウ国王「ラン・アウン」(〜7月)
- 1494年1月8日-09:00|日本|愛知県豊川市|明応2年12月|一色氏被官牛久保城主(豊川市牛久保町)牧野左衛門成時、今川氏の援助により、波多野全慶を灰野原(御津町灰野)に討ち破り一色城(牛久保町)を手に入れる/大沢城(宝飯郡)波多野三郎左衛門尉時政討死
- 1494年1月25日-01:00|イタリア| |||<死去>ナポリ王「フェルディナンド1世」/70歳(誕生1423年)

1510迄 (1720件)

- 1494年1月25日-01:00|イタリヤ| |||<就任>カブリア公(両シリア王の推定相続人の称号)「フェルディナント」アルフォンソ2世の甥(15501026死去)
- 1494年1月25日-01:00|イタリヤ| |||<即位>ナポリ王「アルフォンソ2世」(~14951218)
- 1494年2月6日-09:00|日本|沖縄県那覇市|明応3年|琉球王尚真、首里に円覚寺を創建
- 1494年2月6日-09:00|日本|静岡県掛川市|明応3年|専蓮社秀誉上人(長谷川氏)、泉洞山天然寺(仁藤)開創
- 1494年2月6日-09:00|日本|静岡県袋井市|明応3年|今川氏の遠江侵攻に際し、前線基地として久野佐渡守宗隆が久野城を築城
- 1494年2月6日-09:00|日本|鳥取県|明応3年|<任命>伯耆国守護「山名尚之」(~同年)
- 1494年3月15日-01:00|モナコ| |||<就任>モナコ領主「ジヨヴァンニ2世」(~15051011没)
- 1494年3月25日-09:00|日本|山口県山口市|明応3年2月18日|周防国山口興隆寺焼失
- 1494年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・デ・イ・シ・ローモ」「マリノ・デ・イ・シ・モネ・ムッチョーリ」
- 1494年4月6日-09:00|日本|滋賀県大津市|明応3年3月|延暦寺の根本中堂が焼亡
- 1494年4月6日-09:00|日本|静岡県牧之原市|明応3年3月|板倉六郎左衛門、宗芝性岱開山に、龍門山法幢寺(榛原町坂口)開基
- 1494年5月-03:00|イタリヤ| |||<死去>イタリヤ帝国(ソロモン朝)皇帝「エスケンデル・ヘ・エテ・マリアム」
- 1494年5月-03:00|イタリヤ| |||<即位>イタリヤ帝国(ソロモン朝)皇帝「アマタ・セヨ2世エスケンデル」(~10.26没)
- 1494年5月1日-09:00|日本|山梨県|明応3年3月26日|甲斐国守護「武田信縄」、弟の武田(油川)信恵軍を打ち破る/大蔵大輔・加藤兵部らが戦死
- 1494年5月5日 05:00|ジャマイカ/スペイン| |||コロンバス、第2回航海でジャマイカを発見、スペイン領サンティアゴ(サンティアゴ)と宣言
- 1494年5月26日-02:00|ラトビア/エストニア/ドイツ| |||<死去>リガニア騎士団団長「ヨハン・フライターク・フォン・ローリング・ホフェ」
- 1494年5月26日-02:00|ラトビア/エストニア/ドイツ| |||<就任>リガニア騎士団団長「ウオルター・フォン・ブレンベルク」(14940707まで代行~15350228没)
- 1494年6月7日 00:00|西サハラ/スペイン/ポルトガル| |||スペインとポルトガルがトルデシヤス条約により、スペインがボハドール岬(プシヤドール)とブラン岬の間のリデロを占領する権利を有する
- 1494年6月7日 00:00|ポルトガル/スペイン| |||トルデシヤス条約/教皇アレクサンデル6世が、西経46度30分より東をポルトガルの勢力範囲、西をスペインの勢力範囲と定めた
- 1494年6月10日-09:00|日本|奈良県|明応3年5月7日|大和で大地震。東大寺、興福寺、薬師寺、法華寺、西大寺、矢田庄在所など破損損亡。倒壊多数
- 1494年7月-06:30|ミャンマー| |||<即位>ムラウケウ国王「サンガトウ」(~1502年2月)
- 1494年7月14日-09:00|日本|宮城県都城市|明応3年6月12日|新納忠親、伊東尹祐と志和池野頸で戦い戦死
- 1494年8月1日-09:00|日本|長野県岡谷市|明応3年7月|康忠作の長野照光寺大日像できる
- 1494年8月6日-09:00|日本|京都府京都市|明応3年7月6日|<京都大火>四条室町より失火し北は四条坊門、南は五条坊門、西は堀川まで54町焼亡
- 1494年8月9日-09:00|日本|長崎県対馬市|明応3年7月9日|<死去>宗貞国(73歳)前対馬守護
- 1494年8月14日-09:00|日本|山形県|明応3年7月14日|<死去>羽州探題「最上満氏」48歳⇒「最上義淳」が継ぐ(~永正元年9月9日(15041016)死去)
- 1494年8月31日-09:00|日本|静岡県掛川市|明応3年8月1日|<殿谷城の戦い>伊勢宗瑞、数千(杉山太郎左衛門從軍)、佐野・山名・周智3郡侵攻。殿谷城原頼景攻め落とす。高山円通院住持松堂高盛・安里山長福寺住持恵珊長老焼失
- 1494年9月3日-01:00|フランス/イタリヤ| |||フランスのシャルル8世軍がイタリヤのサヴォイア公国に侵攻
- 1494年9月14日-09:00|日本|東京都多摩市|明応3年8月15日|扇谷上杉定正、武蔵国関戸要害を攻略
- 1494年9月24日 04:00|ポルトガル/スペイン| |||コロンバスによってサトウ島が発見され、スペインのためにデ・ラ・サトウ島という名前で領有宣言
- 1494年10月-01:00|スペイン/中米| |||カナラの弟マニコが、スペインに対して反乱、カナラを救おうとタイノ族七千が決起するが惨敗/タイノ族千5百人が捕虜となる
- 1494年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・デ・イ・マウツィオ・ルナルデ・イーニ」「マリノ・デ・イ・ニコロ・デ・イ・ジヨヴァネッ」
- 1494年10月13日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副王「ウェルズ 公ヘンリー」(⇒15090422、イングランド 王ヘンリー8世~15090608)、代行「エドワード・ポインクス」(~1495年12月)
- 1494年10月18日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|明応3年9月19日|扇谷上杉定正、相模国玉縄要害を攻略
- 1494年10月20日-09:00|日本|富山県|明応3年9月21日|足利義材(義植)が越中で挙兵
- 1494年10月21日-01:00|イタリヤ| |||<死去>ミラノ公「ジャン・ガレアツォ・スフォルツァ」
- 1494年10月22日-01:00|イタリヤ| |||<即位>ミラノ公「ルドヴィーゴ・スフォルツァ」フランチェスコの息子(~14990906)
- 1494年10月22日-09:00|日本|神奈川県三浦市|明応3年9月23日|三浦義同、相模三浦郡の新井城・三崎城に時高・高教父子を攻め滅ぼして家督を相続、相模守護となった
- 1494年10月26日-03:00|イタリヤ| |||<死去>イタリヤ帝国(ソロモン朝)皇帝「アマタ・セヨ2世エスケンデル」
- 1494年10月26日-03:00|イタリヤ| |||<即位>イタリヤ帝国(ソロモン朝)皇帝「ナト1世パエタ・マリアム」(~15080731没)
- 1494年10月27日-09:00|日本|埼玉県比企郡小川町|明応3年9月28日|伊勢宗瑞、上杉定正の援軍として武蔵高見原に出陣し、上杉顕定と戦う
- 1494年10月28日-09:00|日本|鹿児島県志布志市|明応3年9月29日|日向志布志・福島で合戦
- 1494年10月29日-09:00|日本|京都府京都市|明応3年10月|<交替>山城国守護「伊勢貞陸」⇒「細川政元」(~永正4年(1507年)6月23日死去)
- 1494年10月29日-09:00|日本|長崎県平戸市|明応3年10月|少貳政資は伊万里氏・山代氏らを軍門に下し、島原の有

1510迄 (1720件)

- 馬貴純に平戸の松浦弘定を攻めさせた/弘定は抗することかなわず平戸を脱出し、筑前を経て周防の大内氏に頼った
- 1494年11月2日-09:00|日本|神奈川県|明応3年10月5日|<死去>相模国守護「上杉定正」49歳、馬上より落ち頓死⇒「上杉朝良」(~永正2(1505)年3月7日)
- 1494年11月2日-09:00|日本|埼玉県比企郡小川町|明応3年10月5日|<荒川の合戦>上杉定正落馬死亡のため扇谷陣は高見、山内陣は藤田・小舞田扇谷上杉朝良は河越城に退き、山内上杉顕定は上戸に在陣
- 1494年11月9日-01:00|イタリヤ| |||<解任>フィレンツェのシニョレ「ピエロ・デ・メディチ(イル・ファウオ)」市民により追放、共和制に復帰
- 1494年11月9日-01:00|イタリヤ| |||<就任>フィレンツェのシニョレ「ジローラモ・サッポローラ」市政府のメンバーではないが、神権政治を主張して市政府を事実上コントロールした(~14980523失脚・処刑)
- 1494年11月10日-09:00|日本|静岡県掛川市|明応3年10月13日|<殿谷城の戦い>伊勢宗瑞は数千の軍兵を率いて遠江の佐野・山名・周智3郡に侵攻し、殿谷城の原頼景を攻め落とす。高山円通院(寺島)住持松堂高盛・安里山長福寺(本郷)住持惠珊長老焼失
- 1494年11月14日-09:00|日本|新潟県|明応3年10月17日|<死去>越後国守護「上杉房定」病死、64歳⇒子の「上杉房能」が継ぐ(~永正4年8月7日(15070913)死去)
- 1494年11月15日-09:00|日本|福井県|明応3年10月18日|甲斐氏が加賀の一向一揆とともに越前に侵入し、朝倉貞景の軍と戦う
- 1494年11月16日-01:00|ドイツ| |||<死去>東フリート伯「Theda Ukena」
- 1494年11月16日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|明応3年10月19日|<金剛寺城の戦い>近江守護の山内就綱、金剛寺城に籠もる六角高頼と合戦し撃破
- 1494年11月17日-01:00|フランス/イタリヤ| |||フランス軍が、フィレンツェに侵入
- 1494年11月18日-09:00|日本|福井県|明応3年10月21日|越前で、甲斐氏が朝倉勢と戦い敗れて加賀へ退却
- 1494年12月12日-09:00|日本|東京都大田区|明応3年11月15日|伊勢盛時、馬込で敗北
- 1494年12月22日-09:00|日本|鹿児島県肝属郡肝付町|明応3年11月25日|島津側、飢肥の替わりに三俣一千町を伊東氏に割譲/島津忠昌、甘言を受け入れ軍勢を率いて肝付高山城を攻める
- 1494年12月28日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|明応3年12月|齊藤妙純は郡上郡に大宝寺を創建
- 1494年12月28日-09:00|日本|京都府京都市左京区|明応3年12月|毛利弘元、大檀越として、吉田の崇道社社殿を造立
- 1495年-08:00|インドネシア| |||<即位>サム・ラ・パサイ王国第15代スルタン「アル・カミル」(~同年)⇒第17代スルタン「ムハンマド・シャー3世」(~1507年)
- 1495年-08:00|マレーシア| |||<即位>パハン・スルタン「アブドゥル・ジャミル・シャー」(~1512年没)、「マンスルシャー1世」(~1519年没)
- 1495年-07:00|タイ| |||<即位>ランナー王国マンラーイ朝国王「ケオ」(~1525年)
- 1495年-07:00|タイ| |||<退位>ランナー王国マンラーイ朝国王「ヨートチエンラーイ」
- 1495年-05:00|ウズベキスタン/イラン| |||<死去>ティムール朝(サマルカント)政権)アミール「スルタン・マフムド」
- 1495年-05:00|ウズベキスタン/イラン| |||<即位>ティムール朝(サマルカント)政権)アミール「バイングル」スルタン・マフムドの長男(~1496年)
- 1495年-05:00|モルデイヴ| |||<復位>ヒルリ朝スルタン「Kalu Mohamed Dhammaru Bavana」(2期目~1510年)
- 1495年-04:00|ロシア| |||<死去>シビル・ハン「サイト・イブラヒム(イバク)」
- 1495年-04:00|ロシア| |||<即位>アストラハン・ハン「アブドゥル・カラム」カムの弟(~1515年)
- 1495年-04:00|ロシア| |||<即位>シビル・ハン「マムク」(~1496年)
- 1495年-03:30|イラン/アフガニスタン| |||<即位>ミフバニド朝マリーク「Sultan Mahmud ibn Nizam al-Din Yahya」(~1537年死去)
- 1495年-02:00|キプロス/イタリヤ| |||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「アントニア・デ・イアコステイノ・バルバニコ」(~1497年)
- 1495年-01:00|アルバニア/イタリヤ| |||<就任>ヴェネツィアのデューラツォ執達吏・長官「ドナト・バツォ」(~1498年)
- 1495年-01:00|ポーランド| |||<就任>オレシツァ公「インジフ1世」(~1498年)
- 1495年-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチアとスラヴォニアとダルマチアのバン「ヤヌス・コルグイン(=イヴァニシュ・コルグイン)」(1回目~1498年)
- 1495年 00:00|セネガル| |||<建国>ワタ・ト・ロ国デナンク王朝(最後の世襲王朝)
- 1495年 00:00|ポルトガル| |||<就任>コインブラ公「ジヨルジェ」(~15500722死去)ジョアン2世の庶子
- 1495年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地ケラン・カリヤ島知事「Alonso Fajardo」(~1497.12死去)
- 1495年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>ファイアル島・ピコ島トナリア長官「Joao Dutra」(~1549年)
- 1495年 01:00|カーボベルテ/ポルトガル| |||<分割>カーボベルテ自治領として知られる独立したポルトガル王領植民地(トナリア)
- 1495年1月5日-09:00|日本|滋賀県|明応3年12月9日|六角就綱が近江国でまた六角高頼と戦い負ける
- 1495年1月6日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|明応3年12月10日|齋藤利光は居城の船田城で兵を集め船田城の北にある加納城にいる妙純を奇襲しようとしたが西尾直教の密告で妙純に発覚
- 1495年1月10日-01:00|フランス/イタリヤ| |||フランス王シャルル8世がイタリヤから撤退
- 1495年1月15日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|明応3年12月19日|齋藤利光は成頼に仲介を頼んで妙純と和睦、西尾直教は追放された
- 1495年1月17日-09:00|日本|徳島県|明応3年12月21日|<死去>阿波国守護「細川義春」⇒「細川之持」が継ぐ(~永正9(1512)年1月死去)
- 1495年1月20日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・弘治7年12月24日|<死去>李氏朝鮮国王「成宗」38歳
- 1495年1月23日-01:00|イタリヤ| |||<即位>ナポリ王「フェルディナンド2世」(~14960907死去)

1510迄 (1720件)

- 1495年1月23日-01:00|イタリア| |||<退位>ネポリ王「アルフォンソ2世」逃亡
- 1495年1月23日-09:00|日本|京都府京都市|明応3年12月27日|<任命>室町幕府管領「細川政元」(~即日辞任)
- 1495年1月23日-09:00|日本|京都府京都市|明応3年12月27日|<任命>室町幕府第11代将軍「足利義高(義澄)」(~永正5年4月16日(15080515)退任)
- 1495年1月25日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・弘治7年12月29日|<即位>李氏朝鮮国王「燕山君」(~15060918廃位)
- 1495年1月27日-09:00|日本|秋田県能代市|明応4年|安藤忠季(政季の子)、霧山に大規模な桧山城を築城。河北郡を桧山郡と改称
- 1495年1月27日-09:00|日本|神奈川県足柄下郡箱根町|明応4年|伊勢宗瑞が大森実頼の湯坂城(相模国)を攻め、同城を落とす
- 1495年2月11日-01:00|イタリア/フランス| |||フランス王軍、「サン・ジェルマンの戦い」で、ネポリ王フェラン2世(フェルディナント2世)を破る
- 1495年2月16日-01:00|ポーランド| |||<死去>プロウツク公「ヤヌシュ2世」公国はポーランドに吸収
- 1495年2月20日-09:00|日本|静岡県袋井市|明応4年1月25日|<死去>遠江国周知郡馬谷村「泉谷山玄泉庵」開基「清溪玄泉(内藤氏)」
- 1495年2月21日-01:00|イタリア| |||ネポリ王フェラン2世(フェルディナント2世)シャルル8世軍の入城を前にネポリを逃亡
- 1495年2月22日-01:00|フランス/イタリア| |||シャルル8世が、ネポリ王国を征服/戴冠して「ネポリ王」を僭称
- 1495年2月26日-01:00|ドイツ| |||<死去>ブランテンブルク=クルムホルツ辺境伯「ジークムント」
- 1495年2月26日-01:00|ドイツ| |||<就任>ブランテンブルク=クルムホルツ辺境伯「フリドリヒ2世」(~1515年)
- 1495年3月 06:00|中米| |||イサペリアで囚われの身となっていたインディア首長のゲアティグアナ、脱走に成功。ベガレアルを組織、プロルト・デ・ロス・イダロスに進出しスペイン兵に立ち向かう。コロンブス、オタらは銃と馬、犬の攻撃により抵抗を蹴散らす(サント・セロの闘い)
- 1495年3月1日-09:00|日本|静岡県伊東市|明応4年2月5日|伊勢宗瑞、伊東伊賀入道祐遠を扇谷上杉氏から味方に付ける/2年間抵抗戦を続けてきた伊東家が敗北し、伊東七郷のうち本郷のみを残して他を没収されて降伏/足利茶々丸、山内上杉顕定直轄領、伊豆七島(伊豆大島・新嶋・利島・神津島・三宅島・八丈島)いずれかに逃れる
- 1495年3月5日-01:00|ドイツ| |||<死去>ブランシュヴァイク=グェッティンゲン侯「フリドリヒ3世」
- 1495年3月5日-01:00|ドイツ| |||<就任>カレンベルク侯「エーリヒ1世」ウイヘルム2世の息子、カレンベルク及びグェッティンゲン侯領を相続(~15400730死去)
- 1495年3月6日-01:00|ポーランド| |||<死去>レグニツァ公「ジヨン2世」
- 1495年3月27日-09:00|日本|愛知県豊橋市|明応4年3月|御屋形右馬頭(一色氏か牧野古白)・代官牧野藤右衛門尉、安海熊野社(魚町)の拝殿造営
- 1495年3月31日-01:00|ドイツ/フランス/スペイン/オーストリア| |||、ウエネツィア、ローマ教皇、ミラノ公、神聖ローマ皇帝マクシミリアン1世、スペイン両王イサベルとフェルナンドの間で、「反フランス同盟」が結ばれる
- 1495年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「伝道師」ローマ=ベネツィア「アントニオ・デ・イポリノ・ロルナルド・イニ」
- 1495年4月11日-09:00|日本|和歌山県|明応4年3月16日|畠山義豊、河内から紀伊に出兵
- 1495年4月14日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「盧思慎」(~10. 3)
- 1495年4月18日-03:00|イェメン| |||<死去>ラッシー朝イマム「アルハデ・イ・イス・アデ・イン・ビッ・アルハッサン」
- 1495年4月18日-03:00|イェメン| |||<即位>ラッシー朝イマム「アンザル・アルハッサン」アルハデ・イ・イス・アデ・インの息子(~15230624死去)
- 1495年5月11日-09:00|日本|群馬県太田市|明応4年4月17日|岩松尚純方の佐野小太郎、金山城を攻撃
- 1495年5月20日-01:00|イタリア/フランス| |||神聖同盟が発足したため、シャルル8世がネポリを撤退し帰国の途につく
- 1495年6月18日-09:00|日本|静岡県富士宮市|明応4年5月26日|毛利広氏ら、尾張国今寄郷の松本宥阿に、富士山へ安置する大日如来像を鑄造させる
- 1495年6月21日-01:00|フランス/スペイン| |||セナラの戦い、スペイン軍がフランスに敗退
- 1495年6月23日-09:00|日本|岩手県奥州市|明応4年6月|江刺郡の大領主・江刺隆見(美濃守)が葛西政信に反旗を翻したが政信は江刺郡に攻め入って江刺隆見を降伏させた/江刺隆見は江刺郡の大部分を没収
- 1495年6月23日-09:00|日本|宮崎県都城市|明応4年6月|伊東軍勢、佐土原金吾・野村越後守をして梅北城を攻める
- 1495年6月23日-09:00|日本|宮崎県都城市|明応4年6月|伊東兵、鬼山・篠原・紙屋口に入り、和田・高木城を攻める
- 1495年7月6日-01:00|イタリア/フランス| |||フランス王軍、「フォルノヴォの戦い」で「反フランス同盟」勢力に敗北
- 1495年7月7日-01:00|イタリア| |||ネポリ王フェラン2世(フェルディナント2世)ネポリに復帰
- 1495年7月11日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|明応4年6月19日|<正法寺の戦い>石丸軍は利光の一族石丸利定が妙純方の安養寺を急襲、加納城を包囲したが、長井秀弘の反撃に遭い利定は戦死、死傷者500名を出して敗走
- 1495年7月12日-09:00|日本| ||明応4年6月20日|宗祇を中心に三条西実隆・兼載・肖柏・肖長らの協力により「新撰菟玖波集」完成
- 1495年7月13日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|明応4年6月21日|<正法寺の戦い>斎藤軍は正法寺へ入り、石丸利元は船田城へ逃れた
- 1495年7月21日-01:00|ドイツ| |||<昇格>グェルテンベルク伯「エーハルト5世」⇒グェルテンベルク公「エーハルト1世」(~14960224死去)
- 1495年7月22日-09:00|日本|長野県長野市|明応4年7月|村上顕国、高井郡の高梨氏と合戦をして高梨氏が信濃善光寺を放火焼失させる
- 1495年7月22日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|明応4年7月1日|<船田合戦(美濃国)>妙純は石丸方の西郡の古田氏討伐に弟の長井利安・利綱ら3000人の兵を派遣。利光も一族の石丸利信を将とした1000人の救援軍を派遣、両軍は合戦に及んだ。この戦いで石丸軍は石丸利信を始め130余名が戦死、斎藤軍は56名であり、斎藤軍の勝利に終わった
- 1495年7月26日-09:00|日本|愛知県|明応4年7月5日|尾張下四郡守護代で石丸利光と姻戚関係にあった織田敏定・

1510迄 (1720件)

- 寛定父子は美濃へ向かうとして、織田寛広に行く手を阻まれ敏定は死去
1495年7月28日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|明応4年7月7日|<船田合戦(美濃国)>度重なる敗戦で船田城の石丸利光は戦意を喪失、船田城を焼き払い元頼と毘沙童ら500騎を連れて近江へ逃れた
1495年7月31日-09:00|日本|愛知県豊川市|明応4年7月10日|大檀那牧野古白成時、財賀寺(財賀町)奥の院を造営
1495年8月1日-09:00|日本|和歌山県|明応4年7月11日|畠山義豊、紀伊への侵攻が失敗に終わり河内に退却
1495年8月7日-01:00|ドイツ|神聖ローマ皇帝マクシミリアン1世(36)が、ウルムス帝国会議で永久ラント平和令を発布
1495年8月10日 00:00|モリタニア/ポルトガル|<就任>ポルトガル領アルギン長官「フェルナ・ソアレス」(~1501年)
1495年8月20日-09:00|日本|千葉県|明応4年8月|安西三郎は金鞠太郎、丸源五、東條四郎らを滅して安房国の一国を取る
1495年8月20日-09:00|日本|山梨県|明応4年8月|伊勢宗瑞、甲斐国に乱入するがすぐに武田と和睦
1495年8月22日-09:00|日本|広島県|明応4年8月3日|毛利氏、備後国堺で山名政豊の軍を破る
1495年9月3日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|明応4年8月15日|鎌倉で大地震/津波由比ヶ浜に押し寄せ、鎌倉大仏殿も破壊される/溺死者200余人
1495年9月11日-09:00|日本|明応4年8月23日|<死去>摂津国西成郡守護「細川政国」⇒「細川政賢」が嗣ぐ(~永正5(1508)年)
1495年9月15日 00:00|カナ/ポルトガル|<就任>ポルトガル・コロンボ長官「ロペ・ソアレス・デ・アルベルカリア」(~14990630)
1495年9月19日-09:00|日本|神奈川県小田原市|明応4年9月|伊勢宗瑞は鷹狩と称して出陣し、小田原城の大森藤頼を攻め陥す。大森藤頼、真田城に逃げる
1495年9月19日-09:00|日本|岐阜県|明応4年9月|<交替>美濃国守護「土岐成頼」隠居⇒「土岐政房」(~永正16年6月16日(15190712)死去)
1495年9月25日-09:00|日本|愛知県|明応4年9月7日|清須方の織田寛定、岩倉方と戦い、討死/寛定の弟寛村が後を継ぐ
1495年10月1日-01:00|サマリノ|<就任>サマリノ共和国執政「マリノ・デ・アントニオ・ジャンニニ」「アントニオ・デ・イ・シモネ・ベ・ルツィ」
1495年10月6日-09:00|日本|大分県|明応4年9月18日|<死去>豊前国守護「大内政弘」50歳
1495年10月6日-09:00|日本|島根県|明応4年9月18日|<死去>石見国守護「大内政弘」50歳⇒「大内義興」が継ぐ(~享禄元年12月20日(15290129)死去)
1495年10月6日-09:00|日本|福岡県|明応4年9月18日|<死去>筑前国守護「大内政弘」50歳⇒「大内義興」が継ぐ(~享禄元年12月20日(15290129)死去)
1495年10月6日-09:00|日本|山口県|明応4年9月18日|<死去>周防・長門国守護「大内政弘」50歳⇒「大内義興」が継ぐ(~享禄元年12月20日(15290129)死去)
1495年10月14日-09:00|日本|明応4年9月26日|宗祇を中心に3条西実隆・兼載・肖柏・宗長らの協力により「新撰菟波集」完成
1495年10月21日-09:00|韓国/朝鮮|<就任>朝鮮国領議政「慎承善」(~14970501)
1495年10月25日 00:00|ポルトガル|<死去>ポルトガル王「ジョアン2世完全王」
1495年10月25日 00:00|ポルトガル|<即位>ポルトガル王「マヌエル1世幸運王、金持王」(~15211213)ジョアン2世の従弟
1495年10月30日-09:00|日本|京都府京都市|明応4年10月13日|京都土一揆蜂起
1495年11月-01:00|フランス/イタリア|シャルル8世が、ネーデルの支配を断念してイタリアから撤退
1495年11月16日-09:00|日本|京都府京都市|明応4年10月30日|京都土一揆:大将上野四郎など100人余りが斬首
1495年11月17日-09:00|日本|京都府相楽郡南山城村|明応4年11月|河内の畠山義豊家臣の遊佐弥六、南山城に進出
1495年12月1日-09:00|日本|東京都大田区|明応4年11月15日|伊勢宗瑞が武蔵国馬込に侵攻して敗北
1495年12月8日-09:00|日本|奈良県桜井市|明応4年11月22日|長谷寺で火災が発生/観音堂・観音堂本尊・十三重塔・新宮・鐘楼・愛染堂・登廊・灌頂堂・本堂・三重塔・一切経蔵・炎魔堂・公坊が焼失。二王堂・食堂・客坊は焼失を免れる
1495年12月16日-01:00|フランス|<死去>シャルル・オラン(フランス王シャルル8世とアンスト・ブルターニュの長男)、麻しん(はしか)のため「アンボワーズ城」で(1492~、3歳)
1495年12月17日-09:00|日本|滋賀県|明応4年12月|<再任>近江国守護「六角高頼」(~永正4(1507)年)
1495年12月18日-01:00|イタリア|<死去>前ネーポリ王アルフォンソ2世
1495年12月21日 00:00|イギリス|<死去>ヘットフォード公・ヘンリー・ブルック伯「ジャスパー・テューター」無嗣断絶
1495年12月25日 00:00|イギリス|<死去>初代モントローズ公・5代クロフォート伯「デヴィッド・リンズー」
1495年12月25日 00:00|イギリス|<就任>6代クロフォート伯「ジョン・リンズー」(~15130909死去)
1495年12月25日 00:00|カナリヤ諸島/スペイン|<就任>スペイン王国領テネリフェ島知事「Alonso Fernandez de Lugo」(~1525年)
1495年12月25日 00:00|カナリヤ諸島/スペイン|スペイン王国がテネリフェ島の征服が完了
1496年-08:00|インドネシア|<即位>アチェ王国スルタン「アリムハット・シャー」(~1528年~15300807死去)
1496年-07:00|オーストリア|<即位>ランサン王朝国王「ソムフー」(執政ウイスマラト(フーペー)の傀儡~1501年死去)
1496年-05:00|ウズベキスタン/イラン|<即位>ティムール朝(サルカント)政権「アミール「スルタン・アリー」スルタン・マフムド」の次男(~同年)
1496年-04:00|ロシア|<就任>シベリヤ支配者「ムハマト」(~1502年死去)
1496年-04:00|ロシア|<即位>カザン・ハン「マムクシベリヤ」ハン国のマフムトがあるいはバクの子(~1497年死去)
1496年-04:00|ロシア|<即位>モスコフスキー・ナメストク「アレクサンドル・ウラジミロヴィチ」(~1501年)
1496年-02:00|ギリシャ/イタリア|<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「アントニア・ガブリエル」(~1498年)

1510迄 (1720件)

- 1496年-01:00|ドイツ| |||<就任>アレンベルク伯「ロベルト1世」(~不明)⇒「ロベルト2世」(~1536年)
- 1496年-01:00|アルバニア/トルコ| |||<就任>イシュコラのワリス「フィリス・ベイ・ミハロウ」(~1502年)
- 1496年-01:00|ポズナア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポズナア総督「フィリス・ベイ・ミハオール」(1回目~1498年)
- 1496年 00:00|アイルランド| |||<死去>トモント王「コンチョバル・ナ・スロ・ナ・オブ・リアン」
- 1496年 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「Peter Dutton」(~1497年)
- 1496年 00:00|アイルランド| |||<即位>トモント王「トイルデルバ ッハ・オ・グ・オ・オブ・リアン」トイルデルバ ッハ・オ・グ・オ・オブ・リアンとキャサリン・ハックの息子(~1498年没)
- 1496年 00:00|マリ| |||<即位>マリ帝国マサ「Mahmud3世」(~1559年)
- 1496年1月 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副王代行「ハンコ・司教ヘンリー・ティーン」(~7月)
- 1496年1月3日-09:00|日本|群馬県太田市|明応4年12月18日|古河公方足利成氏の仲介により、岩松尚純隠居、横瀬成繁父子を尚純子息夜叉王丸(昌純)の名代とする和約が成立
- 1496年1月16日-09:00|日本|茨城県|明応5年|<死去>常陸小田領主「小田治孝」⇒「小田成治」再任(~永正11年4月21日(15140515)死去)
- 1496年1月16日-09:00|日本|佐賀県|明応5年|<任命>肥前国守護「渋川尹繁」(~永正3(1506)年)
- 1496年1月16日-09:00|日本|静岡県御前崎市|明応5年|松堂高盛、曹洞宗普巖山閑田院(浜岡町)を開創
- 1496年1月16日-09:00|日本|静岡県掛川市|明応5年|高天神城福島佐渡守基正、家臣諏訪庄左衛門正利に命じ、芝派7哲賢仲繁開山に、賢仲派平等山竜眼寺(西大淵)を開基
- 1496年1月16日-09:00|日本|静岡県島田市|明応5年|<志戸呂の戦い>今川氏親は横地・勝間田・河合氏ら斯波派遠江国人領主らを各地で攻め、志戸呂城において城主鶴見因幡守を打ち取る
- 1496年1月16日-09:00|日本|福岡県糸島市|明応5年1月|大内義興は数万の兵を九州に派遣/少弐高経、少弐政資、龍造寺・千葉氏らが出陣して高祖城を囲み、城は落城し、大内・原田は博多以東に敗退/少弐政資は西筑前(怡土・志摩・早良三郡)を手中に収める
- 1496年2月24日-01:00|ドイツ| |||<死去>グェルテンベルク公「エーバールト1世」
- 1496年2月24日-01:00|ドイツ| |||<即位>グェルテンベルク公「エーバールト2世」(~14980611退位)
- 1496年2月25日-01:00|フランス| |||<就任>モンベリアール伯「エーバールト2世」(~1498年)
- 1496年3月-01:00|スペイン| |||コロンブスの艦隊が2回目の航海からスペインに帰港
- 1496年3月13日-09:00|日本|奈良県桜井市|明応5年2月28日|長谷寺新宮の遷座が行われる
- 1496年3月15日-09:00|日本|茨城県つくば市|明応5年閏2月|小田治孝(25) 徳隣庵日東道舜、実弟北条顕家に殺害される
- 1496年4月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「ファブ リツィオ・デ・イ・ピエール・レオーネ・コルベ ッリ」「サティノ・デ・イ・ピエーロ」
- 1496年4月14日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|明応5年3月|奥山氏、備中国洞松寺4世華翁洞岳を開山に、稲荷山善住寺(水窪町向市場)建立
- 1496年4月16日-01:00|フランス/イタリヤ| |||<死去>サヴォイア公「カルロ2世」
- 1496年4月16日-01:00|フランス/イタリヤ| |||<即位>サヴォイア公「フィリップ 2世」(~14971107死去)
- 1496年4月20日-01:00|フランス/イタリヤ| |||シャルル8世、フランスでヴェネツィアとの通商禁止
- 1496年4月25日-09:00|日本|石川県|明応5年3月12日|秋月の西湖図できる
- 1496年5月6日-09:00|日本|愛知県|明応5年3月23日|合戦で両織田氏は双方共に多数の戦死者を出したため和睦、尾張の戦乱終結
- 1496年5月13日-09:00|日本|岐阜県|明応5年4月|石丸利光軍は土岐元頼を総大将、毘沙童を副将として伊勢国から尾張国津島・竹鼻を経て、美濃国墨俣に迫る
- 1496年6月6日-09:00|日本|岡山県|明応5年4月25日|<死去>備前・美作国守護「赤松政則」播磨国加西郡坂田の長円寺にて病没/42歳⇒養子「赤松義村」が継ぐ(~永正17(1520)年11月解任)
- 1496年6月6日-09:00|日本|兵庫県|明応5年4月25日|<死去>播磨国守護「赤松政則」播磨国加西郡坂田の長円寺にて病没/42歳⇒「養子の赤松義村」が継ぐ(~永正17(1520)年11月解任)
- 1496年6月11日-09:00|日本|静岡県掛川市|明応5年5月|松葉城主河合成信は、勝間田城主勝間田播磨守と、志戸呂城主鶴見稲葉守に攻められて落城し、河合成信夫妻は、長松院の淵に身を投じて自害
- 1496年6月15日-09:00|日本|京都府京都市|明応5年5月5日|洛中で大規模な印地打(石合戦)が行われ、多数の死傷者を出す
- 1496年6月27日-09:00|日本|岐阜県|明応5年5月17日|岩倉方織田寛広、斎藤利国支援のため、美濃国に出兵
- 1496年7月2日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<死去>アングラト・ナリア長官「Joao Vaz Corte Real」
- 1496年7月2日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>アングラト・ナリア長官「Vasco Annes Corte Real1世」(~15380803死去)
- 1496年7月6日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|明応5年5月26日|<城田寺城の戦い(美濃国)>六角高頼は城田寺城へ救援に向かおうとしたが、国境に遮る京極軍に敗れて500余名を失った
- 1496年7月7日-09:00|日本|大分県|明応5年5月27日|<死去>豊後国守護「大友義右」⇒「大友親治」が継ぐ(~文亀元(1501)年隠居)
- 1496年7月10日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|明応5年5月30日|<城田寺城の戦い>石丸利光は利高と共に切腹/毘沙童は13歳という幼少だったため罪を許され、後に出家、日蓮と改名した
- 1496年7月18日-01:00|イタリヤ/イギリス| |||イギリス、反フランス同盟に加入
- 1496年7月20日-09:00|日本|山口県下関市|明応5年6月10日|大友政親は船で赤間の関を通過せんとしたが大内義興は大軍船団で大友軍船を襲い撃破/政親もこの時討たれた

1510迄 (1720件)

- 1496年7月26日-09:00|日本|京都府京都市上京区|明応5年6月16日|京都出雲路相国寺東門辺で武田氏被官と賀茂地下人が田塚について争い、武田方が数人討たれる
- 1496年7月27日 00:00|カヤ諸島/スペイン| |||テリフェ島はスペイン王国植民地に
- 1496年7月28日-09:00|日本|京都府京都市上京区|明応5年6月18日|武田被官人死傷事件の報復として、武田勢が京都相国寺東門前に数百人押寄せ、放火
- 1496年7月30日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|明応5年6月20日|<城田寺城の戦い>成頼を加納城に奉じる一方で城田寺城に火が放たれ、残された土岐元頼は観念して自殺、1年に渡る合戦は終結
- 1496年8月4日 04:00|トミカ共和国/スペイン| |||<就任>サント・ミンゴ 総督「ハ・ソロミュ・コロフス」(~1498年)
- 1496年8月4日 04:00|トミカ共和国/スペイン| |||<設立>サント・ミンゴ 市
- 1496年8月7日-02:00|エジプト/シリア・アラブ| |||<死去>ブルジ(フェルナ)・マムルク朝スルタン「アシュラフ・カーイトハーン」
- 1496年8月7日-02:00|エジプト/シリア・アラブ| |||<即位>ブルジ(フェルナ)・マムルク朝スルタン「ナスイル・ムハンマド」(~14981031)
- 1496年8月26日-09:00|日本|静岡県|明応5年7月18日|榛原・佐野郡で暴徒起きる
- 1496年8月27日-09:00|日本|神奈川県小田原市|明応5年7月|<小田原城の戦い>山内上杉家上杉顕定は相模の西郡へ侵攻、また追放した茶々丸が山内上杉家につき攻撃に加わる。扇谷上杉方の小田原城を攻めた山内上杉軍に対し、伊勢宗瑞は弟の伊勢弥次郎を送るが大敗。小田原城も降伏開城
- 1496年9月7日-01:00|イタリヤ| |||<死去>ナポリ王「フェルディナンド 2世」
- 1496年9月7日-01:00|イタリヤ| |||<即位>ナポリ王「フェリペ 1世」(~1501年一族のアラゴン・シチリア王フェルディナンド 2世に退位させられた)
- 1496年9月7日-09:00|日本|京都府相楽郡南山城村|明応5年8月|赤沢朝経、政元の命を受け、前年より南山城に侵攻していた畠山義豊家臣の遊佐弥六らを撃退
- 1496年10月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「クリストファロ・デ・イ・チェッコ・デ・ウーイータ」「ホニファツィオ・デ・イ・アントレア」
- 1496年10月2日-01:00|フランス| |||<死去>シャルル(フランス王シャルル8世とアンヌ・ド・ブルグニの次子)、誕生後一月と持たず
- 1496年10月15日-01:00|フランス| |||<死去>モンパソジエ伯「Gilbert」
- 1496年10月15日-01:00|フランス| |||<就任>モンパソジエ伯「ルイ 2世」(~15010814死去)
- 1496年10月16日-09:00|日本|静岡県掛川市|明応5年9月10日|<松葉城の戦い>松葉城川井蔵人但馬守成信(今川方として、性海坂戦いで敵将斬る働きあり。)夫妻、勝間田播磨守・横岡城(金谷町)鶴見因幡守榮寿に攻められ、(家臣落合九郎左衛門久吉裏切り)深沢山長松院淵(掛川市大野)に身を投げる/長男討死。次男勘解由左衛門宗在、家臣の手により三河額田郡岡村に逃れる。鶴見因幡守榮寿討死
- 1496年10月21日-01:00|フランス/スペイン| |||ハプスブルク家とスペイン王家の間で、フィリップとアナ王女、マルガレータ王女とホアン王子の同時結婚が行われる
- 1496年11月-01:00|モンテネグロ/トルコ| |||セーラの残りの部分は完全にオスマントルコが占領、イシュコラのサングァの一部として管理
- 1496年11月5日-09:00|日本|京都府相楽郡南山城村|明応5年10月|遊佐弥六、南山城から撤兵
- 1496年11月9日-09:00|日本|大阪府|明応5年10月5日|畠山尚順、畠山義豊の党と和泉国で戦い敗れる
- 1496年11月12日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|明応5年10月8日|大坂御坊の草坊がなる
- 1496年11月24日-01:00|フランス/スペイン| |||フランス王シャルル8世、スペインと「ナポリ王国」を分割するという条件で、スペイン中央部のアルカラ(アルカラ・デ・エナレス)で「攻守同盟」を締結
- 1496年12月1日-09:00|日本|静岡県牧之原市|明応5年10月27日|<死去>龍門山石雲院(榛原町坂口)開山崇芝性岱示(83歳)
- 1496年12月5日-09:00|日本|静岡県沼津市|明応5年11月|光長寺の客殿が造立される。用材が採取地大原(富士吉田市)で組み立てられる
- 1496年12月5日-09:00|日本|千葉県館山市|明応5年11月|里見義豊が安西三郎の館を攻略して稲村城に居住
- 1496年12月7日 00:00|チャリ諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ジャージー-島知事「Thomas Overay」(~1506年)
- 1496年12月30日-09:00|日本|北海道|明応5年11月26日|松前守護職の安東恒季が罪なき者を多数殺害し、出羽檜山からの討手に攻められ自害
- 1497年-05:00|ウズベキスタン/イラン| |||<即位>ティムール朝(サマルカンド 政権)アミール「バハスグル」(2回目~同年)
- 1497年-04:00|ロシア| |||<即位>カザン・ハン「アブドゥッウッタイーフ」イルハム、ムハンマド・アミンの兄弟(~1502年)
- 1497年-04:00|ロシア| |||モスクワ大公国でイヴァン3世の法令集が成立
- 1497年-02:00|キプロス/イタリヤ| |||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「コジモ・デ・イ・パオロ・ハスクア-リーゴ」(~1499年)
- 1497年-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ヘルセグ・ド・アフメト・パシャ」(1期目~1498年)
- 1497年-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア陸軍元帥(首相)代行「ケリゴリジユス・ア・スティカス」(1回目~1498年5月)
- 1497年-02:00|トルコ/イラン| |||<即位>白羊朝スルタン「アフメト・ゴウケ」(~同年)⇒「ムラト 1世」(~1498年)
- 1497年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メヒコ総督「Gomez Suarez」(~1500年)
- 1497年-01:00|ニジェール| |||チャド湖周辺でカヌ・ホルヌ国が再び隆盛
- 1497年-01:00|デンマーク/ルウェー/スウェーデン| |||デンマーク、ルウェー、スウェーデンによる北欧王国同盟。カルマル同盟を強化
- 1497年-01:00|イタリヤ| |||レナルト・ダ・ビンチの「最後の晩餐」が成る
- 1497年 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド 支配者「ペトル・クラウソン」(~1498年)
- 1497年 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事代理「Henry Radcliffe」(~1505年)
- 1497年 01:00|アリス諸島/ポルトガル| |||<死去>ケラソ-サ島トリア長官「Pedro Correia da Cunha」
- 1497年 05:00|ハイチ/トミカ共和国| |||イパニョラ島でマルタン派が反乱し島民を私物化
- 1497年1月4日-09:00|日本|京都府宇治市|明応5年12月1日|山城国宇治土一揆蜂起

1510迄 (1720件)

- 1497年1月10日-09:00|日本|滋賀県|明応5年12月7日|齊藤妙純・利親父子が六角高頼討伐に侵攻した近江で、馬借による土一揆に襲われ討死
- 1497年1月16日-09:00|日本|滋賀県|明応5年12月13日|近江で樋口合戦/京極高澄、敗北し牢人する
- 1497年2月3日-09:00|日本|福岡県福岡市|明応6年1月|大内義興は少弐討伐の軍を催し自ら数万の大軍を率いた/少弐高経は結局本拠大宰府に撤退/政資は肥前小島の晴気城の実弟千葉胤資のもとへ走った
- 1497年3月3日-07:00|ベトナム|||<死去>後黎朝(大越)前期第5代皇帝「聖宗黎思誠」
- 1497年3月9日-07:00|ベトナム|||大越・洪徳28年2月6日|<即位>後黎朝(大越)前期第6代皇帝「憲宗(黎暉)」(~15040523死去)
- 1497年4月1日-01:00|サンマリノ|||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・デ・イ・ビアンコ」「アントレ・デ・イ・ジヨルジョ・マリ」
- 1497年4月7日-01:00|フランス/イタリア|||ベネチア、シャルル八世との条約
- 1497年4月15日-09:00|日本|栃木県|明応6年3月13日|下野日光山の僧房が焼失
- 1497年4月17日-09:00|日本|福岡県那珂川市|明応6年3月15日|大内義興が、少弐政資の立て籠もる筑前岩門城を攻め破る/政資は肥前国晴気城に走る
- 1497年4月18日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|明応6年3月16日|浦上宗助が、松田元勝の備前国富山城を攻略
- 1497年4月25日-09:00|日本|佐賀県神埼市|明応6年3月23日|大内義興の軍、肥前国朝日城をおとし勢福寺領を包囲/少弐高経は晴気城に走る
- 1497年5月5日-09:00|日本|岐阜県|明応6年4月3日|<死去>前美濃国守護「土岐氏第11代当主土岐成頼」56歳
- 1497年5月20日-09:00|日本|佐賀県小城市|明応6年4月18日|大内義興が肥前の晴気城を攻め、城主の千葉胤資が自害
- 1497年5月21日-09:00|日本|佐賀県|明応6年4月19日|肥前国の少弐政資・頼隆、周防国の大内氏に敗北し多久の多久宗時の所に落ち延びたが、頼隆は小城の松尾山で討手に追いつかれ、自殺/少弐政資は恵称寺で自刃/享年57歳
- 1497年5月23日-09:00|日本|佐賀県|明応6年4月21日|少弐高経は夜陰にまぎれ脊振の広滝まで逃がれ、遂に包囲され自刃
- 1497年5月27日-09:00|日本|静岡県伊豆の国市|明応6年4月25日|<柏久保城の戦い>柏久保城伊勢盛時が狩野氏(伊東氏の娘婿)と戦い大見三人衆(佐藤藤左衛門・梅原六郎左衛門・佐藤七郎左衛門)の働きで勝利を収め、狩野一族、国清寺で自害
- 1497年5月30日-09:00|日本|大阪府堺市|明応6年4月28日|<堺大火>和泉国の守護所(守護の居館)があった堺に、細川政元直属の家臣・香西元長の軍勢が乱入し放火、大火となった/香西軍は住民を攻撃、家屋や商店は焼き討ちされ大半が焼失
- 1497年6月24日-01:00|イタリア/カタール|||イタリア人のカッタがイギリスの援助でカタールの東岸に上陸
- 1497年7月8日 00:00|ポルトガル|||ヴァスコ・ダ・ガマの艦隊4隻がポルトガルを出発
- 1497年7月17日-09:00|日本|京都府京都市|明応6年6月18日|<就任>関白「二条尚基」(~明応6年10月10日)
- 1497年8月19日-09:00|日本|新潟県上越市|明応6年7月21日|越後守護代長尾能景が亡父の17回忌供養のため曇英恵庵を開山に拝招して林泉寺創建(新潟県上越市)<曹洞宗>
- 1497年9月9日-03:00|サウジアラビア|||<死去>メッカ・シャリフ「マリク・ウル＝アデイル・ブン・ムハンマド・ブン・ハラット」
- 1497年9月9日-03:00|サウジアラビア|||<就任>メッカ・シャリフ「ハラット2世・ビン・ムハンマド」(~1525年9月死去)
- 1497年9月16日-09:00|日本|石川県|明応6年8月20日|<死去>能登国守護「畠山義統」⇒「畠山義元」(~明応7年(1498)7月)
- 1497年9月17日-01:00|スペイン|||<就任>スペイン領メリア総督「Pedro de Estopinán y Virves」(~同年)
- 1497年9月17日-01:00|スペイン|||メリアはカステルヤ(スペイン)の所有物(ファンロンソペレスデグスマン、マティントニア公爵の家族への封建的助成金)
- 1497年9月23日-09:00|日本|静岡県島田市|明応6年8月27日|(26日~)伊勢宗瑞が西伊豆から関戸吉信の下田・深根城を攻め、伊豆平定
- 1497年9月27日-02:00|エジプト|||<即位>カイロ・アッバース朝カリフ「ムスタフイク」(~1508年)
- 1497年9月30日 00:00|イギリス|||イングランドとスコットランドの休戦協定が成立
- 1497年10月1日-01:00|サンマリノ|||<就任>サンマリノ共和国執政「マッテオ・トゥーラ」「アントニオ・デ・バルトロメオ」
- 1497年10月4日-01:00|スペイン|||<再任>アストゥリアス公(スペイン国王の推定相続人)「イサベルファン」の姉、ポルトガル王妃(~14980823死去)
- 1497年10月4日-01:00|スペイン|||<死去>アストゥリアス公(スペイン国王の推定相続人)「ファン」
- 1497年10月6日-01:00|スウェーデン|||<即位>スウェーデン国王「ヨハン2世」(~1501.8~15130220死去58歳)
- 1497年10月22日-09:00|日本|京都府京都市|明応6年9月27日|洛北で土一揆が蜂起
- 1497年10月25日-09:00|日本|茨城県古河市|明応6年9月30日|<死去>初代古河公方「足利成氏」64歳⇒子の「足利政氏」が継ぐ(~永正9年(1512)6月古河を退去)
- 1497年10月26日-01:00|デンマーク/ルウェー/スウェーデン|||デンマークのハンス1世が、ブルケンベルグの戦いでスウェーデン軍を破る
- 1497年10月26日-09:00|日本|奈良県奈良市|明応6年10月1日|筒井党が蜂起し帰国、上三条善法堂周辺で合戦に及び秋篠・超昇寺・宝来勢が古市方の鹿野蘭某を討つ/古市律師と鹿野蘭は六日夜に自焼没落
- 1497年11月-05:00|オーストリア|||(末)<即位>ティモール朝サマルタト政権君主「ハ・ブル」(~1498年3月)後のムガル帝国初代皇帝
- 1497年11月1日-09:00|日本|大阪府羽曳野市|明応6年10月7日|畠山尚順が、畠山義豊の拠る河内高屋城を攻め落とす/義豊は山城に脱出
- 1497年11月2日-09:00|日本|愛媛県今治市|明応6年10月8日|成身院順宣らは越智勢を攻め破り、越智郷を焼く

1510迄 (1720件)

- 1497年11月4日-09:00|日本|京都府京都市|明応6年10月10日|<死去>関白「二条尚基」(27歳)
- 1497年11月5日-09:00|日本|滋賀県大津市|明応6年10月11日|土佐信光が「石山寺縁起絵巻」の巻4を描く
- 1497年11月7日-01:00|フランス/イタリア| ||<死去>サヴォイア公「フィリップ 2世」
- 1497年11月7日-01:00|フランス/イタリア| ||<即位>サヴォイア公「フィリップ 2世」(~15040910死去)
- 1497年11月12日 00:00|イギリス| ||<就任>スコットランド 大法官「ハントリー伯ジョージ・ゴードン」(~15010608死去)
- 1497年11月13日-09:00|日本|奈良県高市郡高取町|明応6年10月19日|<壺坂の戦い>大和の地にて畠山尚順を支持する十市遠治が、壺阪寺に籠る畠山義豊派の越智家栄を攻撃/双方に多くの死傷者が出るとともに、壺阪寺の堂塔のほとんどが焼失
- 1497年11月17日-09:00|日本|京都府京都市|明応6年10月23日|<就任>関白「一条冬良」(~文亀元年6月27日)
- 1497年11月22日-02:00|南アフリカ/ポルトガル| ||ヴァスコ・ダ・ガマの艦隊が喜望峰を通過
- 1497年11月24日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|明応6年11月|本願寺蓮如、大坂に石山別院を創建
- 1497年11月24日-09:00|日本|静岡県焼津市|明応6年11月|芝派7哲賢仲繁詰、異叟の忠告により林双院(小川)を移し高草山林叟院(坂本)開山
- 1497年11月27日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<死去>サンゲル島太守長官「Rui Goncalves da Camara1世」
- 1497年11月27日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<就任>サンゲル島太守長官「Joao Rodrigues da Camara」(~1502年死去)
- 1497年11月30日-05:00|ウズベキスタン/イラン| ||<即位>ティムール朝サルカント 政権スルタン「ハーフール」(~1498. 3、後のムガル帝国初代皇帝)
- 1497年12月 00:00|カリヤ諸島/スペイン| ||<死去>スペイン王国植民地گران・カリヤ島知事「Alonso Fajardo」
- 1497年12月5日-09:00|日本|奈良県高市郡高取町|明応6年11月12日|十市遠治が越智家栄・家令父子と高取城近くの壺阪寺で戦い撃破して大和に復帰
- 1497年12月6日-09:00|日本|静岡県掛川市|明応6年11月13日|<原要害(殿谷城)の戦い>殿谷城原頼景、今川軍に攻められる。本郷城孕石行重、侵攻を阻もうとする原氏を説得して今川方とする
- 1497年12月6日-09:00|日本|静岡県掛川市|明応6年11月13日|<倉真城の戦い>倉真城松浦兵庫頭(華嶽山世楽院・夜光山永光院開基)討死。城中数百人全員自刃(後生首塚)
- 1497年12月7日-09:00|日本|奈良県|明応6年11月14日|筒井党古市澄胤、越智家栄を破り勢力回復
- 1497年12月7日-09:00|日本|奈良県奈良市|明応6年11月14日|筒井・超昇寺・秋篠・宝来氏らが古市氏を白毫寺に攻め破り、古市氏は笠置を経て伊賀へ没落
- 1497年12月10日-09:00|日本|愛知県豊橋市|明応6年11月17日|牧野古白成時、飽海神戸神明社(豊橋市八町通)社殿造営
- 1497年12月29日-09:00|日本|千葉県|明応6年12月6日|里見義豊が上総国へ侵入し、真勝谷、庁南、庁北の三城を攻略
- 1498年-05:30|インド| ||<建国>タスハラ国
- 1498年-04:00|ロシア| ||<即位>金帳ハン国ハムルタ「ムルタ」(~1499年)
- 1498年-02:00|キリシヤ/イタリア| ||<就任>ヴェネツィアのカンテア公「フリアモ・トロ」(~同年)⇒(副公爵)「ベルナルド・ジユスティニアニ」(~1499年)
- 1498年-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「チャンダリ・イブラヒム・パシャ」(~1499年)
- 1498年-02:00|トルコ/イラン| ||<即位>白羊朝スルタン「アルワト」(~1500年)
- 1498年-01:00|アルバニア/イタリア| ||<就任>ヴェネツィアのテュラツォ執達吏・長官「グイット・デ・イート」(~1500年)
- 1498年-01:00|ポーランド| ||<就任>オレシツァ公「イジー1世、アルブレヒト、カレル1世」共同統治(~1502年)
- 1498年-01:00|クロアチア| ||<就任>クロアチアとスラヴォニアとダルマチアのハン「ジュラジ・カニシュキ」(~1499年)
- 1498年-01:00|ポーランド| ||<就任>ビトム公「ジャン2世Dobry」(~1521年)
- 1498年-01:00|ポズナ・ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ポズナ総督「イスケンダー・パシャ・ミハロウ」(3回目~1505年)
- 1498年-01:00|フランス| ||<就任>モンベリアル伯「ウルリッヒ」(~1526年)
- 1498年-01:00|ポーランド/トルコ| ||オスマン朝とポーランドが戦争
- 1498年-01:00|モンテネグロ/トルコ| ||オスマン朝軍がツルナーに遠征
- 1498年 00:00|アイルランド| ||<死去>トメント王「トイルド・ルバ・ハ・オグ・オーブリアン」
- 1498年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| ||<就任>スペイン王国植民地گران・カリヤ島知事「Lope Sanchez de Valenzuela」(~1501年)
- 1498年 00:00|アイルランド| ||<即位>トメント王「トイルド・ルバ・ハ・ト・ン・オーブリアン」トグ・アン・チョムハイト・オーブリアンとアナベラ・ハークの息子(~1528年没)
- 1498年 04:00|トミニカ共和国/スペイン| ||<就任>サント・ミンゴ 総督「クリスティアン・コロンブス」(2回目~1500年)
- 1498年1月14日-01:00|モスコ/フランス| ||モスコはフランス保護領(~15240607; 15090306~15120220、フランスの宗主国下)
- 1498年1月14日-09:00|日本|奈良県大和高田市|明応6年12月22日|長谷寺・釜口・三輪などで徳政を求めて土一揆が蜂起する/十市氏が張本人という
- 1498年1月22日-07:00|ベトナム| ||大越・景統1年|大越・景統と改元(-1504旧6月)
- 1498年1月22日 04:00|セントビンセント/スペイン| ||セントビンセント島がクリスティアン・コロンブスに発見されスペイン領宣言、サン・ウイエン島と命名
- 1498年1月23日-09:00|日本|神奈川県平塚市|明応7年|伊勢宗瑞、真田城に大森藤頼を攻め、これを滅ぼす
- 1498年1月23日-09:00|日本|福岡県|明応7年|<任命>豊前国守護「大友親治」(~文亀元(1501)年隠居)
- 1498年1月24日-09:00|日本|奈良県|明応7年1月2日|南都で土一揆が蜂起するが筒井氏がこれを鎮圧
- 1498年2月4日-04:00|ロシア| ||<即位>モスク大公「ドミトリ・イワノビッチ・ウヌク」共同統治(~15020414)

1510迄 (1720件)

- 1498年2月11日-09:00|日本|静岡県三島市|明応7年1月20日|三島神社の奏社が造営される
- 1498年3月-05:00|ウズベキスタン/イラン| ||<退位>ティムール朝(サルカント 政権)アミール「バール」
- 1498年3月-05:00|ウズベキスタン/イラン| ||<復位>ティムール朝(サルカント 政権)アミール「スルタン・アリー」(2回目~1500年)
- 1498年3月1日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| ||ウアスコ・ダ・ガマによりモザンビークはポルトガル領宣言
- 1498年3月16日-09:00|日本|佐賀県小城市|明応7年2月24日|大内党の東尚盛・筑紫満門らは、千葉胤治(胤繁、胤朝の子)の小城城を攻む/胤治破れ筑前に遁れる
- 1498年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ジョヴァンニ・デ・イ・メンギーノ・カチーニ」 「バレンテ・デ・イ・パオロ」
- 1498年4月5日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|明応7年3月15日|郡山中氏、筒井氏のため没落
- 1498年4月7日-01:00|フランス| ||<死去>フランス国王シャルル8世/27歳(誕生:14700630)、「アンボワーズ城」改修工事視察中の事故がもとで、世継ぎなく急死
- 1498年4月7日-01:00|フランス| ||<就任>ヴァロワ公「フランスワ1世」(~1515年)
- 1498年4月7日-01:00|フランス| ||<就任>ペリ公「ジャンヌ」ルイ11世の娘(~15050204死去)ルイ12世の最初の妃
- 1498年4月7日-01:00|フランス| ||<即位>フランス国王「ルイ12世人民の父」シャルル5世の曾孫ルイ11世の再従弟であり、最初の結婚により義子2度目の結婚によりシャルル8世王妃アンヌ・ド・ブルゴーニュの夫(~15150101)
- 1498年4月27日-09:00|日本|奈良県北葛城郡上牧町|明応7年4月6日|畠山尚順が片岡城を攻める/片岡氏は自害、竜田・岡氏は没落
- 1498年5月-02:00|リトアニア| ||<就任>リトアニア陸軍元帥(首相)「ヨナス・ユルカ・イェイス・ザ・ベリンスキー」(~15080202)
- 1498年5月20日 00:00|ポルトガル| ||ハスコ・ダ・ガマがインド 西岸カッタに到着。インドの発見
- 1498年5月23日-01:00|イタリヤ| ||<失脚・処刑>フィリツェのシニョレ「ジローモ・サッポローラ」
- 1498年6月11日-01:00|ドイツ| ||<即位>ウエルテンベルク公「ウルリヒ」(~1519.1退位,1534年までウエルテンベルクはオーストリアに占領された)
- 1498年6月11日-01:00|ドイツ| ||<退位>ウエルテンベルク公「エーバーハルト2世」
- 1498年6月18日-09:00|日本|京都府宮津市|明応7年5月29日|<死去>伊勢北半国・志摩国・丹後国守護「一色義秀」丹後の国人衆に攻められ普甲山で自害
- 1498年6月29日-09:00|日本|静岡県湖西市|明応7年6月10日|遠州海荒れる/甚雨大風により日ヶ崎千戸が水没。暴濤のため日ヶ崎の隣海寺が流失
- 1498年6月30日-09:00|日本|静岡県|明応7年6月11日|日向地震/M7.0~7.5、津波により家屋流失1000戸、溺死15000人、流死2万6000人/遠江で大地震。山崩れ、地割れあり。浜名湖が海とつながる。今切渡と呼ばれる
- 1498年7月19日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・弘治11年7月|朝鮮で勲旧派による士林派の第1回弾圧がはじまる(戊午の士禍)
- 1498年7月19日-09:00|日本|石川県|明応7年7月|<交替>能登国守護「畠山義元」⇒「畠山慶致」(~永正5(1508)年)
- 1498年7月29日-01:00|スペイン/バネズエラ| ||コロンブス、トリニダード島の沖合で南米本土(現バネズエラ)のハリヤ半島を発見
- 1498年7月31日 04:00|トリニダード・トバゴ/スペイン/バネズエラ| ||コロンブスが3回目の航海に出航、トリニダードからバネズエラへ至る
- 1498年8月1日 04:30|バネズエラ/スペイン| ||コロンブスが、南アメリカ本土のオリノコ河口を発見
- 1498年8月4日 04:00|トリニダード・トバゴ/スペイン| ||コロンブスにより発見されスペイン領としてアソシオン島と命名
- 1498年8月15日 04:00|クレタ/スペイン| ||クリストファー・コロンブスがクレタを発見し、スペイン領コセボション島と名付けた
- 1498年8月18日-09:00|日本|静岡県下田市|明応7年8月|伊勢宗瑞(早雲)が足利茶々丸に加担した伊豆の狩野氏を攻撃、降伏させる。逃亡していた茶々丸も自害に追い込み、伊勢宗瑞は伊豆国を平定、領国化
- 1498年8月20日-09:00|日本|京都府木津川市|明応7年8月3日|畠山尚順が畠山義英を山城国木津辺に迎撃し勝利
- 1498年8月23日-01:00|スペイン| ||<死去>アストゥリアス公(スペイン国王の推定相続人)「イサベル」
- 1498年8月23日-01:00|スペイン| ||<就任>アストゥリアス公(スペイン国王の推定相続人)「ミゲル」イサベルの息子(~15000719死去)
- 1498年8月23日 00:00|ポルトガル| ||<就任>ポルトガル公(王位継承者)「ミゲル・ダ・パス」(~15000719夭折)
- 1498年8月26日-09:00|日本|滋賀県東近江市|明応7年8月9日|近江の百濟寺本堂、五重塔などが焼失
- 1498年9月4日-09:00|日本|京都府京都市上京区|明応7年8月18日|上御霊神社の御霊祭再興される
- 1498年9月11日-09:00|日本| ||明応7年8月25日|<明応地震>辰の刻(午前8時ごろ)、遠州灘を震源とするマグニチュード8.2~8.4と推定される巨大地震が、紀伊から房総にかけての東海道沿岸域と甲斐を襲った/紀伊では熊野大社本宮や那智の坊舎などが倒壊、遠江では山が崩れ地が裂けた/紀伊から相模にかけて津波があり、中でも遠江では浜名湖と外海を隔てていた砂州が地盤沈下と津波で流失、その後の暴風雨などにより今切口と呼ばれる水路ができ、同湖が汽水湖(淡水と海水が混ざり合った湖)になった/伊勢、志摩両国では6~10mの津波が押し寄せ、伊勢大湊で5000人死亡、家屋流失1000軒/志摩塩屋村で180軒の内100軒が流失し、4、5人しか助からず、志摩荒嶋では250余人死亡するなど1万人が死亡/駿河志太郡の駿河湾沿岸域では、津波により2万人余が死亡、鎌倉では波が八幡宮参道や大仏殿まで押し寄せ200人が死亡/小湊誕生寺海中に没す
- 1498年9月11日-09:00|日本|山梨県|明応7年8月25日|甲斐国武田信縄と油川信昌が和睦
- 1498年9月13日-09:00|日本|佐賀県|明応7年8月27日|大内義興が渋川刀禰王丸を助け、肥前で少弐氏の残党を破る
- 1498年9月15日-09:00|日本|静岡県下田市|明応7年8月29日|伊勢宗瑞2千騎、深根城(下田市稲梓堀之内)関戸播磨守吉信を攻め、城内の女童法師1人も残さず首を斬り、城の周りに千余の首を掛置く/関戸吉信の妻尉奈の前は箕作(下田市)龍巢院で自害/関戸氏に匿われていた足利茶々丸、伊勢盛時により自害/狩野介家当主狩野道一が籠城していた柿木城落城
- 1498年9月24日-02:00|ルーマニア| ||<就任>モルダヴィア総督「ホグダ」3世盲目候|共同統治(~15170422没)

1510迄 (1720件)

- 1498年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・デ・イ・ジ・ローラ」
1498年10月19日-09:00|日本|佐賀県|明応7年10月5日|大友勢が豊前赤井城に襲来し、佐田氏がこれを防戦。敵将の首二つを挙げる
1498年10月26日-09:00|日本|広島県東広島市|明応7年10月12日|豊田郡祝詞山八幡宮の社殿造立
1498年10月31日-02:00|エジプト/シリア/アラブ| |||<即位>ブルジ(フェルケス)・マムルーク朝スルタン「サーヒル・カーヌスフ」(~15000630)
1498年11月14日-09:00|日本|宮崎県|明応7年閏10月|陸奥(宮城)◇薄衣・江刺両氏が葛西氏に反旗を翻し、葛西領が大崎派と葛西派に分かれ争乱(明応の乱~1499)
1498年11月25日-01:00|スペイン/中米/南米| |||コロンブス、カルタゴの反乱に事実上屈伏。カルタゴのアルカテ復帰とハラガア支配を承認。インディアの強制労働とスペインへの奴隷輸出を認めることで妥協をはかる。ハルティメント制の始まりとなる
1498年12月-01:00|イタリア| |||ベネチア, Garzoni銀行の倒産
1498年12月15日-01:00|フランス| |||<即位>ペリー公「ジャンヌ」ルイ11世の娘、ルイ12世の最初の妃(~15050204死去)
1498年12月19日-09:00|日本|大分県|明応7年11月7日|大内義興が豊後に兵を進め、大友親治と豊後青内山で戦うが敗れる
1499年-08:00|マレーシア| |||クランタンはマラッカに征服される(~1511年)
1499年-04:00|ロシア| |||<即位>金帳ハン国ハン「シャイク・アフマト」(~1502年)
1499年-03:30|イラン| |||<即位>ハダスハニド朝(Nur)君主「Bisotun2世」(~1507年)
1499年-03:00|ベラルーシ| |||<即位>ムスチスラウリ公「Mykolas Zaslavskis」(~1536年)
1499年-03:00|ウガンダ| |||東アフリカでナイル語系住民がビト王朝を樹立
1499年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネチアのカンテリア公「ルイジ・ダ・ムラ(副公爵)」(~1500年)
1499年-02:00|キプロス/イタリア| |||<就任>ヴェネチアのキプロス副官「アントニア・テ・イ・レオネ・ヴァニエ」(~1501年)
1499年-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「メフメット・パシャ」コンスタンティヌス11世パレオログスの甥(~1501. 11、コンスタンティノープルの崩壊の間に誘拐された)
1499年-02:00|ルーマニア/ハンガリー| |||<就任>トランシルヴァニア総督「ヘンリー・シュンク・ヨルグイ」(~15101110)
1499年-01:00|コロンビア| |||<就任>コロンビアとスラヴォニアとダルマチアのハン「ヤノス・コルヴァイン(=イヴァン・コルヴァイン)」(2回目~1504年)
1499年-01:00|イタリア| |||<即位>アマルフィ公「Alfonso2世Piccolomini」(~1559年)
1499年 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド支配者「ベネディクト・ヘルステン」(~1502年)
1499年 00:00|カナダ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴート・コスト長官「フェルナン・ロペス・コレア」(~1503年)
1499年 00:00|イギリス| |||放棄>2代ウインチェスター伯「ジョン・オブ・ブルック」
1499年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<死去>サンタマリア島トナリオ長官「Joao Soares de Albergaria」
1499年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>グランド・サント・マリア長官「Duarte Correia da Cunha」(~1507年死去)
1499年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>サンタマリア島トナリオ長官「Joao Soares de Sousa」(~151710102死去)
1499年 04:00|トミニカ共和国/ハイチ| |||西インド総督となるバントがイスパニョラ島遠征に出発
1499年 05:00|ハイチ/スペイン/トミニカ共和国| |||西インドのイスパニョラ島がカステリアの王室領となる
1499年1月2日-09:00|日本|奈良県桜井市|明応7年11月21日|大和長谷寺観音開眼
1499年1月3日-09:00|日本|福岡県太宰府市|明応7年11月22日|少弐残党と大内勢が戦い、太宰府天満宮が巻き添えで炎上焼失
1499年1月8日-01:00|フランス| |||フランス王ルイ12世、故フランス王シャルル8世の王妃アンヌ・ド・ブルターニュと結婚。「ブルターニュ公国」の保持がねらい
1499年1月9日-01:00|ドイツ/ポーランド| |||<死去>ブランデンブルク選帝侯「ヨハン・ツィツェロ」
1499年1月9日-01:00|ドイツ/ポーランド| |||<就任>ブランデンブルク選帝侯「ヨアヒム1世ネストル」ヨハン・ツィツェロの息子(~15350711死去)
1499年2月6日 00:00|イギリス| |||<死去>ウェストモラント伯「ラルフ・ボック」
1499年2月6日 00:00|イギリス| |||<就任>ウェストモラント伯「ラルフ・ボック」先代の孫(~15490424死去)
1499年2月9日-01:00|フランス/イタリア| |||フランス王ルイ12世、北イタリアのベネチアと、フランス中央ヨーロッパ沿いのプロヴァで「プロヴァ条約」を締結し「同盟」を結ぶ
1499年2月10日-09:00|日本|愛媛県|明応8年|<任命>伊予国守護「河野通直(教通)」(~明応9年1月20日(15000219)死去)
1499年2月10日-09:00|日本|福岡県|明応8年|<任命>筑後国守護「大友親治」(~同年)
1499年2月12日-01:00|リヒテンシュタイン/スイス| |||ブランデンブルクはスイスに占領された
1499年2月18日-01:00|リヒテンシュタイン/スイス| |||ファクトゥス連合はスイスに併合された(~12. 13)
1499年2月19日-09:00|日本|大阪府大東市|明応8年1月10日|畠山義豊・畠山尚順と河内国を奪い合い、野崎城を奪還
1499年2月21日 00:00|イギリス| |||<就任>サマセット公「エドムント・テューダー」(~15000619死去)
1499年3月4日-09:00|日本|京都府|明応8年1月23日|<死去>山城国守護「山名政豊」59歳
1499年3月4日-09:00|日本|兵庫県|明応8年1月23日|<死去>但馬国守護「山名政豊」59歳⇒「山名致豊」(~永正9(1512)年隠居)
1499年3月4日-09:00|日本|広島県|明応8年1月23日|<死去>安芸・備後国守護「山名政豊」59歳
1499年3月4日-09:00|日本|広島県|明応8年1月23日|<任命>備後国守護「山名致豊」(~永正9(1512)年隠居)
1499年3月11日-09:00|日本|大阪府|明応8年1月30日|<任命>河内国守護「畠山義英」(~永正元(1504)年12月)
1499年3月11日-09:00|日本|大阪府寝屋川市|明応8年1月30日|<死去>越中・紀伊・河内国守護「畠山義豊」畠山尚順

1510迄 (1720件)

に河内国十七箇所付近で破れ自害

- 1499年3月11日-09:00|日本|富山県|明応8年1月30日|<任命>越中国守護「畠山尚順」(~大永2年8月17日(15220907)死去)
- 1499年3月11日-09:00|日本|和歌山県|明応8年1月30日|<任命>紀伊国守護「畠山義英」(~永正元(1504)年12月)
- 1499年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「マリノ・デ・イ・ニコロ・デ・イ・ジョヴァネッティ」 「アントニオ・デ・マウツィオ・ルティエーニ」
- 1499年4月29日-09:00|日本|熊本県|明応8年3月19日|肥後国の菊池能運、相良為統を八代城に攻撃/為統は城を捨て逃れ、薩摩牛屎院を島津忠昌に返す
- 1499年5月3日-09:00|日本|静岡県|明応8年3月23日|<死去>大窪山徳願寺開祖「天叟祖寅」
- 1499年5月5日-09:00|日本|京都府京都市山科区|明応8年3月25日|<死去>本願寺8世法主「蓮如」/85歳(誕生:応永22(1415)0225)
- 1499年5月18日-01:00|スペイン| ||<オハダ>遠征隊が新大陸に向け出航、アメリカ・ヴェスプッチが参加
- 1499年5月22日-01:00|スイス| ||<シュヴァーベン戦争>でのカウエンでの戦いが行われる
- 1499年7月17日-01:00|イタリア/フランス| ||<フランス王軍、ミラノ公「ルトゥーゴ・マリア・スフォルツァ」の領土に侵攻(イタリア侵入)/フランス王ルイ12世の祖母がヴェイコンティ家最後の「ミラノ公」の姉であったことから、正当性を主張
- 1499年7月18日-09:00|日本|静岡県|明応8年6月10日|遠州暴風雨。猪鼻湖神社流亡。長下郡河和庄で8百人溺死
- 1499年7月22日-01:00|ドイツ/スイス| ||<スイス同盟がシュヴァーベン同盟軍に決定的な勝利をおさめる(ドルハの戦い)/スイス盟約者団が事実上神聖ローマ帝国から独立
- 1499年7月26日 04:00|キューバ| ||<スペインのアロンソ・オハダ>によって発見され、ロス・キガンテス島(巨人の島)と名付けられた
- 1499年7月29日-09:00|日本|愛知県江南市|明応8年6月21日|観秀、尾張国音楽寺の薬師如来像を造立
- 1499年8月3日-09:00|日本|京都府京都市|明応8年6月26日|応仁の乱で焼失した京都龍安寺方丈が再興され、それに伴って石庭がつくられる
- 1499年8月12日-01:00|イタリア/トルコ| ||<トルコが、サヒンザの海戦で、ヴェネツィア艦隊を破る
- 1499年8月24日 04:30|ベネチア/イタリア| ||<イタリア人アメリカ・ヴェスプッチが、南アメリカのヴェネチアを発見してその経度を概定/これによりアメリカが大陸であることが推測され、のち(1501)に実際に彼は探検して確認
- 1499年8月24日-09:00|日本|滋賀県|明応8年7月18日|京極高澄が京極材宗を破り、近江江北諸郡を回復
- 1499年8月26日-09:00|日本|滋賀県大津市|明応8年7月20日|<延暦寺の戦い>延暦寺が前将軍・足利義尹に呼応。管領・細川政元、兵を派遣して根本中堂以下の堂宇を焼く
- 1499年8月29日-01:00|イタリア/トルコ| ||<トルコ軍が、レバントを占領
- 1499年9月6日-01:00|イタリア| ||<退位>ミラノ公「ルトゥーゴ・スフォルツァ」ミラノから逃亡
- 1499年9月6日 04:00|BES諸島| ||<ボネールをアメリカ・ヴェスプッチとアロンソ・オハダ>がスペインのために発見領有宣言、パロブラン島と命名
- 1499年9月6日-09:00|日本|栃木県|明応8年8月1日|結城政朝、多賀谷和泉守を誅殺/佐竹義昭が陸奥国岩城平城主岩城左京大夫重隆と供に下野国宇都宮城主宇都宮弥三郎忠綱を攻め寄せるが結城政朝は宇都宮に加勢後詰めとして出陣し佐竹義昭、岩城重隆らと戦って撃退
- 1499年9月14日-01:00|イタリア/フランス| ||<ルイ12世が、ルトゥーゴ・スフォルツァを破ってミラノを占領
- 1499年9月18日 00:00|ポルトガル| ||<ウァスコ・ダ・ガマ艦隊がリスボンに帰着、170人のうち55人が生還
- 1499年9月20日-01:00|イタリア/フランス| ||<即位>ミラノ公ルイ12世[ジャン・ガリアツォ・ヴェイコンティの娘ヴァレンティナの孫] (~1500205)
- 1499年9月22日-01:00|ドイツ/スイス| ||<シュヴァーベン戦争で神聖ローマ帝国に勝利したスイス連邦が、ハースルの講和を締結して独立を勝取る
- 1499年10月-01:00|クロアチア| ||<即位>ポルツァ大公「イワン・ペトロヴィッチ」 (~1500年3月)
- 1499年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「クリストフォロ・デ・チェッコ・デ・ウァーネッティ」 「ホニファツィオ・デ・アントレア」
- 1499年10月6日-01:00|イタリア| ||<即位>ミラノ公「ルイ12世」ジャン・ガリアツォ・ヴェイコンティの娘ヴァレンティナの孫 (~15120616退位)
- 1499年10月7日-09:00|日本|京都府京都市|明応8年9月3日|将軍足利義澄が武衛斯波義寛の屋敷(武衛陣)へ避難(足利義澄と斯波義寛の和解)<斯波義寛、義植派から義澄に転向>
- 1499年10月10日-09:00|日本|京都府|明応8年9月6日|安富元家が京都の土一揆を撃退
- 1499年10月13日-01:00|イタリア| ||<クレマ、ヴェネツィアに降伏
- 1499年10月18日-01:00|フランス/イタリア| ||<フランス軍が占領したミラノにルイ12世凱旋入城/ルトゥーゴ追放。ルトゥーゴは首都をパヴァーアに
- 1499年10月25日-01:00|フランス| ||<パリのセヌ川の「大洪水」で「ノートルダム」の木橋(4区にあった)が橋上の家屋と共に流失
- 1499年10月30日-09:00|日本|京都府久世郡久御山町|明応8年9月26日|細川政元の将赤沢朝経が畠山尚順方の御牧城を火攻めにより攻略、首級九を獲る
- 1499年10月31日-09:00|日本|京都府宇治市|明応8年9月27日|<宇治木幡の戦い>細川政元方赤沢朝経が畠山尚順方の槇島城を攻略、首級十七を獲る
- 1499年11月-01:00|イタリア| ||<ベネチアでLippomani銀行の倒産
- 1499年11月3日-09:00|日本|大阪府|明応8年10月|河内で土一揆が起こる
- 1499年11月4日-09:00|日本|広島県|明応8年10月2日|これより先、三隅興信、武田氏との戦いに敗れ、佐西郡廿日

1510迄 (1720件)

市に退く

- 1499年11月7日-09:00|日本|京都府|明応8年10月5日|安富元家が京都の土一揆鎮圧に失敗
- 1499年11月11日-01:00|イタリア/フランス| |||フランス王ルイ12世、「ミラノ勅令」を発す/フランス兵の乱暴狼藉を禁止/イタリア北部の「ロンバルディア地方」の豪族に対しては旧来の特権を保証
- 1499年11月18日-09:00|日本|茨城県古河市|明応8年10月16日|古河公方足利政氏と、扇谷上杉朝良・山内上杉顕定が和睦し、政氏が古河に帰座
- 1499年11月23日 00:00|イギリス| |||イギリスの王位詐称者ウォーベックが処刑される/(誕生:1474頃)/ヨーク公リチャード4世と詐称し、ヘンリー7世に王位を請求して反乱を起こしたが失敗した
- 1499年11月28日 00:00|イギリス| |||<死去>ウリック伯・ソールズベリー伯「エドワード・フランドラント」剥奪
- 1499年12月7日-09:00|日本|京都府|明応8年11月5日|赤沢朝経が京都の土一揆を鎮圧
- 1499年12月11日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地司令官「Fernaõ de Melo」(~1512年)
- 1499年12月13日-01:00|リヒテンシュタイン| |||<就任>ブランデイス卿「ルトウイ」(2回目~1506年6月)、「ジークムント2世ユングレ」(2回目~15071118没)、「ヨハン」(2回目~15100714)
- 1499年12月19日-09:00|日本|滋賀県大津市|明応8年11月17日|<坂本の戦い>足利義尹、上洛を目指し南下するが、近江坂本で近江守護の六角高頼(細川政元と同盟関係)の奇襲に合い敗北
- 1499年12月25日-01:00|ハンガリー| |||<死去>ハンガリー王国パラチン「イシュトヴァーン・ゲルゴ・スクリヤイ・セペシ」
- 1499年12月25日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パラチン代行「ペテル・ジエルフ・ウイナールティ」(⇒15000201、パラチン~15030222没)
- 1500年-08:00|インドネシア| |||<即位>テルナテ・スルタン「Bayan Sirullah」(~1521年)、「Bayanullah」(~1522年)
- 1500年-07:00|オーストリア| |||<即位>ランサン王朝国王「ウイソン・ナラト(フーパーン)」(~1520年死去)
- 1500年-05:30|インド| |||<建国>リムディ国
- 1500年-05:30|インド| |||<即位>マルワー・スルタン朝(ハルジ朝)スルタン「ナーシルッディーン・シャー」(~1510年)
- 1500年-05:00|ウズベキスタン| |||<死去>ティムール朝サルカント 政権君主「スルタン・アリー」ウズベク族がティムール帝国を滅ぼす
- 1500年-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン| |||<即位>フハラハン国シャイバニ朝ハン「ムハンマド・シャイバニ・ハーン」アフルハイルの子シャー・ブダクの子(~15101202死去)
- 1500年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<死去>シルヴァンシャー朝国王「Farrukh Yassar1世」
- 1500年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<即位>シルヴァンシャー朝国王「Bahram」(~1501年死去)
- 1500年-04:00|オマーン| |||<即位>ナバニ王朝イマム「ムハンマド・ヒン・イスマイル」(~1529年)
- 1500年-04:00|アゼルバイジャン/イラン| |||タリシュ・ムガンはペルシャの一部
- 1500年-03:00|コモロ| |||<建国>ンスワニ・スルタン国
- 1500年-03:00|マヨット| |||<設立>マオレ・スルタン国
- 1500年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「マルコ・バルボ」(~1502年)
- 1500年-02:00|トルコ/イラン| |||<即位>白羊朝スルタン「メフメト・ミルザ」(~1502年)
- 1500年-02:00|ギリシャ| |||<即位>ナクス公「フランチェスコ3世」(~1511年)
- 1500年-02:00|コンゴ民主共和国| |||ルバ王国が形成(ザイル水系上流)
- 1500年-01:00|フランス| |||<死去>エタンプ伯「John of Foix」
- 1500年-01:00|フランス| |||<死去>スムール公「ジャン・ダルマニャック」
- 1500年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのテュラツツォ執達吏・長官「グインツィオ・クリニ」(~1501年)
- 1500年-01:00|フランス| |||<就任>エタンプ伯「Gaston de Foix」(~15120411死去)
- 1500年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Giovanni de Guevara」(2期目~1513年)
- 1500年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メリラ総督「Gonzalo Marino de Ribera」(1期目~1510年)
- 1500年-01:00|フランス| |||<就任>スムール公「ルイ・ダルマニャック」ジャック・ダルマニャックとルイス・ダンジューの末息子(~15030428死去、スムールは再び王領となった)
- 1500年-01:00|ニジェール/マリ| |||アイル国がソングアイ帝国によって征服された(~1591年)
- 1500年-01:00|イタリア| |||ヤコポ・デ・バルバリ、有名なヴェネツィア鳥瞰図作成
- 1500年-01:00|デンマーク| |||デンマークで隷農相続を義務づけるヴァネズスカブ制が導入
- 1500年-01:00|イタリア| |||ヴェネツィア, Garzoni銀行再倒産
- 1500年-01:00|イタリア| |||ヴェネツィア, Pisani銀行営業停止
- 1500年-01:00|ベナン| |||ヨルバ国が首都をケトゥに移転
- 1500年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントアントニオ植民地長官「Vasco Carneiro」(~1515年)
- 1500年 00:00|ポルトガル/インド| |||ポルトガル王、ペドロ・アルヴァレス・カブラルの大艦隊をインド洋に派遣。カカツを攻撃。また、香辛料を輸送していたアラブ船を撃沈
- 1500年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||ポルトガル植民地, サントアントニオを分離(~1753年)
- 1500年 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>サントミンゴ総督「フランシスコ・フェルナンデス・デ・ホバティージャ(王室委員)」(~15020711没)
- 1500年 05:00|エクアドル| |||Huayna Capac皇帝はキトに居を定め、インカ帝国第二の首都と定める。帝国を南北二つに分け、クスコをウアスカ(Huascar), キトをAtahualpaにゆだねる
- 1500年1月4日-08:00|中国| |||明・弘治12年12月4日|中国・雲南省宜良で地震(M7.0)、死者数万人
- 1500年1月6日-09:00|日本|茨城県|明応8年12月6日|下野国の宇都宮弥三郎忠綱が結城氏を叛いて之れを亡さんと計るが結城政朝は下総国猿島郡長田村の猿山に於て宇都宮忠綱を破り宇都宮城を攻略
- 1500年1月18日-09:00|日本|奈良県|明応8年12月18日|細川政元の家臣赤沢朝経が細川政元の命で大和に乱入/筒井順盛らを破り、法華寺・西大寺などを焼き討ち

1510迄 (1720件)

- 1500年1月20日-09:00|日本|大阪府大阪市天王寺区|明応8年12月20日|<天王寺の戦い>細川政元、畠山尚順を摂津国天王寺で破り、尚順は紀伊へ敗走
- 1500年1月26日 03:00|ブラジル/スペイン| |||スペインのピセンテ・ヤニェス・ピンソンがブラジル到達(ヨーロッパ人初)
- 1500年1月31日-09:00|日本|愛知県知多郡南知多町|明応9年|戸田弾正忠憲光、知多郡師崎に羽豆神社を創建
- 1500年1月31日-09:00|日本|神奈川県小田原市|明応9年|伊勢新九郎長氏(後の北条早雲)が大森実頼・藤頼親子の小田原城を攻め、これを奪取
- 1500年2月3日-01:00|イタリア| |||<復位>ミラノ公ルドヴィゴ・スフォルツァ(~4.10)
- 1500年2月17日-01:00|ドイツ| |||<死去>オーストリア方伯「ヴィルヘルム3世若伯」オーストリア系が断絶
- 1500年2月17日-01:00|ドイツ| |||<死去>オランダ方伯「アドルフ」
- 1500年2月17日-01:00|ドイツ| |||<就任>オランダ方伯「ヨハン5世」(~15260210死去)
- 1500年2月17日-01:00|ドイツ| |||<変更>オーストリア方伯「ヴィルヘルム2世真中伯」オーストリアと統合⇒ハプスブルク方伯(~15090711死去)
- 1500年2月19日-09:00|日本|愛媛県|明応9年1月20日|<死去>伊予国守護「河野通直(教通)」⇒子の「河野通宣」が継ぐ(~永正16(1519)年死去)
- 1500年2月29日-09:00|日本|岩手県|明応9年2月|陸奥(岩手)◇葛西領内の桃生の山内首藤氏を中心に桃生・登米・深谷の三郡に一揆が発生
- 1500年2月29日-09:00|日本|静岡県焼津市|明応9年2月|林双院の諸堂が完成し、高草山林叟院(焼津市坂本)と改める
- 1500年2月29日-08:00|中国| |||明・弘治13年2月|明が条例を整理し、門刑条例を定める
- 1500年3月-01:00|カナダ| |||<即位>ホムベリツァ大公「マリアン・グレゴリッチ」
- 1500年3月4日-09:00|日本|福島県耶麻郡北塩原村|明応9年2月5日|会津の蘆名盛高が耶麻郡綱取城の国人領主松本対馬を攻め、自害させる
- 1500年3月18日-09:00|日本|沖縄県石垣市|明応9年2月19日|<ヤクアハチの乱(琉球)>八重山石垣賊首の堀川原赤蜂(ホカワアハチ)が戦を挑み琉球王軍は、崖に近づいて、お互いに罵りあった。しかし悪日を忌んだので戦わず、軍を引いて退いた
- 1500年3月19日-09:00|日本|沖縄県石垣市|明応9年2月20日|<ヤクアハチの乱(琉球)>46艘を分けて両隊と為し、一隊は登野城を攻め、一隊は新川を攻め、その地で、両軍相戦った。アハチは応じることができず、琉球王軍はこれに乗じて攻めまくり勝った
- 1500年3月26日-09:00|日本|奈良県高市郡高取町|明応9年2月27日|<死去>大和国高取城主「越智智栄」
- 1500年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「メネット・デ・イメネット・ボネリ」アントニオ・デ・マウツィオ・ルナルド・イニ
- 1500年4月8日-01:00|イタリア/フランス| |||フランス軍、イタリア北部の「ノヴァラの戦い」で勝利/フランス軍、ミラノを再占領/「ミラノ公」ルドヴィゴ・マリア・スフォルツァは捕虜となり、フランス中央ヨーロッパ沿いの「ロッシェ城」に幽閉される
- 1500年4月23日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||カブラル、ブラジル本土に上陸、ポルトセグーロ(安全な港)と命名した後9日間にわたり滞在/トルテシラス条約の通りポルトガル領を宣言
- 1500年5月8日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「韓致亨」(~15021102)
- 1500年5月29日-04:00|ロシア| |||<即位>リザサン大公「イヴァン5世イヴァノヴィチ」(~1534年死去)
- 1500年6月5日-09:00|日本|奈良県|明応9年5月9日|大和国土一揆蜂起し徳政を要求
- 1500年6月19日 00:00|イギリス| |||<死去>サマセット公「エドムント・テューダー」
- 1500年6月20日-01:00|スペイン/ハイチ/ドミニカ共和国| |||イザベラ女王「イスパニョラ島のインディアナ」がイスパニョラ島の自由な臣下である」と宣言、金鉱での採掘のため先住民を酷使することを禁止
- 1500年6月20日-09:00|日本|愛知県瀬戸市|明応9年5月24日|僧寿等、尾張国定光寺の宮殿を建立
- 1500年6月24日-01:00|イタリア| |||ベネチア、ヴェネチアにおける再度の敗北
- 1500年6月30日-02:00|エジプト/シリア/アラブ| |||<即位>ブルジー(フェルクス)・マムルーク朝スルタン「アシュラフ・ジヤンバラー」(~15010125廃位)
- 1500年7月-03:30|イラン| |||サファビド教団がトルコ遊牧民を集め挙兵
- 1500年7月2日-01:00|ドイツ| |||アウクスブルクの帝国議会在、マインツ大司教バルトホルム・フォン・ハンベルクの帝国改造計画に基づいて帝国統治院の設立を布告
- 1500年7月3日-09:00|日本|京都府京都市|明応9年6月7日|応仁の乱で中断していた祇園会の山鉾巡行が33年ぶりに復活
- 1500年7月19日-01:00|スペイン/ポルトガル| |||<死去>アストurias公(スペイン国王の推定相続人)・ポルトガル公(王位継承者)「ミゲル・ダ・パス」
- 1500年7月26日-09:00|日本|石川県|明応9年7月|<任命>能登国守護「畠山慶致」(~永正3(1506)年退任)
- 1500年8月4日-09:00|日本|愛知県あま市|明応9年7月10日|善久ら、尾張国普明院の阿弥陀如来像を鑄造
- 1500年8月10日-03:00|マダガスカル/ポルトガル| |||ポルトガル人デ・イコ・デ・イアスがマダガスカル島を発見(後にポルトガル人によってサン・ロウレンソ島と名付けられた)
- 1500年8月10日-01:00|フランス/イタリア| |||ベネチア、アントニオ・フェルナンドの英雄的防衛にも関わらずモンテ・カッピオ陥落
- 1500年8月16日-01:00|フランス/イタリア| |||ベネチア、コロンも陥落
- 1500年8月22日-09:00|日本|京都府京都市|明応9年7月28日|<京都明応9年の大火>上京柳原から出火し2100余町に延焼、京都の街が大火となった。近衛、鷹司など公家屋敷28カ所をはじめ諸司(官僚)屋敷、寺院、神社、武士や庶民の住家など2万3000余戸を焼き尽くし、ほぼ一条通の南北がことごとく荒野となり、焼死者は数え切れないほどだったという
- 1500年8月23日-01:00|フランス| |||<就任>ルル伯「マリー・ダール」(~15491027死去)、シャルル2世「ウエル伯」、女伯マリー・ダール

1510迄 (1720件)

レと結婚 (~1521年)

- 1500年8月25日-09:00|日本|愛知県田原市|明応9年8月1日|戸田政光、赤羽根に厳王寺建立
- 1500年9月5日-09:00|日本|福岡県福岡市|明応9年8月12日|<任命>九州探題「渋川尹繁」足利義植が先の九州探題 渋川教直の子・渋川刀禰王丸に偏諱を与えて名乗らせ補任 (~永正元(1504)年)
- 1500年9月12日-01:00|トイ | ||<死去>サケン公「アルブレヒト3世大胆公」
- 1500年9月12日-01:00|トイ | ||<即位>サケン公「ゲオルク・ヴェッティン」 (~15390417死去)
- 1500年9月15日 00:00|イギリス | ||<死去>イングランド 連邦大法官「枢機卿ジョン・モートン」
- 1500年9月25日-09:00|日本|大阪府|明応9年9月2日|<任命>和泉下半国守護「細川政久」 (~永正4(1507)年)
- 1500年9月25日-09:00|日本|大阪府岸和田市|明応9年9月2日|<死去>和泉上半国守護「細川元有」畠山尚順が紀伊 から和泉国に入り岸和田城に攻めこみ討死 =>「細川元常」が継ぐ (~永正4(1507)年)
- 1500年10月1日-01:00|サンマリノ | ||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・デ・イ・ジ・ローラ・ベッルツィ」 「シモーネ・デ・イ・アントニオ・ベッルツィ」
- 1500年10月9日-09:00|日本|大阪府羽曳野市|明応9年9月16日|畠山尚順が畠山義英を河内国誉田城に攻撃し細川 政元の援軍に破られる
- 1500年10月13日 00:00|イギリス | ||<就任>イングランド 連邦大法官代理「カタルーニャ大主教ヘンリー・デ・イン」 (~15020727)
- 1500年10月21日-09:00|日本|京都府京都市東山区|明応9年9月28日|<死去>103代後土御門天皇が泉涌寺 (山城国) で/59歳(誕生:嘉吉2(1442)0525)
- 1500年11月11日-01:00|フランス/イタリア | ||フランス王ルイ12世、スペイン王フェルナンド2世と「ナポリ王国」分割のための「ケラタ条約」(ケラタはスペイン南部)を結ぶ/フランス王は「ナポリ王」、「エルサルム王」の称号とナポリ、ラプーラ、アブルッツォ、カンポバッソ地方を得る/スペイン王は「シチリア王」、「カラブリア公」、「アプリア公」の称号とプーリア以南の地方を得る
- 1500年11月13日-01:00|トイ | ||<死去>アンハルト・ケーテン侯「Philip」
- 1500年11月16日-09:00|日本|京都府京都市|明応9年10月25日|<踐祚>104代後柏原天皇/永正18年3月22日即位 (~大永6年4月7日(15260518)死去)
- 1500年11月21日-09:00|日本 | ||明応9年10月30日|幕府が撰銭令を初めて発布/国内で鑄造した悪銭は排してもよいが明から輸入した永楽銭や洪武銭、宣徳銭は良銭と混用
- 1500年11月25日 04:00|トミニカ共和国/スペイン | ||<制定>スペイン王領植民地サント・ドミンゴ
- 1500年12月2日-09:00|日本|鹿児島県|明応9年11月11日|島津久逸(島津忠良の祖父)は加世田城・島津忠福に加勢して島津忠興と戦い討死
- 1500年12月3日 00:00|ジャンヌ諸島/イギリス | ||<就任>イギリス王領ジャージー知事代理「Jean Lempriere」 (~15020710)
- 1500年12月26日-09:00|日本|栃木県|明応9年12月6日|下野国の宇都宮忠綱が結城氏を叛いて之れを亡さんと計り、結城政朝は下総国猿島郡長田村の猿山に於て宇都宮忠綱を破り宇都宮城を攻略、忠綱は下野国の鹿沼城に逃れ、政朝は芳賀と綱に宇都宮城を与へて城主と成し、中村十二郷を取り戻し所領
- 1501年-07:00|オーストリア | ||<死去>ランサン王朝国王「ソムア」
- 1501年-05:30|インド | ||<即位>バルク朝ハン「Daud Khan」 (~1508年)
- 1501年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア | ||<死去>シルヴァンシャ朝国王「Bahram」
- 1501年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア | ||<即位>シルヴァンシャ朝国王「Gazi Beg」前王の兄弟 (~同年死去) =>「Sultan Mahmud」 (~1502年)
- 1501年-04:00|ロシア | ||<即位>モスコフスキー・ナメストク「イヴァン・ヴァノヴィチ」 (~1503年)
- 1501年-04:00|アゼルバイジャン/イラン | ||ガンジャはペルシャの一部
- 1501年-04:00|アゼルバイジャン/イラン | ||ナホル・カラバフはペルシャの一部
- 1501年-04:00|アゼルバイジャン/イラン | ||ナフチヴァンはペルシャの一部
- 1501年-03:30|イラン | ||<就任>サファヴィー朝宰相「ムハンマド・サカリヤ・クジュ」 (~1507年)
- 1501年-03:00|ベラルーシ | ||<即位>ピンク公「Teodoras Ivanovicus Jaroslavicus」 (~1521年)
- 1501年-02:00|キプロス/イタリア | ||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「ニコラ・デ・ジョヴァンニ・プリアリ」 (~1503年)
- 1501年-02:00|トルコ | ||<就任>オスマン帝国大宰相「ハティム・アリ・パシャ」(1期目~1503年)
- 1501年-02:00|モザンビーク/ポルトガル | ||<就任>ソファアラ・キープテン「サンチョ・デ・トバル」(1回目~15050504)
- 1501年-02:00|ラトヴィア/エストニア/ドイツ | ||<就任>リヴォニア騎士団団長代行「ヴェンネマル・フォン・デルグイヒ」 (~1502年)
- 1501年-01:00|オーストリア/ドイツ | ||<死去>ハイルン＝ダッハウ公「ジギスムント」ハイルン＝ダッハウとハイルン＝ミュンヘンは統合
- 1501年-01:00|フランス | ||<就任>オーベルニュ伯「Anne」 (~1524年)
- 1501年-01:00|オランダ/ドイツ | ||<就任>ネーデルラント 総督「ナッサウ＝ヴァンテン伯爵エンゲルベルト2世」 (~15040531死去)
- 1501年-01:00|イタリア | ||<即位>カラブリア公「フェルディナント2世」 (~15040131)
- 1501年-01:00|イタリア | ||<退位>ナポリ王「フェデリコ1世」一族のアラゴン・シチリア王フェルディナント2世により
- 1501年 00:00|カリヤ諸島/スペイン | ||<死去>ラ・コメロ伯摂政「Beatriz de Bobadilla」
- 1501年 00:00|イギリス | ||<就任>初代マリ伯「ジェームズ・ステュアート」 (~1544年死去)
- 1501年 00:00|モロッコ/ポルトガル | ||<就任>タンジール首長「ロドリゴ・デ・カストロ」 (~1502年)
- 1501年 00:00|カリヤ諸島/スペイン | ||<就任>ラ・コメロ伯摂政「Alonso Fernandez de Lugo」
- 1501年 00:00|ポルトガル/カナダ | ||ポルトガル人がニューファンドランドに漁業基地を開く
- 1501年 01:00|カーボベルデ/ポルトガル | ||<就任>カーボベルデ諸島のコレヒョーラ治安判事「フランシスコ・ソアレス」 (~1508年)
- 1501年1月19日-09:00|日本|京都府|明応10年|<任命>丹後国守護「武田元信」 (~永正2(1505)年)
- 1501年1月19日-09:00|日本|静岡県|明応10年|<交替>遠江国守護「斯波義寛」 =>子の「斯波義達」 (~永正5(1508)年罷免)
- 1501年1月19日-09:00|日本|静岡県周智郡森町|明応10年|天方通季、八幡宮を京都岩清水八幡宮を勧請して再建

1510迄 (1720件)

- 1501年1月19日-09:00|日本|静岡県沼津市|明応10年|青野山妙泉寺(沼津市青野)開山日蓮が道仙庵を開く
- 1501年1月19日-09:00|日本|長崎県壱岐市|明応10年|中津宮[北触]を造営し、遷宮
- 1501年1月19日-09:00|日本|三重県桑名市|明応10年|蓮如の六男蓮淳が、伊勢長島に願証寺を建立
- 1501年1月19日-09:00|日本|高知県南国市|明応10年1月|細川勝益、土佐に桂昌寺を建立
- 1501年1月25日-02:00|エジプト/シリア・アラブ| |||<即位>ブルジー(フェルクス)・マムルーク朝スルタン「アデーイル・トゥーマンバール」(~4.20)
- 1501年1月25日-02:00|エジプト/シリア・アラブ| |||<廃位>ブルジー(フェルクス)・マムルーク朝スルタン「アシュラフ・ジャンバラート」
- 1501年1月26日-09:00|日本|静岡県牧之原市|明応10年1月8日|龍門山石雲院(牧之原市坂口)失火により焼失
- 1501年2月10日-09:00|日本|静岡県掛川市|明応10年1月23日|大願主妙長・藤原信光、西郷庄長間郷(掛川市)牛頭天王社建立
- 1501年2月16日-09:00|日本|福岡県うきは市|明応10年1月29日|大内義興の軍が大友の軍と戦い、妙見城を回復
- 1501年2月18日-09:00|日本|静岡県掛川市|明応10年2月|覚翁宗鑑、竜谷山常現寺(掛川市日坂)を開く
- 1501年3月 05:00|パナマ| |||<発見>パナマ北岸からダリエンにかけて探検。マダレ河を発見
- 1501年3月18日-09:00|日本| |||文亀1年2月29日|「文亀」に改元
- 1501年3月19日-09:00|日本|静岡県|文亀1年3月|斯波氏は斯波義寛の2人の弟・寛元、義雄らが遠江に出陣、信濃守護・小笠原貞朝と連合して今川軍に挑むが、朝比奈泰熙・伊勢宗瑞の兵に敗れる
- 1501年3月25日 00:00|セントヘレナ/ホルトガル| |||<発見>シヨアン・ダ・ノヴァ提督によりコンセプション島と名付けられた島(アセンション島)発見、ホルトガル領宣言
- 1501年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・デ・イ・ホ・リノ・ルナルディニ」「ファブ・リツィオ・デ・イ・ピエール・レオネ・コルベッリ」
- 1501年4月7日-06:30|ミャンマー| |||<即位>アワ王「ナバティ2世」(~15270314)
- 1501年4月7日-09:00|日本| |||文亀1年3月20日|<死去>豊原繁秋(不明) 雅楽家
- 1501年4月17日-08:00|中国/モンゴル| |||明・弘治14年4月|ダヤン・ハンが明軍をやぶり、ホルトスに進入
- 1501年4月18日-09:00|日本|京都府宮津市|文亀1年4月|丹後国「知恩寺多宝塔」落成
- 1501年4月20日-02:00|エジプト/シリア・アラブ| |||<即位>ブルジー(フェルクス)・マムルーク朝スルタン「アシュラフ・カンスフ・ガウリ」(~15160824殺害された)
- 1501年4月20日-02:00|エジプト/シリア・アラブ| |||<退位>ブルジー(フェルクス)・マムルーク朝スルタン「アデーイル・トゥーマンバール」
- 1501年5月13日 00:00|ホルトガル| |||<発見>グエズ・ツチがホルトガルの支援で二度目の新大陸への航海に出航
- 1501年5月15日 03:00|日本|滋賀県大津市|文亀1年4月28日|<近江坂本文亀元年の大火>午の刻(午前12時ごろ)から終日火事が続き、坂本で数千軒炎上
- 1501年5月20日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|文亀1年5月4日|明応7年大波で水没した法華宗海長寺(静岡市清水区村松)を、福島修理進代官大坪中務允将康の父大坪右京進将康(蓮久)が復興
- 1501年5月23日-09:00|日本|静岡県浜松市|文亀1年5月7日|中村新左衛門尉正実・代官左近丞・願主藤原延重、産神大明神(浜松市西区雄踏町宇布見)本殿再営
- 1501年6月5日-09:00|日本|熊本県|文亀1年5月20日|<袈裟尾の戦い>菊池能運、老臣隈部忠直と肥後国袈裟尾野で戦い敗れ、肥前国有馬氏を頼る/相良長每是に乗じて八代を復する
- 1501年6月5日-09:00|日本|熊本県|文亀1年5月20日|<交替>肥後国守護「菊池能運」⇒「宇土為光」留守に隈府城を襲って守護職を奪う(~文亀3(1503)年8月)
- 1501年6月8日 00:00|イギリス| |||<死去>スコットランド 大法官・2代ハントリー伯「ジョージ・ゴードン」
- 1501年6月8日 00:00|イギリス| |||<就任>3代ハントリー伯「アレクサンダー・ゴードン」(~15240121死去)
- 1501年6月9日-01:00|スイス| |||<発見>バゼルがスイス盟約者団に正式に加盟
- 1501年7月-03:30|イラン| |||<即位>サファヴィー朝シャー「イスマイル1世」(~15240523死去)
- 1501年7月2日-09:00|日本|滋賀県長浜市|文亀1年6月17日|<今浜城の戦い>京極材宗、美濃国から近江国に入り今浜で守護京極高濑と戦い敗れる
- 1501年7月5日 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド 大法官「ロス公、セントアントリュース大司教ジェームス・スチュアート」(~15040113死去)
- 1501年7月14日-09:00|日本|京都府京都市|文亀1年6月29日|<就任>関白「九条尚経」(~永正10年10月5日)
- 1501年8月-01:00|イタリア/フランス| |||<発見>フランス王ルイ12世、ネポリを征服/ネポリ王フェデリコ1世は退位と引き替えに、フランス北西部の「メヌ伯領」を与えられる/ネポリの統治はネポリ副王に任命された「ヌル公」ルイ・ダルマニャックが行うこととなる
- 1501年8月6日-09:00|日本|大分県|文亀1年閏6月23日|<交替>筑後・豊後国守護「大友親治」隠居⇒「大友義親(義長)」(~永正12(1515)年)
- 1501年8月6日-09:00|日本|福岡県|文亀1年閏6月23日|<交替>豊前国守護「大友親治」隠居⇒「大友義親(義長)」(~永正6(1509)年)
- 1501年8月7日-09:00|日本|福岡県行橋市|文亀1年閏6月24日|大内義興が豊前馬岳城に仁保護郷を派遣するが、中津郡沓屋で大友親治・少貳資元らと戦い討死
- 1501年8月10日-01:00|スイス| |||<発見>シャハウェンがスイス盟約者団に正式に加盟
- 1501年8月11日-09:00|日本|福島県耶麻郡猪苗代町|文亀1年閏6月28日|猪苗代盛頼父子が蘆名盛滋と戦い敗北
- 1501年8月14日-01:00|フランス| |||<死去>モンパソエ伯「ルイ2世」
- 1501年8月14日-01:00|フランス| |||<就任>モンパソエ伯「シャルル3世」(~15270506死去)
- 1501年8月14日-09:00|日本|福岡県|文亀1年7月|大内義興は宿将陶・桂・吉見・熊谷などを派遣して豊前国の確保に当たらせ、大友義有は大内軍に撃破され自ら生命を失う
- 1501年8月17日-01:00|アルバニア/トルコ| |||<発見>テュラツォはオスマン帝国の一部
- 1501年9月5日-09:00|日本|福岡県|文亀1年7月23日|大友親治・少貳資元の両軍を大内義興が豊前国馬岳城に破る

1510迄 (1720件)

- 1501年9月12日-09:00|日本|静岡県磐田市|文亀1年7月30日|朝比奈備中守泰熙・伊勢宗瑞、見付・社山城(豊岡村)攻略。社山城在城の遠江守護代斯波左衛門佐義雄二侯城(浜松市天竜区二侯町二侯)へ退く
- 1501年9月12日-09:00|日本|静岡県浜松市|文亀1年7月30日|伊勢宗瑞・朝比奈備中守泰熙、黒山城(浜松市西区館山寺町)に楯籠もっていた堀江下野守数年・吉良家臣浜松庄奉行大河内備中守貞綱を3日間で攻落す
- 1501年9月13日-09:00|日本|静岡県周智郡森町|文亀1年8月|<天方城の戦い>遠江守護斯波氏・信濃守護小笠原氏連合軍は天方城に迫ると、斯波軍の攻撃の前に山内豊後守通秀は城を捨て今川方に身を寄せ、連合軍は天方城を攻略/長泉寺・八幡宮が兵火に遭う
- 1501年9月13日-09:00|日本|静岡県袋井市|文亀1年8月|<久野城の戦い>(9月)座王城(久野城)にあった久野宗隆は小笠原是基・貞忠父子に攻められ苦戦し、城を奪われるが福島左衛門尉助春、本間宗季らの援助を得て勝利
- 1501年9月20日-01:00|イタリヤ| |||<死去>ヴェネツィア共和国ドージェ(元首)「アゴスティノ・パルパリーゴ」
- 1501年9月20日 00:00|イギリス| |||<死去>ドセット候「Thomas Grey」
- 1501年9月20日 00:00|イギリス| |||<就任>ドセット候「Thomas Grey」(~15301010死去)
- 1501年9月24日-09:00|日本|長野県|文亀1年8月12日|<死去>信濃守護「小笠原長朝」⇒子の「小笠原貞朝」が継ぐ(~永正12年6月3日(15150714)死去)
- 1501年10月-02:00|シリア・アラブ| |||ダマスカスで課税反対の民衆反乱がおこる
- 1501年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「クリストフォロ・デ・イ・ジョー・ヤコミーノ・デ・イ・バルトロ」
「ヒェンツィオ・デ・イ・バルトロ・パシーニ」
- 1501年10月13日-01:00|イタリヤ| |||<就任>ヴェネツィア共和国ドージェ第75代「ロアルド・ロラン」(~15210622死去)
- 1501年10月17日-01:00|イタリヤ| |||ベネツィアでアルト、マツイ新型印刷機の免許
- 1501年10月29日-09:00|日本|山梨県富士吉田市|文亀1年9月18日|伊勢宗瑞、甲斐国を攻める/吉田の城山・小倉山に狼煙をあげ國中衆が大軍を率いて巻き返す
- 1501年11月11日-09:00|日本|岩手県宮古市|文亀1年10月|南部信時が家臣桜庭光康に陸奥閉伊郡千徳城主土岐善勝を討たせる
- 1501年11月12日-01:00|スウェーデン| |||<再任>スウェーデン王国摂政「大ステン・ストウレ」(~15031214)
- 1501年11月13日-09:00|日本|山梨県富士吉田市|文亀1年10月3日|伊勢宗瑞、甲斐吉田から退却
- 1501年11月14日-01:00|スペイン/イギリス| |||イギリス皇太子アーサーとアラゴンのキャサリン結婚
- 1501年11月23日-09:00|日本|山梨県|文亀1年10月13日|夜に武田信縄が甲斐國中勢で囲み、伊勢宗瑞軍を退散させる
- 1501年12月12日-01:00|ポーランド/リトアニア| |||<即位>ポーランド・リトアニア連合王国ポーランド王「アレクサンデル・ヤギェロンチク」がミェシュ4世の息子/リトアニア大公を兼ねる(~15060819死去45歳)
- 1502年-05:30|インド/ポルトガル| |||カナラはポルトガルの所有物(~16630215)
- 1502年-05:30|インド/ポルトガル| |||キロンはポルトガルの所有物(16581229~16590414、オランダ占領下~16611224)
- 1502年-05:30|インド| |||バフマン朝マフムド・ガト・アブなどを占領
- 1502年-04:00|ロシア| |||<再位>ガサン・ハン「ムハンマド・アミン」(3回目~1518年死去)
- 1502年-04:00|ロシア| |||<死去>シベリヤ支配者「ムハンマド」
- 1502年-04:00|ロシア| |||<就任>シベリヤ支配者「アンギシュ」(~1516年)
- 1502年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<即位>シルヴァンシャ朝国王「Ibrahim2世Sheykhshah」前王の兄弟(~1524年死去)
- 1502年-04:00|アルメニア/イラン| |||アルメニアはペルシアの一部
- 1502年-04:00|ロシア/モンゴル| |||モスク大公国のウラン3世がキプチャク・ハン国を滅ぼし東北ロシアの支配権を確立
- 1502年-03:30|イラン| |||<就任>サファヴィー朝宰相「マフムド・カン・カスガイニ」(~1507年)
- 1502年-02:00|トルコ/イラン| |||<再位>白羊朝スルタン「ムラト1世」(~1508年)
- 1502年-02:00|ギリシャ/イタリヤ| |||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「ジョヴァンニ・モロゾーニ」(~15030604死去)
- 1502年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||サファビ朝イスマイル1世がアクユムル朝のアルワンドを破る
- 1502年-01:00|スペイン| |||<就任>アストurias公(スペイン国王の推定相続人)「アナミゲルの叔母、後のカスティリヤ・アラゴン女王アナ1世」(~15041126~15550412死去)
- 1502年-01:00|ポーランド| |||<就任>オレシツァ公「アルブレヒト、カルル1世」共同統治(~1511年)
- 1502年-01:00|イタリヤ| |||<即位>ウルビーノ公「フェザレ・ボルジア」(~1503年)
- 1502年-01:00|イタリヤ| |||<廃位>ウルビーノ公「ゲイバルド・ダ・モンテフェルトロ」
- 1502年-01:00|イタリヤ| |||イタリヤでカピノーがラテン語-イタリヤ語辞書が出版
- 1502年 00:00|モロッコ/ポルトガル| |||<就任>タンジール首長「タウカバジ・ジョアン・デ・メゼス」(2回目~1508年)
- 1502年 00:00|サントメ・プリンシパル/ポルトガル| |||サントアントニオはプリンシパルと改名
- 1502年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<死去>サンミゲル島トリア長官「Joao Rodrigues da Camara」
- 1502年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>サンミゲル島トリア長官「Rui Goncalves da Camara2世」(~15351020死去)
- 1502年 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>サント・ミンゴ総督「フレイ・ニコラス・デ・ウァント・イ・カセル」(~1509年)
- 1502年 04:00|アルバ/スペイン| |||アロンソ・デ・オヘダによってスペインのために和フボと名付けられた島を発見領有宣言
- 1502年 04:00|キューバ| |||キューバ(アルバとボネールを含む)の主としてのヌエバ・アンダリア(1538年から、ヌエバ・グラナダ)の一部(~1634年)
- 1502年 04:00|BES諸島| |||ボネールはニュー・アンダリア(⇒1524年、ニュー・グラナダ)の一部
- 1502年 04:00|マルティニーク/フランス| |||マルティニークがコロンブスにより発見される
- 1502年 07:00|メキシコ| |||<即位>アステカ第9代国王「モクテスマ2世」アツテカトルの息子(~1520年)

1510迄 (1720件)

- 1502年1月2日-01:00|ジブラルタル/スペイン| ||ジブラルタルはカステイリヤ(15560116、スペイン君主制から)王が領有
- 1502年1月9日-09:00|日本|青森県三戸郡|文亀1年12月|<就任>陸奥三戸領主「南部信義」(~文亀3年5月24日(15030618)死去)
- 1502年1月10日 00:00|ポルトガル/インド| ||ダ・ガマがコチンにポルトガル商館を建設
- 1502年1月18日-09:00|日本|新潟県|文亀1年12月10日|<文亀元年越後地震>巳の刻(午前10時頃)、越後国南西部にマグニチュード6.5~7の強い揺れが襲った/五日六日続く/人民多く失せ、家家倒れた
- 1502年2月-06:30|ミャンマー| ||<即位>ムラウケウ国王「ラザ」(~1513年11月)
- 1502年2月 04:00|ドミニカ共和国/ハイチ| ||サント・ドミンゴへアフリカ黒人奴隷の輸出が始まる
- 1502年2月2日-01:00|スペイン| ||スペイン国内のイスラム教徒ムスリム人に対して、改宗か追放を強要する王令⇒カリックによる国内の宗教的統一達成
- 1502年2月8日-09:00|日本|福井県小浜市|文亀2年|若狭守護・武田元信が仏国寺を創建
- 1502年2月10日 00:00|ポルトガル| ||バスコ・ダ・ガマが第2回航海に出帆
- 1502年2月27日-09:00|日本/中国|大阪府堺市|文亀2年1月20日|明から和泉国堺に金魚が伝来
- 1502年3月17日-09:00|日本|三重県|文亀2年2月9日|伊賀の百姓が土豪と対立し、山城愛宕衆徒が百姓を助けて土豪を破る
- 1502年4月 00:00|カリブ諸島/スペイン| ||<就任>スペイン王国植民地グラン・カリブ島知事「Antonio de Torres」(~1503.3)
- 1502年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・デ・イ・ジ・ローモ」「ガブリエレ・デ・イ・バルトロ」
- 1502年4月2日 00:00|イギリス| ||<死去>コンウォール公「アーサー王子」イギリスのヘンリー7世の長男/15歳(誕生14860919)
- 1502年4月2日 00:00|イギリス| ||<就任>コンウォール公「ヘンリー」ヘンリー7世の子(~15090422ヘンリー8世として即位)
- 1502年4月14日-04:00|ロシア| ||<即位>モスクワ大公「ヴァシリ3世」共同統治(~15331203死去)
- 1502年4月15日 05:00|ハイチ/ドミニカ共和国/スペイン| ||スペイン、インディアス総督パント、イスパニョラ島着任(~1509)
- 1502年5月3日 00:00|セントヘレナ/ポルトガル| ||ポルトガルのジョアン・ダ・ノヴァ大尉にリセントヘレナ島と名付けられた無人島発見
- 1502年5月9日 04:30|バネエラ/スペイン| ||コロンブスが第4回目の航海に出航、中米のペラガ地方を探検
- 1502年6月-01:00|サンマリノ| ||チェザレ・ボルジア、ヴァレンティノ公による教皇領占領(~10月)
- 1502年6月 00:00|ポルトガル/インド| ||ウエスツチが二回目航海から帰港、インドではなく新大陸と報告
- 1502年6月2日-09:00|日本|静岡県掛川市|文亀2年4月27日|<死去>和光山永江院(掛川市下垂木)開山以翼長佑(87歳)
- 1502年6月2日-09:00|日本|広島県|文亀2年4月27日|宮親盛、大檀那として、奴可郡西条保久里村の熊野社証誠殿を造立
- 1502年6月7日 00:00|ポルトガル| ||<就任>ポルトガル公(王位継承者)「ジョアン」(~15211213、ジョアン3世として即位)
- 1502年6月11日-09:00|日本|奈良県奈良市|文亀2年5月7日|大和の西大寺が兵火で炎上
- 1502年6月15日 04:00|マルティニーク/スペイン| ||クリストファー・コロンブスによってスペインのためにマルティニーク島という命名された島を発見領有宣言、
- 1502年6月19日-09:00|日本|京都府京都市|文亀2年5月15日|<死去>村田珠光(81歳、応永30(1423)生)わび茶の始祖の茶人
- 1502年7月24日-09:00|日本|福井県|文亀2年6月20日|若狭の国人、百姓らが、守護の武田元信の苛政に抗議して蜂起し、元信の子の中務大輔らを討ち取る
- 1502年7月30日 06:00|ホジユラス/スペイン| ||コロンブスがホジユラス、ペイ諸島を発見しスペイン領宣言
- 1502年7月30日-09:00|日本|大分県別府市|文亀2年6月26日|別府枝郷に愛宕神社ができる
- 1502年8月7日 00:00|イギリス| ||スコットランド王ジェームズ4世が、ヘンリー7世の娘のマガレットと結婚
- 1502年8月11日 00:00|イギリス| ||<就任>イングランド連邦大法官代理「カンタベリー大主教ウィリアム・ウォーハム」(15040121大法官⇒~15151224)
- 1502年8月17日 06:00|ホジユラス/スペイン| ||コロンブスがスワジ諸島を発見し、サタナ島と名付けた
- 1502年8月23日-09:00|日本|京都府京都市|文亀2年7月21日|將軍足利義高が名を義澄と改める
- 1502年9月1日-09:00|日本|京都府京都市|文亀2年7月30日|<死去>連歌師飯尾宗祇(82歳)「新撰菟玖波集」の編纂で知られる
- 1502年9月6日-09:00|日本|京都府京都市左京区|文亀2年8月5日|足利義澄の命令で、足利義植の弟実相院義忠が殺される
- 1502年9月12日 06:00|ニカラガア/スペイン| ||ニカラガアがコロンブスによって発見されスペイン領宣言
- 1502年9月16日-09:00|日本|茨城県常陸太田市|文亀2年8月15日|<金砂山合戦>佐竹義舜、山入氏義に大勝
- 1502年9月18日 06:00|コスタカ/スペイン| ||クリストファー・コロンブスがカリブ海岸のリモン湾付近に上陸しスペイン領有宣言
- 1502年9月25日 06:00|ニカラガア/スペイン| ||コロンブスがニカラガアに上陸して、スペイン領ペラガアと宣言
- 1502年9月30日-09:00|日本|京都府京都市|文亀2年8月29日|京都の洪水で多くの死者が出る/五条橋が流出
- 1502年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・デ・イ・バルトメオ」「アンジェロ・パロ・ファブリ」
- 1502年10月1日-09:00|日本|京都府|文亀2年9月|<交替>丹波国守護「細川政元」⇒養子の「細川澄之」(~永正4年8月1日(15070907)自害)
- 1502年10月1日-09:00|日本|千葉県富津市|文亀2年9月|里見義豊は佐貫城を築きて佐々八郎左エ門をして守らしむ
- 1502年10月5日 05:00|パナマ/スペイン| ||コロンブスによってパナマが発見され、スペイン領宣言、ティエラフィルムと呼ばれる
- 1502年10月18日-09:00|日本|山梨県|文亀2年9月18日|伊勢宗瑞、甲斐へ攻め込む
- 1502年10月30日 00:00|ポルトガル/インド| ||ウエスツチが艦隊がカリカットを襲撃し強奪

1510迄 (1720件)

- 1502年11月 00:00|ポルトガル/インド | ||ポルトガルがインドのコーチンに商館を建設
- 1502年11月1日-01:00|イタリア | ||<就任>フィリツェ共和国行政長官「ピエロ・ヴェリーニ」(~15120831) 母家の復帰により亡命)
- 1502年11月2日 05:00|パナマ/スペイン | ||コロンブスがパナマのポルトベリヨに到達
- 1502年11月2日-09:00|日本|山梨県|文亀2年10月3日|伊勢宗瑞、甲斐で敗退
- 1502年11月10日-09:00|日本|滋賀県|文亀2年10月11日|<第一次伊庭氏の乱(近江国)>六角氏の重臣の伊庭貞隆が半国守護六角高頼に背き戦うが敗れ、湖西へ敗走
- 1502年11月30日-09:00|日本|滋賀県|文亀2年11月|<第一次伊庭氏の乱(近江国)>伊庭貞隆は再起を図っていた山内就綱の協力を得て挙兵
- 1502年12月-01:00|サマリノ | ||教皇領がチェザレ・ボルジア、ドゥカ・ディ・ヴァレンティノによって占領される(~15030818)
- 1502年12月13日 04:00|セントルシア/スペイン | ||コロンブスが第4回目の航海の際にセントルシアを発見、スペイン領有権宣言、イタリヤ・サマルシアと命名
- 1502年12月13日-09:00|日本|東京都大田区|文亀2年11月14日|池上本門寺大坊等焼失
- 1502年12月14日-01:00|イタリア/トルコ | ||オスマン朝がヴェネチアと和平条約を締結
- 1502年12月29日-08:00|中国 | ||明・弘治15年12月|明初来の法規類を網羅した総合行政法規集「大明会典」が編纂される
- 1502年12月31日-01:00|イタリア | ||チェザレ・ボルジアがウルビーノを征服
- 1503年-05:30|インド | ||ナサ・ナヤカが死に長子ウーラ・ナリシハがウヰジャガル朝の摂政位を継承
- 1503年-04:00|ロシア | ||<即位>モスコフスキー・ナメスニコ「ドミトリー・ウラジミロヴィチ」(~1507年)
- 1503年-03:00|マヨット/ポルトガル | ||ポルトガルの探検家によってマヨット島が発見された
- 1503年-02:00|キプロス/イタリア | ||<就任>ヴェネチアのキプロス副官「ピエトロ・ディ・ルイーゼ・パルビ」(~1505年)
- 1503年-02:00|トルコ | ||<就任>オスマン帝国大宰相「ハセケザード・アムト・ハシヤ」(2期目~1506年)
- 1503年-01:00|イタリア | ||<死去>ゲラフィーナ公「Francesco Orsini」
- 1503年-01:00|フランス | ||<就任>ダマルタン伯「Antoinette de Chabannes」(~1527年死去)
- 1503年-01:00|イタリア | ||<即位>ウルビーノ公「グイド・バルト・ダ・モンテフェルトロ」(~15080410死去)
- 1503年-01:00|イタリア | ||<即位>ゲラフィーナ公「Ferdinando1世Orsini」(~1549年死去)
- 1503年-01:00|イタリア | ||<即位>スペレート公「フランチェスコ・シーボ」(~15190725死去)
- 1503年-01:00|赤道ギニア/ポルトガル | ||アンボン島はホルヘ・メロに寄贈(サントメ・プリンシア傘下)
- 1503年-01:00|イタリア | ||ミランジエロ「聖家族」制作
- 1503年-01:00|イタリア | ||レオナルド・ダ・ヴィンチ「モリザ」制作
- 1503年 00:00|イギリス | ||<就任>初代モントローズ伯「ウィリアム・ゲラム」(~15130909死去)
- 1503年 00:00|アイルランド/デンマーク | ||<就任>アイルランド支配者「カイ・フォン・アーレフェルト」(~1505年)
- 1503年 00:00|カナ/ポルトガル | ||<就任>ポルトガル・ゴールド・コスト長官「デ・イゴ・ロース・セイヤ」(~1506年)
- 1503年 00:00|ポルトガル/インド | ||ポルトガル船がコーチンとリスボン間で定期胡椒貿易を開始
- 1503年 06:00|アメリカ | ||アメリカ・ウエスタッチが「新世界」を著す
- 1503年1月20日-01:00|スペイン | ||インディアス通商院が本国のセビリヤに設けられ、インディアス(スペイン領アメリカ)との貿易を独占
- 1503年1月24日-09:00|日本|滋賀県|文亀2年12月26日|<第一次伊庭氏の乱(近江国)>伊庭貞隆は馬淵城・永原城を攻め落とした。六角高頼は観音寺城を出て蒲生貞秀を頼って音羽城に落ち延びた
- 1503年1月28日-09:00|韓国/朝鮮 | ||朝鮮・弘治16年|朝鮮で銀の新しい精錬技術となる灰吹法が発明される
- 1503年1月28日-09:00|日本|石川県|文亀3年|<死去>加賀国守護「富樫泰高」⇒「富樫種泰」が継ぐ(~享禄4(1531)年解任)
- 1503年1月28日-08:00|中国 | ||明・弘治16年|<死去>北疆(ウイグルスタン)ハン「アマト・アラク」
- 1503年1月28日-08:00|中国 | ||明・弘治16年|<即位>北疆(ウイグルスタン)ハン「マンスル」(~1543年死去)
- 1503年2月9日-01:00|ドイツ | ||<死去>トリア選帝侯「ヨハン2世」
- 1503年2月9日-01:00|ドイツ | ||<就任>トリア選帝侯「ヤコブ2世」(~15110427死去)
- 1503年2月10日-09:00|韓国/朝鮮 | ||<就任>朝鮮国領議政「成俊」(~15040517)
- 1503年2月15日-01:00|クロアチア | ||<即位>ポルツァ大公「アウグスティン・マリッチ」(~1504年1月)
- 1503年2月17日-09:00|日本|静岡県焼津市|文亀3年1月21日|<死去>宗高山高徳寺(焼津市宗高)開山一徳玄輪
- 1503年2月22日-01:00|ハンガリー | ||<死去>ハンガリー王国パラチン「ペテル・ジエブ・ウインガールティ」
- 1503年2月22日-01:00|ハンガリー | ||<就任>ハンガリー王国パラチン代行「ペテル・グルフ・セントギョルツェ・エス・パジニ」(~15040424)
- 1503年2月25日-03:00|イェメン | ||<死去>ラッサー朝イマム「アルムアヤド・ムハンマド」
- 1503年3月11日 00:00|イギリス | ||<死去>初代マー伯・初代ギリ伯「ジョン・ステュアート」
- 1503年3月12日-01:00|スペイン | ||イサベル女王、カハント総督の要請を容れバールティメント制(原住民の征服者による奴隷化)を廃止、エンコミエンダ制の導入を認可
- 1503年3月15日-04:00|セイシェル/ポルトガル | ||ポルトガルの探検家ウァスコ・ダ・ガマが、現在シレット島として知られている島を発見
- 1503年3月16日-04:00|セイシェル/ポルトガル | ||ポルトガルの探検家ウァスコ・ダ・ガマが、現在アミンテス諸島として知られている島々を発見
- 1503年3月16日-09:00|日本|京都府京都市上京区|文亀3年2月18日|<完成>土佐光信「北野天神縁起絵巻」
- 1503年4月 00:00|アイルランド/イギリス | ||<就任>アイルランド副王代行「ダブリン大司教ウオルター・フィッツサイモンズ」(~8月)

1510迄 (1720件)

- 1503年4月1日-01:00|サンマリノ | ||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・デ・イ・ビアンコ」「バルトロ・デ・イ・アントニオ」
- 1503年4月15日-09:00|日本|静岡県藤枝市|文亀3年3月19日|今川氏親31歳、増善寺(静岡市慈悲尾)辰応正寅の助言により、瀬戸川の氾濫を仏の加護を念じて、了然玄超を開山に天岳山円良寺(藤枝市築地)開基
- 1503年4月16日 05:00|パナマ/スペイン | ||<キブアン率いるペレンの原住民、黄金の掠奪と婦女暴行に怒り乗組員を襲撃。10人が死亡/コロンブスは植民を断念
- 1503年4月27日-09:00|日本|福井県敦賀市|文亀3年4月2日|<敦賀城の戦い>朝倉景豊が宗家に謀叛、当主朝倉貞景は数千騎を率い景豊の居城敦賀城を完全に包囲し、景豊は包囲軍と合戦の後自害
- 1503年4月28日-01:00|フランス | ||<死去>ギーズ伯「ルイ2世」兼ヌール公「ルイ・ダ・ルマニャック」ヌールは再び王領となった
- 1503年4月28日-01:00|フランス | ||<就任>ギーズ伯「マルケ・リタ・アルマニャック」(~1503年死去)
- 1503年4月28日-09:00|日本|滋賀県東近江市|文亀3年4月3日|近江金剛定寺・百濟寺が、伊庭・六角氏の争乱で焼ける
- 1503年5月14日-01:00|イタリア/フランス/スペイン | ||スペイン軍がフランス軍を破ってナポリに入城
- 1503年5月22日-09:00|日本|静岡県掛川市|文亀3年4月27日|<死去>和光山永江院(掛川市下垂木)開山の大師院真巖派以翼長佑
- 1503年5月25日 00:00|セントヘレナ/ポルトガル | ||ポルトガルのアフォンソ・デ・アルブケルクによってコンセプション島が再発見されアセンション島と名付けられた
- 1503年6月4日-02:00|ギリシャ/イタリア | ||<死去>ヴェネツィアのカンテア公「ジヨヴァンニ・モロジニ」
- 1503年6月4日-02:00|ギリシャ/イタリア | ||<就任>ヴェネツィアのカンテア公「コスモ・パスクアリゴ」(~15050329死去)
- 1503年6月18日-09:00|日本|青森県三戸郡|文亀3年5月24日|<死去>陸奥三戸領主「南部信義」⇒弟の「南部政康」が継ぐ(~永正4年2月10日(15070323)死去)
- 1503年6月24日-03:00|イェメン | ||<死去>ラッシー朝イマム「アンザル・アルハッサン」
- 1503年6月28日-09:00|日本|滋賀県蒲生郡日野町|文亀3年6月5日|<第一次伊庭氏の乱(近江国)細川政元の家臣赤沢朝経が、近江日野城の六角高頼を包囲し攻撃するが、和睦して帰還
- 1503年7月-01:00|サンマリノ | ||<就任>サンマリノ共和国執政「シモネ・デ・イ・アントニオ・ベルツィ」「ジヨヴァンニ・デ・イ・クリストフォロ・デ・イ・ヴァイタ」
- 1503年7月3日-02:00|キプロス | ||<死去>聖ヨハネ騎士団グランドマスター「ヒェールト・ヘッツツン」
- 1503年7月4日 00:00|カリブ諸島/スペイン | ||<就任>スペイン王国植民地グラン・カリブ島知事「Alonso Escudero」(~15040604)
- 1503年7月10日-02:00|キプロス | ||<就任>聖ヨハネ騎士団グランドマスター「エメリ・ダンホ・ワース」(~15121113没)
- 1503年8月9日-09:00|日本|京都府|文亀3年7月18日|京都で盆の風流踊り(後の盆踊り)が行われる
- 1503年8月11日 00:00|イギリス | ||<就任>初代アラン伯「ジェームズ・ハミルトン」(~15290326死去)
- 1503年8月18日-01:00|パチカン | ||<死去>第214代ローマ教皇「アレクサンデル6世」/72歳(誕生14310101)
- 1503年8月18日-01:00|サンマリノ/イタリア | ||サンマリノはウルビーノ公国の保護下(~16250101)
- 1503年8月22日-09:00|日本|熊本県|文亀3年8月|<交替>肥後国守護「宇土為光」⇒「菊池能運」再任(~永正元年2月15日(15040301)死去)
- 1503年9月 06:00|中米/南米/スペイン | ||<オバント>総督、サグア地方に遠征。サグアはペイポが支配していたが退任し、スペインの支配を受け入れた妹のアカチが女王となる
- 1503年9月9日-01:00|ドイツ | ||<死去>ハッハルク=ザウゼンベルク辺境伯「フィリップ」
- 1503年9月17日-09:00|日本|静岡県富士市|文亀3年8月27日|明天隣察、真言宗法条寺を曹洞宗に改宗して富士山保寿寺(富士市上田端)を開基
- 1503年9月22日-01:00|パチカン | ||<就任>第215代ローマ教皇「ピウス3世」(~10.18死去)
- 1503年9月27日-05:30|インド/ポルトガル | ||<コチン国はポルトガル保護領/コチ砦(マニラ砦)を占領(~16630106)
- 1503年10月1日-01:00|サンマリノ | ||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・デ・ジ・ローラモ」「ボニファツィオ・デ・イ・アントレリア」
- 1503年10月10日-01:00|フランス | ||<死去>ブルボン公「ピエール2世」
- 1503年10月10日-01:00|フランス | ||<就任>ブルボン公「シュヴァンヌ」(~15210428死去)
- 1503年10月18日-01:00|パチカン | ||<死去>第215代ローマ教皇「ピウス3世」[1439年生~]享年64
- 1503年10月28日-01:00|ポーランド | ||<死去>マゾフシェ公「コンラト3世ルヂェ赤公」
- 1503年10月28日-01:00|ポーランド | ||<即位>マゾフシェ公「スタニスワフ」(~15240808死去)、「ヤヌシュ3世」(~15260309死去、マゾフシェはポーランドに吸収)コンラト3世ルヂェの息子
- 1503年10月31日-01:00|パチカン | ||<就任>第216代ローマ教皇「ユリウス2世」(~15130221死去)
- 1503年11月9日-09:00|日本|熊本県|文亀3年10月21日|菊池能運、有馬氏の支援を受け肥前国から肥後国に入り宇土為光父子を討ち平らげる
- 1503年11月14日-03:00|ベラルーシ | ||<死去>スリツカ公「シモナス・オレカイトイス」
- 1503年11月20日-01:00|ドイツ | ||<死去>メクレンブルク=シュヴァーエリン公「マグヌス2世」
- 1503年11月20日-01:00|ドイツ | ||<即位>メクレンブルク公「ハインリヒ5世」マグヌス2世の息子(⇒1520年メクレンブルク=シュヴァーエリン公~15520206死去);「アルブレヒト7世」マグヌス2世の息子(⇒1520年メクレンブルク=キュストロ公~15470105死去);<即位>メクレンブルク=シュヴァーエリン公「エーリヒ2世」マグヌス2世の息子、共同統治者(~15081222死去)
- 1503年12月1日-01:00|ドイツ/オーストリア | ||<死去>上ハイルン=インコルシュタット公・下ハイルン=ランツフト公「ゲオルク」ハイルン=ランツフトはハイルン=ミュンヘンに吸収
- 1503年12月1日-01:00|ドイツ/オーストリア | ||<即位>下ハイルン=ランツフト公「アルブレヒト4世狡猾公」上ハイルン=ミュンヘン公(~15080318死去)
- 1503年12月20日 06:00|中米/南米/スペイン | ||<トトリコ・メヒアトリリヨがグアアバ地方を、アングアヤバ地方がティエコ・ペラ

1510迄 (1720件)

- 1504年3月31日-09:00|日本|茨城県常陸太田市|永正1年3月15日|佐竹義舜, 岩城氏の援軍を得て山入氏義を滅ぼし太田城を奪還
- 1504年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ファブ リツィオ・デ イ・ピ エール・レオ・ネ・コルベ ッリ」 「マリノ・デ イ・ニコロ・デ イ・ジ ヨヴァネッティ」
- 1504年4月6日-09:00|日本|京都府京都市上京区|永正1年3月21日|幕府が、相国寺への女子の出入りを禁止
- 1504年4月15日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・弘治17年4月|朝鮮で燕山君が官僚を弾圧(甲子士禍)
- 1504年4月24日-01:00|ハンガリー| ||<就任>ハンガリー王国パ ラタイン「イム・フェジ エデ レム・ペ レニヤ・シクロシ」 (~15190205没)
- 1504年5月 00:00|ポルトガル| ||ポルトガルで新キリスト教徒(ユダヤ人)への暴動が多発
- 1504年5月23日-07:00|ベトナム| ||大越・景統7年間4月10日|<死去>後黎朝(大越)前期第6代皇帝「憲宗(黎暉)」
- 1504年5月26日-09:00|韓国/朝鮮| ||<就任>朝鮮国領議政「柳洵」 (~15091109)
- 1504年5月31日-01:00|オランダ/ドイツ| ||<就任>神聖ローマ帝国領ネーデルラント 総督「William de Croy」 (~1507年)
- 1504年6月4日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| ||<就任>スペイン王国植民地ケラン・カリヤ島知事「Lope de Sosa y Mesa」 (~1517年)
- 1504年6月5日-09:00|日本|岐阜県|永正1年4月23日|<死去>姉小路家(飛騨古川氏)当主「姉小路基綱」(64歳)
- 1504年6月18日-01:00|イタリヤ| ||アメリカ・ベ スプ ッチ, 「4回の航海においてあらたに発見せる陸地に関する書簡」と題する詳細な報告を作成。ヴァルトヘーミユルの紹介により世界的な反響を呼ぶ
- 1504年7月2日-02:00|ルーマニア| ||<死去>モルダ ヴィア総督「ステファン3世偉大侯」
- 1504年7月9日-01:00|イタリヤ| ||ヴェネツィア, 突風で150人溺死
- 1504年7月17日-07:00|ベトナム| ||大越・泰貞1年6月6日|<即位>後黎朝(大越)前期第7代皇帝「肅宗(黎敬甫)」 (~15050112死去)/泰貞と改元 (~1504年旧12月)
- 1504年7月29日 00:00|マン島/イギリス| ||<死去>マン王・ダ ービー伯「Thomas2世 Stanley」
- 1504年7月29日 00:00|マン島/イギリス| ||<就任>マン島主・ダ ービー伯「Thomas3世 Stanley」 (~15210523死去)
- 1504年8月29日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・弘治17年7月20日|朝鮮の燕山君がハンガルの教育を禁止
- 1504年9月8日-01:00|イタリヤ| ||フィレンツェで、ミケランジェロがダビデ像完成
- 1504年9月10日-01:00|フランス/イタリヤ| ||<死去>サグ オイア公「フィリベルト2世」
- 1504年9月10日-01:00|フランス/イタリヤ| ||<即位>サグ オイア公「カルロ3世」 (~15530817死去)
- 1504年9月11日-09:00|日本|静岡県浜松市|永正1年8月3日|<堀江城の戦い>堀江城(浜松市北区館山寺町)堀江下野守数年落城/伊勢宗端、降った大沢左衛門佐基房・佐田城に安堵
- 1504年9月17日-09:00|日本|静岡県沼津市|永正1年8月9日|<死去>桃源院(沼津市大平)開山興国玄晨
- 1504年9月22日-01:00|フランス/イタリヤ/スペイン| ||フランスとスペインの間で「フ ロア条約」が締結される/フランス王ルイ12世, スペインの「ホ ーリ」支配を承認/フランス王女クロード・ト ーフランスと神聖ローマ皇帝マクシミリアンの孫カル(のちの神聖ローマ皇帝カル5世)の婚約が決まる(のちに破棄)
- 1504年9月28日-09:00|日本|静岡県磐田市|永正1年8月20日|済縁山誓渡院開創
- 1504年9月30日-09:00|日本|埼玉県川越市|永正1年8月22日|<河越城の戦い>上杉顕定は上杉朝良の拠点である河越城の攻撃を開始
- 1504年10月-04:30|アファニスタン| ||バ ーブルがアファニスタンのカブールを占領
- 1504年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・デ イ・ジ ロラモ」 「フランチェスコ・デ イ・マリノ・ジヤンゴ」
- 1504年10月1日-09:00|日本|福井県|永正1年8月23日|加賀より攻め込んで来た朝倉元景が越前国守護朝倉貞景に敗れて越前国を退去
- 1504年10月8日-09:00|日本|静岡県焼津市|永正1年9月|八幡宮(焼津市石津)創建
- 1504年10月11日-09:00|日本|京都府京都市|永正1年9月4日|<第一次淀古城の戦い>細川軍に属していた薬師寺元一が、管領で守護の細川政元の養子細川澄元を擁立し、政元に謀反。これに呼応した山城国人衆と槇島城から赤沢軍が援軍として淀古城に籠もる
- 1504年10月11日-09:00|日本|山形県|永正1年9月4日|<死去>羽州探題「最上義淳」⇒「最上義定」が継ぐ (~永正17年2月2日 (15200220) 死去)
- 1504年10月18日-09:00|日本|京都府|永正1年9月11日|京都土一揆蜂起し徳政を要求
- 1504年10月27日-09:00|日本|京都府京都市|永正1年9月20日|<第一次淀古城の戦い>細川政元、薬師寺長忠を助け淀城を攻撃/淀古城は細川軍の手に落ち、淀古城に籠もっていた四宮長能は自害、元一は捕えられ、京で自害、赤沢朝経は大和へ敗走
- 1504年10月28日-09:00|日本|奈良県奈良市|永正1年9月21日|<井戸城の戦い>古市澄胤の軍勢が平尾山と呼ばれる小さな山の頂上に築かれた井戸城に攻め寄せたが筒井&井戸勢の守りは固く落ちなかった
- 1504年10月28日 08:00|日本|奈良県奈良市|永正1年9月21日|<古市の戦い>夕刻、大和の筒井順賢らが古市で古市澄胤父子と戦い、これを破る
- 1504年11月1日-09:00|日本|兵庫県淡路市|永正1年9月25日|阿波の三好之長が淡路に侵攻
- 1504年11月3日-09:00|日本|東京都立川市|永正1年9月27日|<立河原の戦い>武蔵国立河原において、上杉顕定・足利政氏らの連合軍と上杉朝良・今川氏親・北条早雲(伊勢宗瑞)らの連合軍との間で正午頃より合戦が始まり、戦いは夕方まで続いた/多摩川渡河を許した山内上杉側は苦戦をしてついに潰走、山内上杉軍は2千人もの戦死者を出して長野房兼・長尾房清らの諸将も戦死
- 1504年11月10日-01:00|フランス| ||<即位>サグ オイア公カルロ3世 (~15530817死去)
- 1504年11月26日-01:00|スペイン| ||<死去>レオン国王・カステイリヤ国王・トラスタマラ公「イハベル1世」53歳(誕生14510422)
- 1504年11月26日-01:00|スペイン| ||<就任>アストゥリアス公(スペイン国王の推定相続人)「カルロス1世」の長男、後のスペイン王カルロス1世 (~15160123~15580921死去)

1510迄 (1720件)

- 1504年11月26日-01:00|スペイン| ||<即位>レオン国王・カスティーリヤ国王「アナ狂女王」(夫のフェリペ1世が代行~1506年幽閉時はフランスコ・ヒメス・デ・シネロスが摂政として代行~1516年幽閉時は息子のカロス1世が代行~1550412死去75歳)
- 1504年11月26日-01:00|スペイン| ||<退位>カスティーリヤ国王・トラスタマラ公「フェルナンド5世カトリック王」(~15160123死去63才)
- 1505年-08:00|フィリピン| ||<死去>スール王国スルタン「Sultan Kamalud-Din」
- 1505年-08:00|フィリピン| ||<即位>スール王国スルタン「Sultan Amirul-Umara」(~1527年)
- 1505年-05:30|インド| ||<建国>コハト国
- 1505年-05:30|インド| ||<即位>ウイジヤナガル王国(トゥルヴァ朝)国王「ウイラ・ナラシンハ・ラーヤ」(~1509年)
- 1505年-05:30|インド| ||<即位>カシュミール・スルタン朝スルタン「Fateh Shah」(~1514年)
- 1505年-05:30|インド| ||シカンダル・ローティが新都アグラーに遷都
- 1505年-04:00|ジョージア| ||<死去>カトリック王「コンスタンティヌス2世」
- 1505年-04:00|ジョージア| ||<即位>カトリック王「ダウイド10世」(~1525年退位)
- 1505年-04:00|モリシャス/ポルトガル| ||船「ルネ」でポルトガル人のトミンゴス・フェルナンデス船長がモリシャス島を発見しイルハト・チルネと名付けた
- 1505年-03:30|イラン| ||<即位>ホルマス・シャー「トウラン・シャー3世」(~1507年)
- 1505年-03:00|ペラルーシ| ||<即位>スツク公「ユリウス・オレカイトス」(~1542年)
- 1505年-03:00|コモ/ポルトガル| ||ポルトガルの探検家がコモを目撃
- 1505年-02:00|キプロス/イタリヤ| ||<就任>ウエツィアのキプロス副官「クリストフォ・デ・イ・ロレンツォ・モロ」(~1507年)
- 1505年-02:00|トルコ| ||オスマン朝でバヤズィド2世モスクが完成
- 1505年-02:00|モザンビーク/ポルトガル/インド| ||モザンビークはポルトガル領インド(ゴア)に従属(~17520419)
- 1505年-01:00|クアチア| ||<就任>クアチアとスラウ・オニアとタルマチアのパン「フェレンツ・ハラッサ・デ・ギヤルマート」(~同年)⇒「アントリヤ・ホット」(1度目~1507年)
- 1505年-01:00|ドイツ| ||<就任>フアルツ/ノイブルク公国摂政「フリッポ」(~1508年)
- 1505年-01:00|ホスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ホスニア総督「フィリス・ベイ・ミハール」((2回目~1512年)
- 1505年-01:00|イタリヤ| ||<即位>トレント司教公「George2世 von Neideck」(~1514年)
- 1505年-01:00|ドイツ| ||<即位>フアルツ/ノイブルク公「オットー・ハインリヒ」(~1557年)、「フリッポ」(~1548年、兄と共治、途中で一時的に分割統治)
- 1505年-01:00|ポーランド| ||ポーランドでニヒルノヴァ法が制定、国王が法案提出権を喪失
- 1505年 00:00|シエラレオネ| ||<建国>テムネ(コヤ・テムネ)王国
- 1505年 00:00|イギリス| ||<死去>2代バカン伯「アレクサンダー・ステュアート」
- 1505年 00:00|イギリス| ||<就任>3代バカン伯「ジョン・ステュアート」(~1551年死去)
- 1505年 00:00|モリタニア/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領アルギン長官「ゴンサロ・ダ・フォンセカ」(~1508年)
- 1505年 00:00|マン島/イギリス| ||<就任>マン島知事「Ralph Rushton」(1期目~1511年)
- 1505年 00:00|モッコ/ポルトガル| ||サンタ・クルス・ト・カボ・デ・ケをポルトガルが支配
- 1505年 00:00|モッコ/ポルトガル| ||マザガン(エルジャティータ)をポルトガル領有宣言
- 1505年1月6日-09:00|日本|埼玉県川越市|永正1年12月1日|上杉朝良、上戸陣を攻める/長尾弥五郎以下100人討死
- 1505年1月6日-09:00|日本|静岡県磐田市|永正1年12月|秋鹿弥太郎内匠朝廷、黙宗瑞淵を開山に、臨濟宗妙心寺派無量山泉蔵寺(磐田市石原町)を開基
- 1505年1月6日-09:00|日本|東京都八王子市|永正1年12月1日|<櫛田の戦い>上杉顕定・房能の兵が上杉朝良の武蔵国櫛田の保塁を攻めこれを抜く/山内上杉方の三田氏宗を城主にする
- 1505年1月12日-07:00|ベトナム| ||大越・泰貞1年12月8日|<死去>後黎朝(大越)前期第7代皇帝「肅宗(黎敬甫)」
- 1505年1月18日-01:00|フランス/ドイツ/スペイン| ||ハプスブルク家間の通信を担当しているフランス・フォン・タシスが、フランスやスペインの宮廷をもつなぐ郵便制度を発足
- 1505年1月22日-07:00|ベトナム| ||大越・泰貞1年12月18日|<即位>後黎朝(大越)前期第8代皇帝「威穆帝黎濬(黎誼)」(~15100110死去)/端慶と改元(~1509年)
- 1505年1月23日-09:00|日本|大阪府|永正1年12月18日|<任命>河内国北守護「畠山義英」菅田城(~永正4年12月4日)、河内国南守護「畠山尚順」高屋城(⇒永正4年12月4日(15080106)一國守護)和睦し河内国を分領
- 1505年1月25日-01:00|イタリヤ| ||<死去>フェレーラ・モン・レヅジョ公「エルコレ1世」73歳
- 1505年1月25日-01:00|イタリヤ| ||<即位>フェレーラ・モン・レヅジョ公「アルフォンソ1世」(~15341031死去)
- 1505年1月31日-09:00|日本|神奈川県平塚市|永正1年12月26日|上杉顕定、相模国実田要害を攻め、落城、上田備前守朝直討死
- 1505年2月4日-09:00|日本|愛知県豊橋市|永正2年|東三河の牛久保城を拠点とする一色氏の家臣 牧野古白が、今橋城(吉田城)を築城
- 1505年2月4日-09:00|日本|京都府|永正2年|<交替>丹後国守護「武田元信」⇒「一色義有」(~永正3(1506)年解任)
- 1505年2月4日-08:00|中国| ||明・弘治18年|このころ梅毒が中国に伝搬、ポルトガル→インド→中国→日本に至る
- 1505年2月4日-01:00|フランス| ||<死去>ペリー公「ジャンヌ」
- 1505年3月6日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|永正2年2月|筒井順賢の下に越智家令の娘が嫁ぐ
- 1505年3月10日-09:00|日本|京都府京都市|永正2年2月5日|足利義澄が夫人と不和で離縁し、後室に武衛斯波義寛の娘が入る
- 1505年3月29日-02:00|ギリシャ/イタリヤ| ||<死去>ウエツィアのカンテリア公「コスモ・パスカリゴ」
- 1505年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・デ・イ・ジ・ローラモ・ベルツィ」「ジュリアノ・デ・イ・バルトロメオ」
- 1505年4月5日-09:00|日本|熊本県|永正2年3月|菊池武邁は本拠を失い、以後菊池の血脈は肥後の地を踏むことはなかった

1510迄 (1720件)

- 1505年4月5日-09:00|日本|静岡県焼津市|永正2年3月|塩釜神社(焼津市小浜)創立
- 1505年4月11日-09:00|日本|埼玉県川越市|永正2年3月7日|<河越城の戦い>上杉顕定、上杉朝良を河越城に囲む/和睦し、朝良江戸城に退隠
- 1505年4月17日-09:00|日本|静岡県周智郡森町|永正2年3月13日|天方山城守通季、助岑祥佐開山に蔵雲院開基
- 1505年5月4日-09:00|日本|香川県|永正2年4月|細川政元、細川尚春らを讃岐国に遣わし細川成之を討とうとするが敗れる
- 1505年5月4日-09:00|日本|静岡県周智郡森町|永正2年4月|天野安芸守入道景顕、飯田山崇信寺(森町飯田)四世賢窓常俊を開山に、寺号を随雲寺から秋葉山瑞雲院(春野町堀之内)に改めて中興開基
- 1505年6月8日-08:00|中国| ||明・弘治18年5月7日|<死去>明第10代皇帝「孝宗弘治帝(朱祐㝱)」
- 1505年6月15日-01:00|イタリヤ| ||<就任>フェラ・マ・ナ・レツ ヨ公「アルフォンソ1世」(~15341031死去58歳)
- 1505年6月19日-08:00|中国| ||明・弘治18年5月18日|<即位>明第11代皇帝「武宗正徳帝(朱厚㝱)」弘治帝の子(~正徳16年3月14日1521年4月20日)幼帝でふたたび宦官が跋扈
- 1505年7月20日-09:00|日本|京都府京都市|永正2年6月19日|<死去>近衛政家(62歳)元関白、太政大臣
- 1505年7月31日-09:00|日本|奈良県|永正2年7月|大和国中に土一揆蜂起
- 1505年8月-03:00|タンザニア/ポルトガル| ||ポルトガルがキル島占領
- 1505年8月-02:00|モザンビーク/ポルトガル| ||ポルトガル艦隊が東アフリカのソファラなどを攻略し占領
- 1505年8月8日-09:00|日本|奈良県奈良市|永正2年7月9日|大和興福寺衆徒が寺領の辰市・美濃荘に出兵し放火
- 1505年8月17日-09:00|日本|京都府京都市|永正2年7月18日|幕府が京都市内で流行している盆踊りを禁止
- 1505年8月29日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|永正2年8月|赤沢朝経の率いる京軍に対抗して西脇衆が郡山城に立て籠もるが2日後に落城
- 1505年9月-05:30|インド/ポルトガル| ||ポルトガルの初代インド総督アルメイダがゴーチンに着任
- 1505年9月-02:00|モザンビーク/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領ソファラ・キア・テン「ペドロ・ディア」(~15060304没)
- 1505年9月13日-05:30|インド/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領インド総督「フランシスコ・デ・アルメイダ」(~15090904)
- 1505年9月13日-05:30|インド/ポルトガル| ||アンジエ・イバがポルトガルに買収される
- 1505年9月13日-01:00|アルジェリア/スペイン| ||スペインによるムス・エル・ケールの占領(マザルビェルとして~17080121)
- 1505年10月1日-01:00|サマリヤ| ||<就任>サマリヤ共和国執政「アントニオ・デ・イビアンコ」「アントニオ・マリノ・ジャンニニ」
- 1505年10月7日-09:00|日本|京都府|永正2年9月10日|細川政元家臣で山城守護代香西元長が、京都周辺の農村に半済を課し、反発した郷村を焼き払う/山科では合戦にまで発展するも、山科本願寺に入った政元の命により兵を退く
- 1505年10月11日-01:00|モロコシ| ||<死去>モロコシ領主「シヨウ・アンニ2世」
- 1505年10月11日-01:00|モロコシ| ||<就任>モロコシ領主「ルチアノ」(~15230822没)
- 1505年10月13日-09:00|日本|山梨県|永正2年9月16日|<死去>前甲斐国守護「(甲斐武田氏第16代当主)武田信昌」病没/59歳
- 1505年10月27日-04:00|ロシア| ||<死去>モスクワ大公「イワン3世ウァシリエヴィチ」65歳(誕生14400122)
- 1505年11月4日-09:00|日本|福島県喜多方市|永正2年10月9日|蘆名盛高、盛滋父子が塩川で合戦、敗れた盛滋が伊達領長井に逃れる
- 1505年11月6日-04:00|ロシア| ||<即位>第10代モスクワ大公「ウァシリー3世」(~15331213)
- 1505年11月19日-09:00|日本|愛知県豊橋市|永正2年10月24日|今川方であった牧野古白によって今橋城築城(愛知県豊橋市/→吉田城)牧野城廃城/牧野古白成時、今橋城移り一色城を瀬木砦の牧野新次郎氏勝に譲る
- 1505年12月18日-01:00|ベルギー| ||<死去>リエージュ公「ジヨアン・ホニス」
- 1505年12月22日-09:00|日本|大阪府羽曳野市|永正2年11月27日|<誉田城の戦い>政元から赦免された赤沢朝経により誉田城を攻められた
- 1505年12月25日 00:00|イギリス| ||<死去>第2代ケント伯「ジョージ・グレイ」
- 1505年12月25日 00:00|イギリス| ||<就任>第3代ケント伯「リチャード・グレイ」(~15240503死去)
- 1505年12月26日-09:00|日本|熊本県|永正2年12月|<交替>肥後国守護「菊池能運」⇒「菊池武経(阿蘇惟長)」(~永正8(1511)年辞任)
- 1505年12月30日-01:00|ベルギー| ||<就任>リエージュ公「エラルド・ラマルク」(~15380216死去)
- 1506年-08:00|インドネシア| ||<即位>グレスイクギリ君主「Sunan Dalem」(~1545年)
- 1506年-08:00|インドネシア| ||<即位>サムトラパサイ王国第17代スルタン「ムハンマド・シャー3世」(~1507年)
- 1506年-05:00|カザフスタン| ||<死去>ガイ・オルダ・ハン「Musa Mirza」
- 1506年-04:30|アフガニスタン/イラン| ||マイナガがベルグシャに征服された
- 1506年-04:00|ロシア| ||<死去>カシモフ・ハン国ハン「サティガン」
- 1506年-04:00|ロシア| ||<即位>カシモフ・ハン国ハン「ジヤナイ」サティガンの弟(~1512年)
- 1506年-03:00|イェメン| ||<即位>ラッシー朝イマム「アルムタキル・ヤーヤ・シャラフ・アッデイン・ビン・シャムスアッデイン」アルマフディ・アフマドの孫(~15550327死去)
- 1506年-02:00|ギリシャ/イタリヤ| ||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「ジローモ・トナート」(~1508年)
- 1506年-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「ハティム・アリ・パシャ」(2期目~1511.4)
- 1506年-02:00|エジプト| ||マムルーク朝のガウリーが西欧諸国に使者を派遣
- 1506年-01:00|アルバニア/トルコ| ||<就任>オスマン帝国ウァローニヤのサンジャクベイ「ハリ・ベイ」
- 1506年-01:00|クアチア| ||<就任>クアチアとスラヴォニアとダルマチアのハン「マルコ・ミシュリエヴィッチ」(~1507年)
- 1506年-01:00|ベルギー/フランス| ||<就任>フランドル伯「シャルル3世」(~1555年)
- 1506年-01:00|フランス| ||<就任>ブルゴニュ伯「カール5世(神聖ローマ皇帝)」(~1558年)

1510迄 (1720件)

- 1506年 00:00|チャル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ジャージ-島知事「Hugh Vaughan卿」(~1532年)
- 1506年 00:00|カナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴ-ルト・コースト長官「アントニオ・ホセ・イリヤ」(~1509年)
- 1506年 00:00|モロッコ/ポルトガル| |||アガス(スラゲ・ティム)をポルトガルが支配(~1525年)
- 1506年 00:00|ポルトガル/イメン| |||ポルトガルがアラビア海上のソトラ島を占領
- 1506年1月24日-09:00|日本|石川県|永正3年|<交替>能登国守護「畠山慶致」退任⇒兄の「畠山義元」(~永正12年10月20日(15151125)死去)
- 1506年1月24日-09:00|日本|神奈川県|永正3年|<任命>相模国守護「三浦義同」(~永正7(1510)年)
- 1506年1月24日-09:00|日本|京都府|永正3年|<交替>丹後国守護「一色義有」解任⇒「武田元信」(~永正5(1508)年)
- 1506年1月24日-09:00|日本|滋賀県|永正3年|<交替>近江国守護「六角高頼」隠居⇒「六角氏綱」(~永正15年7月9日(15180825)死去)
- 1506年1月24日-09:00|日本|長崎県壱岐市|永正3年|波多三河守盛が、「華溪院」を改め「如意山華光寺」として開山
- 1506年1月24日-08:00|中国| ||明・正徳1年1月1日|明・正徳と改元
- 1506年2月13日-09:00|日本|広島県安芸高田市|永正3年1月21日|<死去>吉田郡山城主「毛利弘元」酒毒(アルコール中毒)で(39歳)
- 1506年2月18日-09:00|日本|大阪府羽曳野市|永正3年1月26日|<菅田城の戦い>澤蔵軒が畠山義英が籠もる菅田城を攻め落とす
- 1506年2月21日-09:00|日本|大阪府羽曳野市|永正3年1月29日|赤沢朝経が高屋城を落城させる、畠山尚順は大和へ逃れる
- 1506年3月-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領モザンビーク総督代理「Manuel Fernandes de Meireles司令官少佐」(~12月)
- 1506年3月4日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<死去>ポルトガル領ソアラ・キャブテン「ペドロ・アナア」在任中
- 1506年3月4日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ソアラ・キャブテン代行「マヌエル・フェルナンデス」(~12月)
- 1506年3月7日-09:00|日本|愛知県一宮市|永正3年2月13日|張屋道勝、尾張国善福寺の阿弥陀如来像を造立
- 1506年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントレ・デ・イ・ジョルジョ・ヨ・リ」 「ガミッロ・デ・イ・メネット・ホ・ネリ」
- 1506年4月4日-01:00|イタリヤ| |||ベネチアでフェッラーラ人との国境決定
- 1506年4月12日-09:00|日本|愛知県豊橋市|永正3年3月19日|吉田城の牧野古白、伊勢新九郎に負け瀬木城に落ち今川氏親に仕える
- 1506年4月23日-09:00|日本|大阪府|永正3年4月|<交替>摂津国守護「細川政元」⇒養子の「細川澄元」(~永正4(1507)年7月8日)
- 1506年4月30日-01:00|オランダ/スペイン/イギリス| |||イギリスに滞在中のカスティリヤ王フェリペ1世が、イギリスと「イギリス=ネデルラント通商協定」を成立させる
- 1506年5月 00:00|セントヘレナ/ポルトガル| |||トリスタン・ダ・ケニヤ提督が発見、ポルトガル領宣言。トリスタン・ダ・ケニヤ島と命名
- 1506年5月4日-05:00|ウズベキスタン/イラン| |||<死去>ティムール朝(ハラト政権)アミール「フサイン・バカラ」
- 1506年5月4日-05:00|ウズベキスタン/イラン| |||<即位>ティムール朝(ハラト政権)アミール「バテ・イ・ウツァマン」 「ムザッファル・フサイン」共同統治(~1507年)
- 1506年5月4日-09:00|日本|静岡県湖西市|永正3年4月12日|宇津山城より船三艘が漕ぎつけ斯波方の中之郷の城松田修理を攻め、松田修理・子松田丹左衛門を短蛇山清源院で自害させる
- 1506年5月15日-09:00|日本|栃木県|永正3年4月23日|<永正の乱>古河公方足利政氏の嫡子足利高基が妻の実家である下野国の宇都宮氏を頼って逐電
- 1506年5月20日-01:00|スペイン| |||コロンブスが持病と心痛のため「リャトリット」で死去/54歳(誕生:1446)
- 1506年5月23日-09:00|日本|岐阜県|永正3年5月|美濃国土一揆蜂起
- 1506年5月23日-09:00|日本|宮城県|永正3年5月1日|<死去>陸奥登米寺池領主「葛西政信」⇒三男の「葛西晴重」が継ぐ(~天文2年12月21日(15340105)死去)
- 1506年6月15日-08:00|マレーシア| |||<死去>ケダ・スルタン国スルタン「ムハマト・シワ・ザイナル・アディン・ムアザム・シャー1世」
- 1506年6月15日-08:00|マレーシア| |||<即位>ケダ・スルタン国スルタン「マフムド・シャー2世」(~15470115死去)
- 1506年7月12日-01:00|スペイン| |||<即位>カスティリヤ国王・トラスタマラ公「フェリペ1世美王」マキシミアン1世の息子(~15060925死去28歳)王として妻の7分の半分を統治
- 1506年7月21日-09:00|日本|奈良県|永正3年7月|赤沢宗益、大和国に再侵攻、大和国人連合を破る
- 1506年7月23日-09:00|日本|兵庫県淡路市|永正3年7月3日|細川尚春方に海上で船の積荷を奪われたことから三好元長が淡路館を攻めるが失敗
- 1506年7月28日-09:00|日本|福井県|永正3年7月8日|越前守護朝倉貞景、加賀・能登・越中の一方向一揆を撃退
- 1506年8月 00:00|モロッコ| |||<建設>モクトール王城
- 1506年8月2日-09:00|日本|福井県|永正3年7月13日|<永正の一方向一揆>越前で一向衆・甲斐氏牢人が土一揆として蜂起
- 1506年8月6日-09:00|日本|福井県|永正3年7月17日|加賀、越中、能登の一方向一揆が越前に侵攻し、坂井郡豊原寺付近で朝倉貞景と交戦するが大敗
- 1506年8月9日-09:00|日本|福井県敦賀市|永正3年7月20日|氣比社が焼失
- 1506年8月19日-02:00|リトアニア| |||<即位>リトアニア大公「国家評議会:ミカロス・ラト・ビラウ・イチウス(宰相)/ミカロス・ミカウ・イチウス・ラトウ・イラ/スタニスラフ・ヨサウ・イチウス・ケスカイ/アレクサンド・ラス・ユレウ・イチウス・ゴルサンスキス/ヨナス・ユルガ・イチイス・ザ・ベリンスキス(大元帥)/ミコラス・リウトウ・イチウス・ケリンスキー/ウイリニウス司教ウ・アイティクス・アルバ・タス1世妹」(~10.20)
- 1506年8月19日-01:00|ポーランド/リトアニア| |||<死去>ポーランド王・リトアニア大公「アレクサンデル・ヤギェロンク」45歳
- 1506年8月19日-09:00|日本|鹿児島県|永正3年8月|薩摩、大隅、日向守護島津忠昌が大隅国の肝付忠兼を攻めるも

、家臣の新納忠統が肝付方に加勢したため、敗退

- 1506年8月19日-09:00|日本|福島県|永正3年8月|陸奥/蘆名盛滋、父蘆名盛高、和睦
- 1506年8月19日-09:00|日本|宮城県|永正3年8月|葛西氏の領内の陸奥桃生・登米・深谷郡に再び三郡一揆起こる
- 1506年8月20日-09:00|日本|奈良県|永正3年8月2日|赤澤朝経が大和に入る、秋篠、寶來、郡山、西京以下を陥る
- 1506年8月21日-09:00|日本|京都府|永正3年8月3日|若狭武田氏兵と一色兵が丹後で戦闘、武田方敗れる
- 1506年8月22日-09:00|日本|奈良県|永正3年8月4日|順賢・成身院順盛(順宣)が井戸城を開城し没落、越智・箸尾・十市も同調
- 1506年8月24日-09:00|日本|鹿児島県|永正3年8月6日|肝付兼久、島津氏に叛する
- 1506年8月24日-09:00|日本|福井県|永正3年8月6日|<九頭竜川の戦い>越前九頭竜川にて朝倉宗滴を総大将とする朝倉氏と北陸一向宗が戦い、宗滴は敵の機先を制するべく夜半に渡河を決行し奇襲をかけ、一向宗は打ち負かされ加賀に撤退/朝倉軍は越前吉崎御坊を破壊
- 1506年8月26日-09:00|日本|島根県益田市|永正3年8月8日|<死去>禅僧・画家:雪舟等楊(87歳、応永27(1420)生)/「四季山水図巻」
- 1506年8月28日-09:00|日本|愛知県豊橋市|永正3年8月10日|牧野成時・奉行小原左近定成、吉田神社御宝殿造営
- 1506年8月29日-09:00|日本|奈良県|永正3年8月11日|戒重城が落とされ越智氏は大窪へ、十市・箸尾氏以下は多武峰へ、筒井氏は東山内へそれぞれ没落
- 1506年9月3日-09:00|日本|奈良県|永正3年8月16日|順賢が「北方一国一揆」を結成/京衆に加担した古市・山村・藤原・横井・長井氏らの在所を焼き奈良へ入り、奈良にいた古市丹後(胤盛)は没落
- 1506年9月4日-09:00|日本|静岡県静岡市葵区|永正3年8月17日|月心○光、金島山指月院を開山
- 1506年9月5日-09:00|日本|富山県|永正3年8月18日|一向一揆が越中を占領、守護代神保長誠が婦負郡寒江蓮台寺に陣して戦うが敗れる
- 1506年9月8日-09:00|日本|愛知県岡崎市|永正3年8月21日|<岩津城の戦い>伊勢宗瑞自ら数千で、大樹寺に本陣を置き、岩津城松平親長5百を攻め今川方70人討死/伊勢宗瑞、戸田弾正憲光が松平長親に志を通じ、背後から挙兵する噂を聞いて、今橋城に引き上げる
- 1506年9月11日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|永正3年8月24日|郡山城陥つ/筒井・箸尾氏、宇陀郡にのがれる
- 1506年9月18日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・正徳1年9月2日|<即位>李氏朝鮮国王「中宗」(~15441129死去)
- 1506年9月18日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・正徳1年9月2日|<廢位>李氏朝鮮国王「燕山君」成希顔らが企てたクーデターによって失脚し、江華島に追放
- 1506年9月21日-09:00|日本|奈良県桜井市|永正3年9月5日|赤沢朝経が多武峰に総攻撃をかけ、これを落とす
- 1506年9月25日-01:00|スペイン/フランス/ベルギー/オランダ/ルクセンブルグ| |||<死去>カステリヤ国王・トラスタマラ公「フェリペ1世美王」兼ブルゴニユ公・フランドル伯「フィリップ4世(美公、端麗公)」兼ブラバント公「フィリップ3世」兼ルクセンブルク公・エノー伯「フィリップ2世美公」兼アルトワ伯「フィリップ1世」兼リツブルク公「フィリップ端麗公」28歳
- 1506年9月25日-01:00|フランス/ドイツ/オランダ/ベルギー/ルクセンブルグ| |||<就任>ブラバント公・リツブルク公・下ロワリングア公・ナミュール辺境伯・アルトワ伯・エノー伯「シャルル2世」兼フランドル伯「シャルル3世」兼ルクセンブルク公「カール3世」兼ブラント伯・ゼーラント伯「カール2世」(~15551025退位)兼ブルゴニユ公「シャルル2世」(~15560116退位)兼ブルゴニユ伯・シャロレ伯「シャルル2世」(~15560205退位)
- 1506年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・オプ・ホリロ・ナルテ・イニ」「アントニオ・テ・イ・マウツィオ・ルナルテ・イニ」
- 1506年10月5日-09:00|日本|愛知県豊橋市|永正3年9月19日|今川軍、今橋城(豊橋市今橋町)日の出外郭取る・端城攻略
- 1506年10月5日-09:00|日本|富山県砺波市|永正3年9月19日|<般若野の戦い>越前守護代・長尾能景が越中一向一揆と般若野で戦い戦死/48歳(誕生:長禄3(1459))
- 1506年10月10日-09:00|日本|京都府宮津市|永正3年9月24日|<如願寺の戦い>若狭武田軍、細川澄之の合力で丹後一色兵を攻撃、これを破る
- 1506年10月20日-02:00|リトアニア| |||<即位>リトアニア大公「ジギマンタス1世」(⇒15070120、兼ポーランド王)
- 1506年10月26日-09:00|日本|福井県坂井市|永正3年10月10日|一向宗徒越前豊原寺を襲い加賀国へ敗退
- 1506年10月28日-09:00|日本|鹿児島県肝属郡肝付町|永正3年10月12日|(8月6日~)島津忠昌が軍勢を率いて、叛いた肝付兼久の籠もる高山城を攻撃したが城を攻め落とすことはできなかった
- 1506年11月15日-09:00|日本|新潟県|永正3年11月|長尾為景:大須賀氏、五十嵐氏らの反乱を鎮圧
- 1506年11月17日-09:00|日本|愛知県豊橋市|永正3年11月3日|<今橋城の戦い>(8月26日~)伊勢早雲が松平方の牧野古伯が守る三河今橋城を攻め落とし古伯は戦死
- 1506年11月21日-01:00|フランス| |||<死去>ヌヴェール伯「Engelbert」
- 1506年11月21日-01:00|フランス| |||<就任>ヌヴェール伯「Charles2世」(~1521年死去)
- 1506年12月-02:00|モザンベーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ソファラ・暫定キャプテン「ヌノ・ウァズ・ペレイラ」(~15070908)
- 1506年12月10日-01:00|モザンベーク/イタリア| |||モザンベークに包囲される(~15070322)
- 1506年12月11日-09:00|日本|愛知県岡崎市|永正3年11月27日|今川氏親、西三河の山中・明大寺山・矢作にて合戦、松平氏、妙源寺僧の調停で和睦し今川氏旗下となる
- 1507年-08:00|インドネシア| |||<即位>サムラハサイ王国第18代スルタン「アブダラー」(~1509年)
- 1507年-05:00|ポルトガル| |||ポルトガルのロレンソ・デ・アルメイダ大尉が発見
- 1507年-04:00|ロシア| |||<即位>モスコフスキー・ナメストニク「ピョートル・ド・ミトリエウイチ」(~1509年)
- 1507年-03:30|イラン| |||<就任>サファヴィー朝宰相「ミール・ヤール・アフマト・フズニ・イスファハニ、ナジヤミ・サニ」(~1510年)
- 1507年-03:30|イラン| |||<即位>オームズ王「Sayf al-Din」(~1513年)
- 1507年-03:30|イラン| |||<即位>ハダス朝(Kojur)君主「Ka'us3世」(~1543年殺される)

1510迄 (1720件)

- 1507年-03:30|イラン| |||<即位>パダスパニド朝(Nur)君主「Bahman of Tabaristan」(~1550年)
- 1507年-03:30|イラン| |||<即位>ホルムズ・シャー「セイファル・デ・イン・アブ・ナスル」(~1513年)
- 1507年-02:00|キプロス/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「ロレンツォ・デ・イ・ベッラルト・ジュスティニアニ」(~1509年)
- 1507年-01:00|スペイン| |||<死去>3代メナシトニア公「ファン・アロンソ・ペレス・デ・グスマン・イ・アファン・デ・リベラ」
- 1507年-01:00|スペイン| |||<就任>4代メナシトニア公「エンリケ・ペレス・デ・グスマン・イ・フェルナンド・デ・ベラスコ」(~1512年死去)
- 先代の子
- 1507年-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>神聖ローマ帝国領ネーデルラント総督「Margaret of Austria」(~15301201死去)
- 1507年-01:00|フランス| |||<就任>ヌール公「ガストン・ド・フォワ」(~15120411死去、ヌールは再び王領となった)
- 1507年-01:00|チャト| |||<即位>セワ朝国王「Idris Katakarmabe」(~1529年)
- 1507年 00:00|イギリス| |||<就任>12代キャリック伯「ジェームズ・ステュアート」先代の長男(~1508年)
- 1507年 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド支配者「ヴァイグ・フス・エルンドソン」(~1509年)
- 1507年 00:00|ポルトガル/オマーン| |||ポルトガルがオマーンのマスカトを占領、インド洋交易拠点を建設
- 1507年 01:00|アリス諸島/ポルトガル| |||<死去>グラジオサ島トリア長官「Duarte Correia da Cunha」
- 1507年1月13日-08:00|中国| ||明・正徳2年|江西省南部の大帽山で農民反乱がおこる
- 1507年1月13日-09:00|日本|静岡県湖西市|永正3年12月|今川氏親、三河に攻略を開始するにあたって宇津山城(湖西市入出)を築城
- 1507年1月14日 00:00|イギリス| |||<死去>3代エール伯「ウィリアム・ヘイ」
- 1507年1月14日 00:00|イギリス| |||<就任>4代エール伯「ウィリアム・ヘイ」(~15130909死去)
- 1507年1月20日-01:00|ポーランド| |||<即位>ポーランド王「ジグムント1世スチム」(リトニア大公ジギマンタス1世~15480401死去81歳)
- 1507年2月-04:00|モリシャス/ポルトガル| |||デ・イコ・フェルナンデス・ペレイラ大佐率いるアフォンソ・ダ・ルベケルのポルトガル艦隊がロドリゲス島発見
- 1507年2月3日-09:00|日本|福井県|永正3年12月22日|土佐光信、朝倉貞景の求めに応じて「京中図屏風」を製作
- 1507年2月9日-04:00|レユニオン/ポルトガル| |||ポルトガルのトリスタン・ダ・クーニャが無人島に接岸し、Santa-Appoloniaと命名
- 1507年2月12日-09:00|日本|静岡県静岡市葵区|永正4年|大本山鎌倉光明寺8世観誓祐崇、浄土宗京都知恩院末寺金米山宝台院(常盤)を開創
- 1507年2月12日-09:00|日本|広島県|永正4年|<任命>安芸国守護「大内義興」(~享禄元年12月20日(15290129)死去)
- 1507年2月21日 00:00|イギリス| |||<就任>ロシー公(スコットランド王位の法定推定相続人)「ジェームズ・スチュアート」キャリック伯(~15080227死去)
- 1507年3月12日-01:00|イタリア/フランス| |||イタリア北西部のジエノヴァで、「ジエノヴァ総督」フィリップ・ド・ラウアンスタンと「フランス進駐軍」に対する「反乱」が起こる
- 1507年3月16日-01:00|ドイツ| |||<死去>メクレンブルク=シュエリン公「ハルトザール」
- 1507年3月23日-09:00|日本|青森県三戸郡|永正4年2月10日|<死去>陸奥三戸領主「南部政康」⇒嫡男の「南部安信」が継ぐ(~天文10(1541)年死去)
- 1507年3月27日-09:00|日本|山梨県|永正4年2月14日|<死去>甲斐国守護「武田信縄」病没、37歳⇒子の「武田信虎」が継ぐ(~天文10(1541)年6月14日追放)/油川信恵が国衆の岩手縄美、栗原昌種、小山田弥太郎などを味方につけ、信直(信虎)に挙兵
- 1507年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ファブ・リツィオ・デ・イ・ピエール・レオーネ・コルベッリ」「サンマリノ・デ・イ・アント・レ・ティニ」
- 1507年4月25日-01:00|イタリア/フランス| |||イタリアに親征したフランス王ルイ12世、「ホル・デ・ノウイの戦い」で反乱を鎮圧
- 1507年4月27日-01:00|フランス/アメリカ| |||フランスで「世界地誌概説」発行. 新世界に対して初めてアメリカの呼称が用いられる
- 1507年5月-04:30|アフガニスタン/イラン| |||<退位>ティムール朝ヘラト政権君主「バドイー・ウツァ・マーン、ムサッファル・フサイン(共同統治)」ティムール朝ヘラト政権がウズベク人のシャイニー朝の攻撃で解体
- 1507年5月12日-09:00|日本|島根県出雲市|永正4年4月|日受出雲杵築に妙行寺を創す
- 1507年6月7日-09:00|日本|京都府|永正4年4月27日|管令細川政元、若狭武田氏支援、丹後守護一色義有攻撃のため突然丹後戦線に下る
- 1507年6月21日-09:00|日本|京都府京都市東山区|永正4年5月11日|<阿弥陀ヶ峰城攻防戦>管領・細川政元と養子・澄之、若狭守護武田元信の軍勢が丹後に侵攻. 武田方は府中城と成相寺に布陣、一色方は今熊野城に義有、阿弥陀ヶ峰城には延永春信が籠城
- 1507年7月4日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|永正4年5月24日|孤田祖充、宇和郡妙泉寺の地蔵菩薩像を造る
- 1507年7月5日-09:00|日本|京都府|永正4年5月25日|管令細川政元丹後戦線離脱し上洛
- 1507年7月8日-09:00|日本|京都府与謝郡与謝野町|永正4年5月28日|細川澄之と加悦城の石川直経が和睦、陣を払って都へ帰る
- 1507年8月1日-09:00|日本|京都府京都市|永正4年6月23日|<死去>室町幕府管領・山城・讃岐・土佐国守護「細川政元」、養子澄之の一派の香西元長、薬師寺長忠らにより自邸で入浴中に暗殺される/42歳(永正の錯乱)
- 1507年8月2日-09:00|日本|京都府京都市|永正4年6月24日|<任命>室町幕府管領「細川澄之」(~8月1日死去)
- 1507年8月2日-09:00|日本|京都府京都市|永正4年6月24日|<百々橋の戦い>細川澄元と三好之長が薬師寺忠長や香西元長に屋敷を襲撃され敗北. 澄元と之長は京を脱出して近江甲賀に落ち延びた
- 1507年8月3日-09:00|日本|京都府|永正4年6月25日|管令細川政元暗殺の報が丹後戦線に届き、細川・若狭武田軍総崩れとなる
- 1507年8月4日-09:00|日本|京都府宮津市|永正4年6月26日|赤沢朝経が京都の政変を知り一色義有と和睦して宮

1510迄 (1720件)

津に至るが石川直経らに襲われ自害

- 1507年8月15日-01:00|ト`イ | |||<死去>サ`ケン=ラエンブ`ル公「ヨハン4世」
- 1507年8月15日-01:00|ト`イ | |||<即位>サ`ケン=ラエンブ`ル公「マク`ヌ1世」(~15430801死去)
- 1507年8月16日-09:00|日本|大阪府|永正4年7月8日|<任命>摂津国守護「細川澄之」丹波国守護(~8月1日 (15070907)自害)
- 1507年8月16日-09:00|日本|香川県|永正4年7月8日|<任命>讃岐国守護「細川澄之」丹波国守護(~8月1日 (15070907)自害)
- 1507年8月16日-09:00|日本|高知県|永正4年7月8日|<任命>土佐国守護「細川澄之」丹波国守護(~8月1日 (15070907)自害)
- 1507年9月-03:30|イラン|ホ`ルトガル | |||ホ`ルトガルがノッサ`セヨ`ラ`ダ``ヒ`ク`トリア砦としてホ`ムス`を占領(~1508年1月)
- 1507年9月5日-09:00|日本|大阪府茨木市|永正4年7月28日|<茨木城の戦い>薬師寺元一の子・万徳丸が薬師寺長忠の居城茨木城を攻め落した
- 1507年9月7日-09:00|日本|熊本県玉名市|永正4年8月|<石貫城の戦い>大友・阿蘇両氏と菊池正隆は玉名の石貫城で戦った
- 1507年9月7日-09:00|日本|大阪府|永正4年8月1日|<死去>摂津国守護「細川澄之」宿所としていた上京の遊初軒を高国らに攻められ、香西元長、薬師寺長忠らとともに戦死<遊初軒の戦い>/19歳
- 1507年9月7日-09:00|日本|香川県|永正4年8月1日|<死去>讃岐国守護「細川澄之」宿所としていた上京の遊初軒を高国らに攻められ、香西元長、薬師寺長忠らとともに戦死<遊初軒の戦い>/19歳
- 1507年9月7日-09:00|日本|京都府京都市|永正4年8月1日|<死去>室町幕府管領「細川澄之」宿所としていた上京の遊初軒を高国らに攻められ、香西元長、薬師寺長忠らとともに戦死<遊初軒の戦い>/19歳
- 1507年9月7日-09:00|日本|高知県|永正4年8月1日|<死去>土佐国守護「細川澄之」宿所としていた上京の遊初軒を高国らに攻められ、香西元長、薬師寺長忠らとともに戦死<遊初軒の戦い>/19歳
- 1507年9月7日-09:00|日本|新潟県|永正4年8月1日|<永正の乱>越後国守護上杉房能の臣・長尾為景、房能の養子・定実を擁して房能を襲撃
- 1507年9月7日-09:00|日本|兵庫県|永正4年8月1日|<死去>丹波国守護「細川澄之」宿所としていた上京の遊初軒を高国らに攻められ、香西元長、薬師寺長忠らとともに戦死<遊初軒の戦い>/19歳
- 1507年9月8日-02:00|モザンビーク|ホ`ルトガル | |||<就任>ホ`ルトガル領ソファラ`キャブ`テン「バスコ`コ`ムス`デ``アブ`レウ」(~1508年3月没)
- 1507年9月8日-02:00|モザンビーク|ホ`ルトガル | |||ホ`ルトガルによりモザンビーク島占領、要塞を建設
- 1507年9月8日-09:00|日本|大阪府|永正4年8月2日|<再任>摂津国守護「細川澄元」(~永正5(1508)年6月)
- 1507年9月8日-09:00|日本|香川県|永正4年8月2日|<再任>讃岐国守護「細川澄元」(~永正5(1508)年6月)
- 1507年9月8日-09:00|日本|京都府京都市|永正4年8月2日|<再任>室町幕府管領「細川澄元」(~永正5(1508)年6月)
- 1507年9月8日-09:00|日本|高知県|永正4年8月2日|<再任>土佐国守護「細川澄元」(~永正5(1508)年6月)
- 1507年9月8日-09:00|日本|兵庫県|永正4年8月2日|<再任>丹波国守護「細川澄元」(~永正5(1508)年6月)
- 1507年9月13日-09:00|日本|新潟県|永正4年8月7日|<死去>越後国守護「上杉房能」守護代長尾為景に攻められ天水越で自刃(天水越の合戦)⇒「上杉定実」が継ぐ(翌年11月正式補任~天文19年2月26日(15500314)病死)
- 1507年9月27日-09:00|日本|静岡県浜松市|永正4年8月21日|今川氏親が大福寺(浜松市北区三ヶ日町福長)の寺名を播教寺に改める
- 1507年9月28日 01:00|アゾ`リス諸島|ホ`ルトガル | |||<就任>グ`ラシオ`ザ`島`ナ`リア長官「Fernaõ Coutinho」1世(~1510年死去)
- 1507年10月1日-01:00|サンマリノ | |||<就任>サンマリノ共和国執政「マリノ`デ`イ`ニコロ`テ`イ`ジ`ヨウ`ア`ネット」「レオナルド`デ`イ`ジ`ヨウ`アン`ニ`テ`イ`ベ`ルツツィ」
- 1507年10月4日-01:00|イタリヤ | |||<就任>ジェノヴァ共和国ド`ジ`エ`パ`ロ`ダ``ノ`ヴェ」(~15070427)
- 1507年10月5日-09:00|日本|福井県|永正4年8月29日|加賀の一揆勢が越前に侵入するが、帝釈堂の合戦で敗れる
- 1507年10月20日-09:00|日本|静岡県浜松市|永正4年9月15日|井伊信濃守直平、井伊保に黙宗瑞淵を招き自浄庵を龍泰寺と改める
- 1507年11月4日-09:00|日本|静岡県浜松市|永正4年9月30日|橘宗次・橘友宗・藤原次吉・藤原宗吉、六柱神社(浜松市天竜区阿寺)社殿造立
- 1507年11月5日-09:00|日本|新潟県村上市|永正4年10月|長尾為景が中条藤資らに本条城(本庄房長)を攻めさせる
- 1507年11月10日-09:00|日本|奈良県|永正4年10月6日|大和国人衆が山田周辺へ攻撃、京衆も反撃し木津から打って出て奈良各所で合戦となる
- 1507年11月18日-01:00|リヒテンシュタイン | |||<就任>ズ`ルツ伯`クレツガ`ウ方伯「ル`ルフ1世」(~15351005没)
- 1507年11月22日-09:00|日本|奈良県|永正4年10月18日|赤沢長経、京軍をひきいて大和へ乱入/大和国人衆は総崩れとなり筒井氏以下十市・箸尾・檜原・成身院・片岡・越智氏らは没落
- 1507年12月16日-09:00|日本|奈良県|永正4年11月13日|大和国人一揆が再び蜂起、京衆を奈良まで退かせる
- 1507年12月20日-09:00|日本|奈良県|永正4年11月17日|国人一揆が各所で京衆と戦うが敗れる/筒井・十市氏は宇智郡に逃れる
- 1508年-05:30|スリランカ | |||<即位>コ`ッテ王国国王「タ`ルマ`ハ`ラク`ラマ`ハ`79世」(~1528年)
- 1508年-05:30|インド | |||<即位>サマ朝スルタン「Jam Feruzudin」(~1527年)
- 1508年-05:30|インド | |||<即位>ファルシ朝ハン「Ghazni Khan」(~同年)⇒「Alam Khan」(~1509年)
- 1508年-04:30|アフガニスタン | |||<設立>コント`ウス

1510迄 (1720件)

- 1508年-03:00|イラク/イラン| |||<就任>ペルシャのミホ・ミア総督「ラ・フサイン」(~1515年)
- 1508年-03:00|イラク/イラン| |||サファビ朝がバグダットを占領し、アク・コンル朝が滅亡
- 1508年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「ルイジ・アリメント」(~1510年)
- 1508年-02:00|エジプト| |||<即位>カイロ・アッパース朝カリフ「ムタワキル3世」(~1516)
- 1508年-01:00|クワチア| |||<就任>クワチアとスラヴォニアとダルマチアのハン「ジュリジ・カニシュキ」(2度目)、「イワン・エルヌシュト・チャコウ・イチ」(~1509年)
- 1508年-01:00|ドイツ| |||<就任>プファルツ=ノイブルク公国摂政「フリートリヒ2世」(~1522年)
- 1508年-01:00|イタリア| |||ベネチアでAgostini銀行倒産
- 1508年 00:00|イギリス| |||<死去>8代サースランド伯「ジョン・ド・モウア(ジョン・サースランド)」
- 1508年 00:00|イギリス| |||<就任>9代サースランド伯「ジョン・ド・モウア(ジョン・サースランド)」(~1514年死去)
- 1508年 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール首長「トウアル・デ・メセス」(1回目~1521年)
- 1508年 00:00|モリタニア/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領アルギン長官「フランシスコ・デ・アルマダ」(~1511年)
- 1508年 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ諸島のコレトール治安判事「シル・アルバレス」(~1512年)
- 1508年 05:00|パナマ/スペイン| |||<設立>ダリエン、コベルナシオン・デ・ベラグアにスペイン人入植地
- 1508年 06:00|ニカラガ/コスタリカ/パナマ/スペイン| |||<就任>スペイン領ベラグア総督「デ・イゴ・デ・ニコエサ」(~1511年没)
- 1508年1月-02:00|エジプト/ポルトガル/インド| |||エジプトとゲジヤート艦隊がポルトガル艦隊をチャル沖で破る
- 1508年1月6日-09:00|日本|大阪府|永正4年12月4日|<任命>河内国守護「畠山尚順」(~永正14(1517)年6月隠居)
- 1508年1月6日-09:00|日本|大阪府|永正4年12月4日|河内畠山尚順と畠山義英の和陸が破綻
- 1508年1月6日-09:00|日本|和歌山県|永正4年12月4日|<任命>紀伊国守護「畠山尚順」(~永正14(1517)年6月隠居)
- 1508年1月12日-09:00|日本|大阪府富田林市|永正4年12月10日|畠山尚順が細川澄元と和睦、嶽山城に畠山義英を攻める
- 1508年1月20日-09:00|日本|静岡県湖西市|永正4年12月18日|月ヶ谷城(豊橋市崇山)西郷弾正将員、常霊山本興寺(湖西市鷺津)住持日勝の番神堂を造営
- 1508年1月26日-09:00|日本|長崎県五島市|永正4年12月24日|五島の宇久圀に玉之浦納が反乱/翌日には圀がこもる辰之口城を玉之浦納が包囲し攻撃を始めた/圀は城を脱出し最後は黒島で自害(26日)
- 1508年1月27日-09:00|日本|長崎県五島市|永正4年12月25日|<玉之浦納の反乱(肥前国)>五島当主宇久圀がこもる辰之口城を玉之浦納が包囲し攻撃を始めた/この攻防で玉之浦納が明らかに優勢になり落城寸前、大久保日向家次は奥方と三歳の三郎、乳母たませ、神官平田庄右衛門を伴い、夜陰にまぎれて裏山に潜んだ
- 1508年1月28日-09:00|日本|長崎県五島市|永正4年12月26日|<玉之浦納の反乱(肥前国)>五島当主宇久圀も城を八人の家臣と伴に脱出し、崎山、鍔瀬、黒島へと逃れ、最後は黒島で互いに刺し違えて果てた/一方、大久保一行は裏山で大きな岩の陰に身を隠していた。大久保は大岩に祈り、叛徒の探索から逃れることに成功。大久保一行は大岩から天神崎の海岸へいきまたま居合わせた弥勒右衛門親子の釣り船で、中通島の北にある小値賀島を目指した。乳母たませの父が寺の住職として小値賀島にいたからだ。真冬の荒海をこえ何とかたどり着き、乳母たませの父のところで数日休息し、それから平戸を目指したどり着いた
- 1508年2月1日-09:00|日本|愛知県新城市|永正5年|菅沼元成、長篠城を築城
- 1508年2月1日-09:00|日本|愛知県豊川市|永正5年|今川義澄、呑海山法住寺(宝飯郡御津町赤根)創建
- 1508年2月1日-09:00|日本|京都府|永正5年|<交替>丹後国守護「武田元信」⇒「一色義有」再任(~翌年)
- 1508年2月1日-09:00|日本|長崎県対馬市|永正5年|<死去>対馬国守護「宗材盛」⇒「宗義盛」が継ぐ(~永正17(1520)年)
- 1508年2月1日-08:00|中国| |||明・正徳3年|<死去>西モーンリスタン・ハン「マフムド」シャハーン朝に併合
- 1508年2月1日-08:00|中国| |||明・正徳3年|王守仁が宦官批判で流された貴州の竜場で頓悟(王陽明の陽明学の成立)
- 1508年2月1日-08:00|中国| |||明・正徳3年|明の江西で農民反乱が相次ぐ
- 1508年2月2日-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア陸軍元帥(首相)代行「グリゴリジ・ユス・ア・ステイカス」(2回目~1512年5月)
- 1508年2月18日-09:00|日本|大阪府富田林市|永正5年1月18日|畠山尚順、澄元と合力し畠山義英を嶽山城から追放
- 1508年2月24日-09:00|日本|滋賀県大津市|永正5年1月24日|混合仏像七体を造り、延暦寺根本中堂に安置
- 1508年2月27日 00:00|イギリス| |||<死去>ロスー公(スコットランド王位の法定推定相続人)・キャリック伯「ジェームス・シュワート」
- 1508年2月28日-01:00|ドイツ| |||<死去>プファルツ選帝侯「フィリップ」
- 1508年2月28日-01:00|ドイツ| |||<就任>プファルツ選帝侯「ルートヴィヒ5世」(~15440316死去)
- 1508年3月-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<死去>ポルトガル領ソファラ・キアテン「バスコ・ゴメス・デ・アルメイダ」在任中
- 1508年3月-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ソファラ・キアテン代行「ルイ・プリョ・パトリム」(~15090826)
- 1508年3月16日-09:00|日本|鹿児島県|永正5年2月15日|<死去>薩摩・大隅・日向国守護「島津忠昌」自刃⇒長男「島津忠治」が継ぐ(~永正12年8月25日(15151002)死去)
- 1508年3月18日-01:00|ドイツ/オーストリア| |||<死去>上ハイルン=ミュンヘン公・下ハイルン=ランツフト公「アルブレヒト4世狡猾公」
- 1508年3月18日-01:00|ドイツ/オーストリア| |||<即位>ハイルン公「ヴァルヘルム4世」アルブレヒト4世の長男(~15500307死去)ルートヴィヒ10世と共同統治
- 1508年3月24日-09:00|日本|京都府八幡市|永正5年2月23日|石清水八幡宮が炎上
- 1508年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「クリストファー・マルテッリ」「ジヤコモ・デ・イ・ロドゥ・イコ・カチーニ」
- 1508年4月10日-01:00|イタリア| |||<死去>ウルビーノ公「グイドバルド・ダ・モンテフェルトロ」
- 1508年4月11日-01:00|イタリア| |||<即位>ウルビーノ公「フランチェスコ・マリニ1世・デ・ツラ・ローヴェレ」(~1516年)
- 1508年4月18日-09:00|日本|奈良県奈良市|永正5年3月18日|東大寺講堂が炎上

1510迄 (1720件)

- 1508年4月23日-02:00|ルマニア| |||<死去>ワキ7総督・領主「ラドゥ4世偉大侯」
1508年4月23日-02:00|ルマニア| |||<就任>ワキ7総督・領主「ミニア悪侯」(~1509年10月)
1508年5月6日-01:00|イタリア| |||トリエステをヴェネツィア共和国が占領(~15090603)
1508年5月8日-09:00|日本|京都府京都市|永正5年4月9日|細川高国が拳兵し京へ攻め上らんとし細川澄元や之長は、自らの屋敷に火を放ち再び近江に落ち延びた
1508年5月15日-09:00|日本|滋賀県|永正5年4月16日|將軍足利義澄、義尹が京畿に追ったため、近江国に走る
1508年5月20日-09:00|日本|大阪府池田市|永正5年4月21日|<池田城の戦い>池田貞正が細川高国に池田城を攻められ自殺
1508年5月26日-01:00|クロアチア/イタリア| |||フィウメをヴェネツィア占領(~15090606)
1508年5月27日-01:00|イタリア| |||<死去>元ミラノ公「ルトヴィゴ・スフォルツァ」獄死
1508年5月29日-02:00|ギリシャ| |||ギリシャで地震(M7.1)死者300人
1508年6月4日-01:00|ハンガリー/クロアチア| |||<即位>ハンガリー・クロアチア王「ラヨシュ2世」共同統治(~15260829没)
1508年6月22日-09:00|日本|新潟県村上市|永正5年5月24日|色部要害、坂城主の中条氏や築地氏など長尾為景方の攻撃を受けて落城、色部昌長は降伏して長尾氏に帰属
1508年7月-01:00|アフリカ/スペイン| |||スペインが北アフリカ遠征を開始
1508年7月5日-09:00|日本|京都府京都市|永正5年6月8日|前將軍足利義尹(義植)が細川高国、大内義興らとともに入京/足利義澄は江州佐々木氏頼る
1508年7月20日-09:00|日本| ||永正5年6月23日|<死去>豊原衆秋(不明)雅楽家
1508年7月23日-01:00|スペイン| |||ペニョネ・ペレス・ラゴ・メはスペインが領有(メリヤの下)
1508年7月26日-09:00|日本|新潟県新発田市|永正5年6月29日|長尾為景、竹俣清綱の岩谷城を攻め落とす/本庄時長、色部昌長、竹俣清綱は為景に敗れ、蘆名盛隆の仲介により降伏
1508年7月28日-09:00|日本|京都府京都市|永正5年7月1日|<再任>室町幕府征夷大將軍「足利義尹」義植と称した/將軍義澄は近江に逃れ、以後義尹と義澄の抗争が続く
1508年7月31日-03:00|エチオピア| |||<死去>エチオピア帝国(ソモン朝)皇帝「ナト1世ハ・エタ・マリム」
1508年8月8日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||スペイン、ポンセ・デ・レオン、ホリカン殖民を認められ、北岸のピラ・カハラに最初の基地を建設。カハラは現在のサンファン近郊の小村
1508年8月11日-09:00|日本|静岡県|永正5年7月15日|<交替>遠江国守護「斯波義達」罷免⇒「今川氏親」(~大永6年6月23日(15260801)死去)
1508年8月12日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ副知事「Juan Ponce de Leon」(1期目~1509.12)
1508年8月12日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||プエルトリコはスペインの植民地サント・ミンコ(1797年までプエルトリコ総督)に従属
1508年8月13日-09:00|日本|京都府|永正5年7月17日|<任命>山城国守護「大内義興」(~永正15(1518)年8月退任)
1508年8月14日-09:00|日本|香川県|永正5年7月18日|<任命>讃岐・土佐国守護「細川高国」(~享祿4年6月8日(15310721)死去)
1508年8月14日-09:00|日本|京都府|永正5年7月18日|<任命>丹波・摂津国守護「細川高国」(~永正17(1520)年2月)
1508年8月15日-09:00|日本|奈良県|永正5年7月19日|赤沢長経・古市澄胤らが順賢らの兵を奈良に破る
1508年8月16日-09:00|日本|大阪府|永正5年7月20日|幕府の命により畠山尚順が畠山長経討伐に向け河内に攻め入る
1508年8月22日-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国(ソモン朝)皇帝「レナ・テンゲル・ナト」(~15400913没)
1508年8月22日-09:00|日本|大阪府羽曳野市|永正5年7月26日|畠山長経が高屋城を攻めるが後詰めの畠山尚順軍に敗れ、遊佐弾正兄弟・古市澄胤は自害/長経は大和へ逃れる
1508年8月24日-09:00|日本|奈良県桜井市|永正5年7月28日|畠山長経が大和初瀬において捕らえられる
1508年8月27日-09:00|日本|愛知県岡崎市|永正5年8月|伊勢宗瑞、岩津城(岡崎市岩津町)を陥落させる
1508年8月28日-09:00|日本|大阪府|永正5年8月2日|畠山長経が河内にて斬首される
1508年8月31日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|永正5年8月5日|正見庵主、尾張国真福寺の阿弥陀如来像を造立
1508年9月2日-09:00|日本| ||永正5年8月7日|幕府、撰銭法を制定
1508年9月25日-09:00|日本|高知県|永正5年9月|土佐の本山養明が首謀者となって、山田・大平・吉良の諸氏とともに長宗我部兼序を討ち、土佐郡から吾川郡へと勢力を広げた
1508年10月-03:00|イラク/イラン| |||ペルシャによるモスル占領(~15341118)
1508年10月1日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト・ケーテン侯「Wal demar6世」
1508年10月1日-01:00|ドイツ| |||<就任>アンハルト・ケーテン侯「Wolfgang」(~1562年アンハルト・ツェルプスト侯Joachim Ernestへ~15660323死去)
1508年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・デ・イ・ジ・ローラモ」「フランチェスコ・デ・マリノ・ジヤンゾ」
1508年10月3日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|永正5年9月9日|かち五郎左衛門藤原光幸、山王社(天竜市横川)社殿造立
1508年10月18日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ホースウェル伯「ハトリック・ヘフ・バーン」
1508年10月18日 00:00|イギリス| |||<就任>第2代ホースウェル伯「アダム・ヘフ・バーン」(~15130909死去)
1508年10月19日-09:00|日本|千葉県館山市|永正5年9月25日|里見義通、安房の鶴谷八幡宮を造営
1508年10月27日-09:00|日本|山梨県甲府市|永正5年10月4日|<勝山城の戦い>武田信虎方は本拠の川田館から出撃すると勝山城を夜襲。油川方は大敗し、油川信恵、岩手縄美、栗原昌種は討死
1508年11月11日-09:00|日本|愛知県|永正5年10月19日|安城城主松平長親が西三河へ侵入した伊勢新九郎を退ける
1508年11月12日-09:00|日本|静岡県焼津市|永正5年10月20日|浅田久太夫、摂津国武庫郡西宮太神宮より勧請し

1510迄 (1720件)

西宮神社(焼津市栄町)創立

- 1508年11月17日-09:00|日本|岐阜県|永正5年10月25日|<死去>飛騨国守護「京極政経」⇒孫の「京極吉童子丸」が継ぐ(天文20(1551)年)
- 1508年11月17日-09:00|日本|島根県|永正5年10月25日|<死去>出雲・隠岐国守護「京極政経」⇒孫の「京極吉童子丸」が継ぐ(天文20(1551)年)
- 1508年12月8日-09:00|日本|京都府京都市|永正5年11月16日|<死去>元越前・尾張・遠江国守護「斯波義敏」(74才) 応仁の乱の発端を担った
- 1508年12月10日-01:00|フランス| |||<死去>ロレーヌ(ロートリンゲン)公・オマル伯「ルネ2世」
- 1508年12月10日-01:00|フランス| |||<就任>オマル伯「Claude1世」(~1547年)
- 1508年12月10日-01:00|フランス| |||<即位>>ロレーヌ(ロートリンゲン)公「アントワヌ」(~15440614)
- 1508年12月10日-01:00|フランス/ドイツ/スペイン| |||ローマ教皇ユリウス2世が中心となり、フランス王ルイ12世、神聖ローマ皇帝マクシミリアン1世、そしてアラゴン王フェルナンド2世との間に、イタリア北部のミラノの一部を占領して返還しないヴェネツィアを攻めるという「反ヴェネツィア同盟」である「カブレ条約」を締結
- 1508年12月22日-01:00|ドイツ| |||<死去>メレンブルク=シュヴァーレン公「エーリヒ2世」
- 1508年12月25日-09:00|日本|三重県|永正5年12月4日|<任命>伊勢北半国・志摩国守護「北畠材親」(~永正8(1511)年辞任)
- 1508年12月26日-09:00|日本|山梨県笛吹市|永正5年12月5日|<坊ヶ峰の戦い>武田信虎と油川信恵・郡内小山田弥太郎信隆・栗原・工藤・上条・河村氏が坊ヶ峰で合戦/上条彦七郎・武田平三(武田信恵の子)討死。工藤虎豊・境(都留市)小山田平三越中守信有は、北条宗瑞頼り葦山に落ち延びる/小山田弥太郎信隆討死
- 1509年-08:00|インドネシア| |||<即位>サトラーパサイ王国第19代スルタン「アマト5世」(~1514年)
- 1509年-05:30|スリランカ| |||<即位>コッテ王国国王「ウーイジャハ7世」(~1521年)、「タルマハラクラマ7世」(~1528年)
- 1509年-05:30|インド| |||<即位>アフル朝ハン「Adil Khan3世」(~1520年)
- 1509年-05:30|インド| |||ウーイジャハガル王国がハマナー軍を撃退
- 1509年-04:00|ロシア| |||<即位>モスコフスキー=ナメストニク「イヴァン・ミハイロヴィチ」(~1510年)
- 1509年-02:00|キプロス/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「ニコラ・デ・アントレアーベ・ザロ」(~1511年)
- 1509年-02:00|エジプト/ポルトガル/トルコ| |||ポルトガル艦隊がエジプト・トルコの連合艦隊を撃ち破り、更に紅海の入口にあるソトラ島を占領
- 1509年-01:00|アンゴラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ガボン| |||<死去>コンゴ王国マニココ「ヨハネ1世」
- 1509年-01:00|スペイン| |||<就任>初代ベラガア公「デ・イコ・コロン」(~15260223死去)
- 1509年-01:00|リヒテンシュタイン| |||<就任>ファドゥーツ執行官「マルティン・シュタインハウザー」(~1513年)
- 1509年-01:00|スペイン/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領セウタ提督「Pedro Barbo Alardo」(~1512年)
- 1509年-01:00|アンゴラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ガボン| |||<即位>コンゴ王国マニココ「アフォソ1世ムベンバ・アソソナ」(~1543年没)
- 1509年-01:00|オランダ| |||オランダの人文学者エラスムスが「痴愚神礼賛」を刊
- 1509年-01:00|コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ポルトガル| |||コンゴ王国アフォソ王がポルトガルと奴隷貿易を開始
- 1509年-01:00|スペイン/ジャマイカ| |||サント・ミンゴのアン・デ・エスカルがジャマイカに上陸/スペイン人入植の開始
- 1509年-01:00|デンマーク/フィンランド| |||フィンランドがデンマークに攻撃され大打撃を受けたがトゥルクで撃退
- 1509年 00:00|イギリス| |||<死去>テューン伯「Edward Courtenay」
- 1509年 00:00|カリヤ諸島| |||<就任>フェルベントウ島主「Fernan Arias de Saavedra y Herrera "el Bueno"」
- 1509年 00:00|カナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴールドコースト長官「マビュル・デ・ゴイス」(~1512年)
- 1509年 00:00|モロッコ| |||<即位>サト朝スルタン「アブ・アブドゥッラー・アルカーイム」(~1517年)
- 1509年 05:00|ジャマイカ/スペイン| |||スペイン隊、ハマを征服しサンティアゴと命名
- 1509年1月10日 05:00|パナマ/スペイン| |||スペインがパナマ地峡への入植を試みる
- 1509年1月21日-09:00|日本|京都府|永正6年|<交替>丹後国守護「一色義有」⇒「一色義清」(~永正16(1519)年)
- 1509年1月21日-09:00|日本|京都府京都市北区|永正6年|大徳寺大仙院建立
- 1509年1月21日-09:00|日本|栃木県那須塩原市|永正6年|<片角軍菅の戦い(下野国)>長沼政義は蘆名盛高ら蘆名勢の援軍を率いた連合軍で塩谷領の片角軍菅へ侵攻。谷家臣の関谷氏は長沼政義に内通。宇都宮成綱ら宇都宮勢が迎え撃った/成綱は関谷氏の裏切りに気づき攻撃。結果、蘆名・長沼連合軍は総崩れとなり宇都宮勢の大勝となった/長沼政義は塩原を捨て会津田島へ後退
- 1509年1月21日-09:00|日本|福岡県|永正6年|<交替>豊前国守護「大友義親(義長)」隠居⇒「大内義興」が継ぐ(享禄元年12月20日(15290129)死去)
- 1509年1月21日-09:00|日本|三重県|永正6年|<死去>伊賀国守護「仁木政長」⇒子の「仁木刑部大輔」が継ぐ(~永正17(1520)年2月)
- 1509年1月27日-01:00|ドイツ| |||<死去>プファルツ=ジンメルン公「ヨハン1世」
- 1509年1月27日-01:00|ドイツ| |||<即位>プファルツ=ジンメルン公「ヨハン2世」(~15570518死去)
- 1509年2月3日-05:30|インド/エジプト/ポルトガル| |||<デューウ沖海戦>インド・デューウ沖でポルトガル海軍アルメイダがエジプトとインドの連合艦隊を全滅させる
- 1509年2月5日-02:00|エストニア/ラトビア| |||<死去>リガ大司教・リヴァント公「ミヒャエル・ヒルデブランド」
- 1509年3月9日-09:00|日本|奈良県|永正6年2月19日|大和国土一揆蜂起
- 1509年3月11日-01:00|ハンガリー| |||<即位>ボヘミア王「ラヨシュ2世」ハンガリー・クワチア王(~15260829没)
- 1509年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「イナチエンツォ・デ・メット・ボネリ」「アントニオ・デ・イ・ベネット」
- 1509年4月1日-01:00|フランス/イタリア| |||フランス王ルイ12世、イタリア北部のミラノの一部を占領して返還しないヴェネツィアに宣戦

1510迄 (1720件)

- 1509年4月9日-09:00|日本|愛知県名古屋市熱田区|永正6年3月20日|尾張氏女、尾張国青大悲寺の地藏菩薩像を鋳造させる
- 1509年4月21日 00:00|イギリス| |||<死去>イングランド王「ハリー7世」52歳(誕生14570128)
- 1509年4月22日 00:00|イギリス| |||<即位>イングランド王「ハリー8世」ハリー7世とエリザベス・オブ・ヨークの男子(~15470128死去55歳)
- 1509年4月22日 00:00|イギリス| |||<退任>ヨーク公「ハリー・テューダー」⇒イギリス王ハリー8世として即位
- 1509年4月25日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト・テッサウ侯「George2世」
- 1509年5月 05:00|コロンビア| |||カハタ、カハタに上陸。インディア集落を襲撃するが、逆襲され副官ファン・テラ・コサをふくむ部下70人を失う。その後到着したコカサの支援を受けインディアをみな殺し
- 1509年5月10日-09:00|日本| ||永正6年4月22日|幕府が、米場以外の米市場の洛中設置を禁止
- 1509年5月14日-01:00|イタリア/フランス| |||フランス王軍、「アニャテッロの戦い」でヴェネツィア軍を破り、イタリア北部のトリヴイゾ、パドヴァ、ヴェローナを占領
- 1509年5月15日-01:00|アルゼンチン/スペイン| |||オランとマザルビルがスペイン人に占領された
- 1509年5月23日-02:00|エストニア/ラトビア| |||<就任>リガ大司教・リガ公「キスパー・リンデ」(~15240629死去)
- 1509年5月27日-09:00|日本| ||永正6年5月9日|幕府が、訴訟手続きの条規7カ条を定める
- 1509年6月1日-01:00|イタリア| |||リヴァ、トリエステ、コリツィア、マクシミアンに譲られる
- 1509年6月4日 00:00|イギリス| |||イギリスのハリー8世が兄嫁であったキャサリン・オブ・アラゴンと結婚
- 1509年6月8日-01:00|イタリア| |||ヒューサ、フィレンツェに併合
- 1509年6月8日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副王代行「キルデア伯爵」エラウド・フィッツエラウド(4回目⇒1510年12月、アイルランド副卿~15130903没)
- 1509年7月-01:00|スペイン/トミカ共和国/ハイチ| |||スペインの第2代西インド総督「デ・イゴ・コロン」が着任
- 1509年7月4日-09:00|日本|京都府京都市左京区|永正6年6月17日|<如意ヶ嶽の戦い>夜半、細川澄元・阿波守護代三好之長軍と細川高国・大内連合軍が如意ヶ嶽で戦闘、夜半から大雨がふり出し澄元・之長らは雨音にまぎれて阿波へ落ち延びた
- 1509年7月10日 04:00|トミカ共和国/スペイン| |||<就任>サント・ミンゴ総督「デ・イゴ・コロンス・イ・ペレストロ」(1回目~15150415)
- 1509年7月11日-01:00|ドイツ| |||<死去>ハッセン方伯「ウーイェルム2世真中伯」
- 1509年7月11日-01:00|ドイツ| |||<就任>ハッセン方伯「フリッポ1世寛大伯」ウーイェルム2世の息子(~15670331死去)
- 1509年7月17日-09:00|日本|山梨県南都留郡富士河口湖町|永正6年秋|武田信直(信虎)は小山田領攻撃のため甲斐東部の都留郡へ侵攻/河口宿へ放火し撤退
- 1509年7月26日-05:30|インド| |||<即位>グンジャナガル王国(トルコ王朝)国王クリシュナ・デーヴァ・ラーヤ(~1529年)
- 1509年8月13日-09:00|日本|新潟県|永正6年7月28日|関東管領上杉顕定、養嗣子憲房は八千余騎を率いて越後守護代長尾為景を討つため越後に出陣/上杉顕定の軍に越後を占領され、長尾為景は越中に逃亡
- 1509年8月16日-09:00|日本|栃木県那須塩原市|永正6年8月|<片角原の戦い>野沢城(真木城)に拠った塩谷氏方の大館義則は下野片角原において会津から進行して来た蘆名氏に勝利
- 1509年8月17日-09:00|日本|京都府|永正6年8月2日|三好之長・長秀父子、細川高国と京都で戦い長秀は伊勢国へ敗走/北畠材親に攻められこの日自殺
- 1509年8月22日-09:00|日本|静岡県|永正6年8月7日|大地震により、遠州今切崩れ海となる/以後本坂越を通行
- 1509年8月26日-02:00|ポルトガル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ソアラ・キャブテン「アントニオ・デ・サルダニャ」(~15120624)
- 1509年9月4日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「アフォンソ・デ・アルバカキ」(~15150908)
- 1509年9月5日-09:00|日本|東京都千代田区|永正6年8月下旬|伊勢宗瑞、武蔵に出兵して扇谷上杉家の本拠地江戸城に迫る
- 1509年9月11日 00:00|ポルトガル/マレーシア| |||ポルトガルのセウ船隊がマラッカに到達
- 1509年9月14日-02:00|トルコ| |||イスタンブール付近で大地震が起こり、1万3千人が死亡し、1000軒以上が倒壊
- 1509年9月14日-08:00|中国| ||明・正徳4年9月|四川省東北部で藍廷瑞らの率いる農民反乱が勃発
- 1509年9月30日-09:00|日本|熊本県|永正6年閏8月17日|菊池政隆、菊池武経と肥後国で戦い敗れ安国寺で自殺
- 1509年10月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア総督・領主「ミルチャ3世」(~1510年1月)
- 1509年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・デ・ジョルジョ・ヨロリ」(アントニオ・デ・マリノ・ジ・ヤンニニ)
- 1509年10月2日-01:00|クロアチア/イタリア| |||フィウメをヴェネツィアが再占領(~1511年)
- 1509年10月12日-01:00|イタリア| |||マクシミアン1世が、パドヴァの包囲に失敗してイタリアから撤退
- 1509年10月20日 00:00|イギリス| |||<就任>ロシー公(スコットランド王位の法定推定相続人)・オルバニ公・13代キャリック伯「アーサー・シュワート」(~15100714死去)
- 1509年10月24日-09:00|日本|新潟県|永正6年9月11日|出羽の伊達尚宗が長尾為景と結んで越後に侵入
- 1509年10月28日 04:00|ポルトガル/スペイン| |||<就任>ポルトガル副知事代理「Juan Ceron」(1期目~1510年)
- 1509年11月1日-09:00|日本|岡山県|永正6年9月19日|久米郡安国寺住持月浦ら、韋駄天木像を造る
- 1509年11月9日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「朴元宗」(~15100413)
- 1509年11月10日-09:00|日本|愛知県名古屋市緑区|永正6年9月28日|尾張国氷上社の遷宮が行われる
- 1509年12月4日-09:00|日本|山梨県北杜市|永正6年10月23日|武田信恵方の小尾弥十郎、江草城を乗っ取る(が奪い返される)
- 1509年12月8日-09:00|日本| ||永正6年10月27日|<死去>飛鳥井雅康(74歳)権中納言、歌人
- 1510年-05:30|インド| |||<国名変更>カマタ国⇒コッホ・ヒール国
- 1510年-05:30|インド| |||<死去>アデイル・シャーヒ朝シャー「ユースフ・アデイル・シャー」

1510迄 (1720件)

- 1510年-05:30|インド| |||<死去>アフマド・ナール王国国王「アフマド・ニザーム・シャー1世」
- 1510年-05:30|インド| |||<即位>アーデル・シャー七朝シャー「イスマイル・アーデル・シャー」(~15340827死去)
- 1510年-05:30|インド| |||<即位>アフマド・ナール王国国王「フルハン・ニザーム・シャー1世」(~1553年死去)
- 1510年-05:30|インド| |||<即位>マルワー・スルターン朝(ハルジ朝)スルターン「マフムド・シャー2世」(~1531年)
- 1510年-05:00|モルデイグ| |||<復位>ヒリ朝スルタン「Hassan7世 Singa Veeru」(~1511年)
- 1510年-04:30|アフガニスタン/イラン| |||サル・イ・ブルガヘ・ルジャの一部となる
- 1510年-04:00|ロシア| |||<即位>モスコフスキー・ナメストニク「ゲリゴリー・フォート・ウイチ」「イヴァン・アントレウイチ」(~1511年)
- 1510年-03:30|イラン| |||<就任>サファヴィー朝宰相「ホセイ・モンシ・ホシ」(~1514年)
- 1510年-03:00|ジブチ| |||<即位>タジュラ・スルタン国スルタン「ヒティワン」
- 1510年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンティエラ公「パオロ=アントニオ=ミアニ」(~1512年)
- 1510年-02:00|エストニア/ドイツ| |||<就任>リウオニアのレヴァル司令官「エハート・フォン・ヴェルミング・ハウゼン」(~1516年)
- 1510年-02:00|トルコ| |||<即位>ラマタン・ニズ・ハン「Mahmud・ベイ」(~1514年)
- 1510年-02:00|ルワンダ| |||<即位>ルワンダ王国ムワミ「ルガンス2世」(~1543年)
- 1510年-01:00|ドイツ| |||<死去>シャウエンブルク伯・ホルシュタイン=ヒンネブルク伯「オットー3世」
- 1510年-01:00|フランス| |||<死去>リネー伯「Charles of Bourbon」
- 1510年-01:00|クアチア| |||<就任>クアチアとスラヴォニアとダルマチアのハン「アントン・リヤ・ボット」(2度目~15110913)
- 1510年-01:00|ドイツ| |||<就任>シャウエンブルク伯・ホルシュタイン=ヒンネブルク伯「アントン」(~15261222死去)
- 1510年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メラ総督「Bernave Pinelo」(~1513年)
- 1510年-01:00|アルジェリア/スペイン| |||スペインがアルジェ港のヘニョン・デ・アルジェ島を占領(~15290529)
- 1510年-01:00|アルジェリア/スペイン| |||スペインがヘニョン・デ・アルジェを占領(~15290529)
- 1510年 00:00|イギリス| |||<就任>16代マー伯(デ・ジューリ)「ロバート・アースキン」(~1513年)
- 1510年 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド支配者「ハンス・ランツァウ」(~1514年)
- 1510年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<死去>ゲラシオザ島トリア長官「Fernaо Coutinho1世」
- 1510年 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||プエルトリコでタイノ族カケの一人ウラヨアンが反乱。征服者の一人デ・イエゴ・カセドなどスペイン人60人が殺される
- 1510年 05:00|ジャマカ/スペイン| |||<就任>スペイン領サンティアゴ総督「ファン・デ・エスケベル」(~1514年)
- 1510年 05:00|パナマ/スペイン| |||マルティン・フェルナンデス・デ・エンシソによってサンタ・マリア・ザ・オールド・ダリエン設立
- 1510年 06:00|エルサルバドル| |||デ・イエゴ・アルバレス、サン・サルバドルに植民地建設
- 1510年1月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワラキア総督・領主「ウラド5世若候」(~15120123死去)
- 1510年1月10日 00:00|ポルトガル/インド| |||ポルトガルがインドのゴアを奪取し、商館と城砦を築く
- 1510年1月10日-09:00|日本|新潟県十日町市|永正6年12月|將軍足利義植は上杉顯定、上杉憲房らに命じて其の配下である長尾爲景の押領したる伊勢盛正の旧領越後国松山保を還付させた
- 1510年1月10日-09:00|日本|山梨県南都留郡富士河口湖町|永正6年12月|武田信虎、河口宿に放火、下の検断(小山田氏の代官)を討ち取る
- 1510年1月10日-07:00|ベトナム| ||大越・端慶5年12月1日|<死去>後黎朝(大越)前期第8代皇帝「威穆帝黎濬(黎誼)」
- 1510年1月13日-07:00|ベトナム| ||大越・洪順1年12月4日|<即位>後黎朝(大越)前期第9代皇帝「襄翼帝」(~15160508死去)/洪順と改元(~1516年5月28日<丙子年4月27日>)
- 1510年1月24日-04:00|ロシア| |||モスクワ大公国がプスコフを併合
- 1510年1月31日-01:00|アルジェリア/スペイン| |||プーギーがスペインに占領される(~1555年)
- 1510年2月9日-09:00|日本|神奈川県|永正7年|<交替>相模国守護「三浦義同」⇒「上杉憲房」(~永正9(1512)年)
- 1510年2月9日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|永正7年|身延山久遠寺12世日意、教敬山耀海寺(興津本町)創建
- 1510年2月9日-09:00|日本|静岡県島田市|永正7年|福島佐渡守助昌、芝派7哲賢仲繁哲開山に、賢仲派青原山静居寺(島田市旗指)開基
- 1510年2月9日-09:00|日本|静岡県沼津市|永正7年|桃源院2世越溪(真興正統)、衰退していた石雲山龍音寺(沼津市大平吉田)を再興
- 1510年2月9日-09:00|日本|埼玉県|永正7年春|武田信直(信虎)は小山田氏を従属させる/信直は敵対していた小山田弥太郎の子小山田信有と信直の妹を結婚させる/また信直は小山田氏の備えとして勝沼郡に弟の勝沼信友を配置
- 1510年2月15日-05:30|インド/ポルトガル| |||ポルトガルがゴアを占領(~5.30)
- 1510年3月1日 00:00|ポルトガル| |||ポルトガルのアルメイダがコイコイ人との戦いで死亡
- 1510年3月2日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ副知事「Juan Ponce de Leon」(2期目)(~1511年)
- 1510年4月1日-04:00|ジョージア| |||<死去>イメレティ王「アレクサンドル2世」
- 1510年4月1日-04:00|ジョージア| |||<即位>イメレティ王「バゲラト3世」(~1565年9月)
- 1510年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・ディ・ホリロ・ルナルディニ」「アントレ・ディ・マリノ・スペランツァ」
- 1510年4月4日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|永正7年2月26日|<岡山城の戦い>近江の岡山城で細川高国らと足利義澄・九里信隆が戦い義澄側が勝利
- 1510年4月13日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「金寿童」(~15120817)
- 1510年4月21日-09:00|日本|千葉県柏市|永正7年3月13日|肥前国守護代千葉介興胤、その子喜胤は和睦以前に敵対関係にあった千葉胤治を高田城に攻め殺した
- 1510年5月8日-08:00|中国| ||明・正徳5年4月|明の安化王朱眞番が劉瑾討伐を名目に寧夏で挙兵するが逮捕
- 1510年5月11日-09:00|韓国/日本| ||朝鮮・正徳5年4月4日|<三浦の乱>対馬から宗盛順率いる援軍を加えた恒居

1510迄 (1720件)

- 倭は、約4500の兵力をもって釜山浦・薺浦の僉使營を陥落させ、釜山浦では辺將を討取り、薺浦では生け捕りにした
- 1510年5月11日-09:00|日本|愛知県知多市|朝鮮・正徳5年4月4日|僧澄慶、尾張国法海寺に阿弥陀如来画像を寄進
- 1510年5月17日-01:00|イタリヤ| ||<死去>ホセ・マテオ・リッチ/66歳(誕生14440311)イタリヤの画家
- 1510年5月22日-09:00|日本|新潟県|永正7年4月15日|越後の守護代長尾為景が、深沢・荒浜・三条で関東管領上杉顕定に敗れ、佐渡に逃れる
- 1510年5月26日-09:00|韓国/日本| ||朝鮮・正徳5年4月19日|<三浦の乱>朝鮮軍は薺浦へ攻撃をかけ、薺浦は陥落。倭軍は対馬へ撤退
- 1510年5月27日-09:00|日本|新潟県|永正7年4月20日|長尾為景は蒲原津に上陸/山内上杉勢を破る
- 1510年5月28日-09:00|日本|静岡県藤枝市|永正7年4月21日|在天祖竜、賢仲派竜地山洞雲寺(藤枝市藤枝)開山
- 1510年5月30日-05:30|インド| ||ビジャパール王国がゴアを占領(~11.25)
- 1510年6月14日 00:00|イギリス| ||<就任>スコットランド 大法官「セントアンドリュース大司教アレクサンダー・スチュアート」(~15130909死去)
- 1510年7月2日-09:00|日本|京都府京都市|永正7年5月26日|洪水、五条橋流失
- 1510年7月6日-09:00|日本|東京都八王子市|永正7年6月|伊勢宗瑞、武蔵に侵攻し山内上杉顕定方の柵田城(八王子市)を自落させる
- 1510年7月6日-09:00|日本|東京都八王子市|永正7年6月|扇谷上杉朝良家臣上田政盛が伊勢盛時(北條早雲)に内応し武蔵柵田城で挙兵
- 1510年7月11日-09:00|日本| ||永正7年6月6日|<死去>猪苗代兼載(59歳)連歌師
- 1510年7月11日-09:00|日本|新潟県|永正7年6月6日|山内上杉顕定は長尾房景の蔵王堂城を攻め落とす
- 1510年7月14日 00:00|イギリス| ||<死去>ロシー公(スコットランド 王位の法定推定相続人)・オルバニ公・13代キャリック伯「アーサー・スチュアート」
- 1510年7月20日-09:00|日本| ||永正7年6月15日|<死去>道応法親王(44歳)伏見宮貞常親王の皇子、天台宗の僧
- 1510年7月24日-01:00|リビア/スペイン| ||スペイン軍がトリポリを占領(トリポリ市、マルタ島とゴゾ島は両シリア王によって聖ヨハネ騎士団に永久領地として譲渡~15300725)
- 1510年7月25日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|永正7年6月20日|<任命>関東管領「上杉(山内)顕実」(~永正12(1515)年死去)
- 1510年7月25日-09:00|日本|新潟県|永正7年6月20日|<死去>関東管領・上野国守護・伊豆国守護「上杉顕定(山内)」越後で長尾為景と戦い討死
- 1510年7月25日-09:00|日本|新潟県南魚沼市|永正7年6月20日|<長森原の戦い>上杉定実を擁した長尾為景軍が越後へ復帰した一方、関東管領上杉顕定は越後国人の人心を得られず、越後からの撤退を開始/長尾為景らはこれを追撃、その援軍に出た高梨政盛が、上杉顕定を討って勝利、顕定方は長尾定明ら諸將も失い、大敗
- 1510年7月26日-01:00|リビア/スペイン| ||<就任>スペインのトリポリ総督「ペドロ・デ・ナハロ司令官」⇒「ディエゴ・デ・ペラ」⇒「ジェームズ・レクス」(~1511年)
- 1510年7月29日-09:00|日本|島根県|永正7年6月24日|出雲の尼子経久が杵築大社を造営し、本殿の立柱を行う
- 1510年8月3日 01:00|アルゼンチン諸島/ポルトガル| ||<就任>グアラゾー島トリア長官「Alvaro Coutinho1世」(~1524年)
- 1510年8月4日-09:00|韓国/日本| ||朝鮮・正徳5年6月末|<三浦の乱(李氏朝鮮)>倭軍は再度来攻したが、撃退された
- 1510年8月15日-09:00|日本|神奈川県横浜市|朝鮮・正徳5年7月11日|<権現山の戦い>上杉朝良の臣上田政盛、権現山砦に楯籠り早雲と組む/両上杉勢の成田、渋江、藤田、大石の各勢、権現山砦を囲み、早雲は住吉城・高麗山城に後詰
- 1510年8月17日 00:00|イギリス| ||イギリス前王時代の財政担当補佐官のエンブロンとグドリーが、大逆罪で処刑される
- 1510年8月23日-09:00|日本|神奈川県横浜市|永正7年7月19日|<権現山の戦い>扇谷上杉朝良と山内上杉憲房の連合軍が伊勢宗瑞(北条早雲)と結んだ扇谷上杉の旧臣上田政盛を権現山城(横浜)に攻めて落城させる
- 1510年9月3日-08:00|中国| ||明・正徳5年8月|明の宦官、劉瑾による金銀財宝や武器の不法備蓄が発覚し、劉瑾一派が処刑
- 1510年9月4日-09:00|日本|愛知県稲沢市|永正7年8月|尼妙雲、尾張国長光寺の六角堂を建立
- 1510年9月4日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|永正7年8月1日|尾張国大高城主花井備中守、同国朝苧社を修造しこの日、同社の遷宮が行われる
- 1510年9月7日-01:00|ドイツ| ||<死去>アンハルト・テッサウ侯「Rudolph4世」
- 1510年9月10日-09:00|日本|愛知県瀬戸市|永正7年8月7日|地震により、尾張国定光寺の堂舎が破壊される
- 1510年9月11日-09:00|日本|大阪府|永正7年8月8日|摂津・河内地震/M6.5~7.0、死者多数、摂津では四天王寺の石鳥居・金堂本尊が大破、河内では常光寺・剛琳寺・藤井寺が潰れた/余震が2か月あまり続く
- 1510年9月30日-09:00|日本|静岡県|永正7年8月27日|遠江で津波が発生/浜名湖の砂州が崩壊して外海とつながる/死者一万余人
- 1510年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・ディ・ビアンコ」「バルバ・ディ・マッテオ・ダ・ガッレ」
- 1510年10月11日-09:00|日本|福島県白河市|永正7年9月9日|白河政朝、一族の小峰直常に陸奥白河で敗れ、下野国那須に逃走
- 1510年10月16日-06:30|ミャンマー| ||<即位>タングー王「ミンチーニョ」再興(~15301124没)
- 1510年10月25日-01:00|フランス| ||<就任>シャルル伯「Renee」(~15740612死去)
- 1510年11月 00:00|モロッコ/ポルトガル| ||モカトルをモロッコが奪還
- 1510年11月2日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区熱田区|永正7年10月|僧周賀ら、尾張国円福寺の仁王像を建立

1510迄 (1720件)

- 1510年11月10日-02:00|ルーマニア/ハンガリー| ||<就任>トランシルヴァニア総督「ヤノス・シホリアイ」(~15261110)
- 1510年11月18日-09:00|日本|宮崎県東諸県郡綾町|永正7年10月17日|長倉若狭守と垂水但馬守切腹して綾の乱は
終結
- 1510年11月20日-09:00|日本|静岡県浜松市|永正7年10月19日|<井伊谷の戦い>遠江守護斯波義達再び井伊谷に入り今川氏と戦う
- 1510年11月23日-08:00|中国| ||明・正徳5年10月22日|明の河北で宦官の圧政に対し、劉六、劉七兄弟の率いる農民反乱が起こる(劉六・劉七の乱)
- 1510年11月25日-05:30|インド/ポルトガル| ||<設立>ポルトガルがゴアに植民地エスタド・ダ・インディア
- 1510年12月2日-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン| ||<死去>ブハラ・ハン国シャイバニー朝ハン「ムハンマド・シャイバニー・ハン」
- 1510年12月2日-05:00|ウズベキスタン| ||<即位>シャイバニー朝ハン「クチュクジ・ハン」アフル=ハイルの子(~1531年)
- 1510年12月2日-04:30|アフガニスタン/イラン| ||サファヴィー朝がマルヴァでシャイバニー朝を破り、ホラサンを占領
- 1510年12月4日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|永正7年11月4日|願主禰宜、熊野神社(佐久間町大井間庄)造立
- 1510年12月11日-01:00|フランス/バチカン/イタリア| ||教皇軍が、ポーロニアに対するフランス軍の攻撃を阻止
- 1510年12月26日-09:00|日本|静岡県浜松市|永正7年11月26日|今川氏、斯波氏の拠点引間城(浜松市)を奪い入城/
大河内貞綱、引間城から退去の途中普濟寺に火を掛けて焼失させる